

平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目(いずれかに をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱 オーケストラ等, 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に を付してください。)

あり なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
- (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
- (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
- (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんざいだんほうじん がっしょうおんがくしんこうかい ----- 一般財団法人 合唱音楽振興会		
代表者職・氏名	代表理事 堤 剛		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 (地下鉄東西線 早稲田駅)		
電話番号	03-3200-9755	F A X 番 号	03-3200-9882
ふりがな 公演団体名	とうきょうこんせいがっしょうだん ----- 東京混声合唱団		
代表者職・氏名	理事長 山田和樹		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 (地下鉄東西線 早稲田駅)		
制作団体 設立年月	1981年4月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 堤 剛 理 事 田中信昭、池辺晋一郎、 藤本 草、小林信一 監 事 曾根研一	賛助・支持会員200名	
事務体制の担当	専任 ・ 他(の業務と兼任)	本事業担当者名	朝日美佳
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	村上満志

制作団体沿革	昭和31年に設立された東京混声合唱団を中心として、わが国の職業合唱団ならびに合唱音楽の一層の振興のため、関係民間会社や東京混声合唱団のメンバーの拠出金により、昭和56年に財政基盤の安定した財団法人を設立するに至った。現在は、一般財団法人として合唱音楽を主体とする音楽芸術の創造・普及を図るとともに、芸術文化の発展に寄与すべく各種事業を行っている。		
学校等における公演実績	30年度 22公演(東京都、栃木県、富山県、石川県等 小学校・中学校・高等学校) 29年度 35公演(山形県、神奈川県、埼玉県等 小学校・中学校・高等学校) 28年度 90公演(新潟県、長野県、大阪府等 小学校・中学校・高等学校) 27年度 20公演(神奈川県、群馬県、佐賀県等 小学校・中学校・高等学校) 26年度 19公演(岡山県、千葉県、山梨県等 小学校・中学校・高等学校) (過去5年間の実績)		
特別支援学校における公演実績	山形養護学校(29年7月)、山形聾学校(29年7月)、長野県須坂市支援学校(28年6月)、新潟盲学校(28年6月)、新潟大学附属特別支援学校(28年5月)、新潟県立東新潟特別支援学校(28年5月)ほか多数公演歴があり、平成30年11月には京都府立丹波支援学校にて公演予定。		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		公開資料有の場合 URL	
		閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		公開資料有の場合 URL	
閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京混声合唱団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	小・中学生におくる合唱音楽鑑賞会		
本公演演目	<p>(小学生対象) 校歌演奏 第1部 日本のうた / 待ちぼうけ(山田耕筰)、せんせい(三善晃)、地元ゆかりのうたより 第2部 世界の合唱曲より / 夏は来たりぬ(14世紀のカノン)、ハレルヤ(ヘンデル)、フニクリ・フニクラ(デンツァ) 第3部 日本の伝統芸能を素材にした合唱曲 - シアターピース - / 萬歳流し(柴田南雄) 第4部 みんなで歌おう / 歌う前にみんなでウォームアップ 校歌全員合唱 ABC より選択 [A. 全員合唱(各校選択曲) または B. ラララのラー(鶴見幸代) または C. ミュージカルメドレー ~ 「サウンド・オブ・ミュージック」より ~ (ロジャース)] 第5部 みんなのコーラス / となりのトトロ(久石譲)、幸せなら手をたたこう(スペイン民謡)、ジッパ・ディー・ドゥー・ダー(ウルベル)、翼をください(村井邦彦)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 (90分~100分)</p> <p>(中学生対象) 校歌演奏 第1部 世界の合唱曲より / 「天地創造」より ~ 天は御神の栄光を語り(ハイドン)、アヴェ・ヴェルム・コルプス(モーツァルト)、トリッチ・トラッチ・ポルカ(ヨハン・シュトラウス2世) 第2部 日本のうた / 地元ゆかりのうたより、「親子で歌いつごう日本の歌百選」より ~ さくら(日本古謡・武満徹)、ふるさと(岡野貞一・上田真樹) 第3部 日本の合唱曲 - 東京混声合唱団委嘱作品より / 「合唱のためのコンポジション第1番」より IV(間宮芳生)、萬歳流し(柴田南雄) 第4部 みんなでコーラス / 校歌全員合唱、ABCより選択 [A. 全員合唱(各校選択曲) または B. ラララのラー(鶴見幸代) または C. ミュージカルメドレー ~ 「サウンド・オブ・ミュージック」より ~ (ロジャース)] 第6部 楽しいコーラス / コンダリラ(滝の精)(リーク)、風になりたい(宮沢和史)、Joyful Joyful(ゴスペル)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 (90分~100分)</p>		
原作 / 作曲 脚 本 演出 / 振付			
著作権	無	制作団体が所有	有 制作団体以外が所有する事項が含まれる
			有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>校歌の模範演奏を冒頭に、東京混声合唱団の全合唱分野を網羅する豊富なレパートリーの中から、世界の合唱名曲、古典から現代までの合唱曲、200曲を超える委嘱オリジナル作品群より選曲、また、親子で歌いつごう日本の歌百選、日本の伝統芸能を素材とした合唱曲、小学生・中学生の愛唱歌、教科書掲載曲、東京混声合唱団オリジナル編曲によるポップス等、広範囲なジャンルより選曲いたしました。特に委嘱オリジナル作品は、小・中学校ともにステージのみならず会場全体を使用するシアターピースを含んでおり、学校ではなかなか体験することのできない合唱の奥深い世界を感じられるプログラムです。</p>		
演目選択理由	<p>合唱は、どの学校においても児童生徒全員が何らかの形で親しんでいる音楽であり、校内において合唱コンクールなども盛んに行われています。そこで合唱音楽の魅力をより深く理解し、親しんでもらうために、児童生徒全員が参加できる内容を考慮し、上記のような演目としました。曲目については、過去の文化庁巡回事業、あるいは他の学校公演での音楽教員の先生方のご意見を参考に、内部でも検討を重ねた結果選曲したもので、各校の規模や実情に合わせた実施形態が可能です。また、児童生徒が十分興味を持って参加・鑑賞できるよう、児童生徒共演コーナーについては、各校による選択曲、またはオリジナル合唱曲「ラララのラー」、またはミュージカルメドレー ~ 「サウンド・オブ・ミュージック」より ~ の選択制としました。これは児童生徒に対し、自分たちが一緒に音楽作品を作り上げる自覚と興味を持たせるとともに、子供たちの発想力を豊かにはくむ内容となっています。なお、開催地別に演奏させていただく「地元ゆかりのうた」は、児童生徒が地域の歴史や風土などにも触れる機会になり、これまでの公演でもご好評をいただいております。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>児童生徒全員が合唱に参加する形での共演形態を基本とし、指揮、ピアノ伴奏や吹奏楽、楽器伴奏等を児童生徒に担当してもらうことも可能です。共演形態については、各校の先生方と十分に打ち合わせの上で、各校の実情に合わせて決定します。共演曲は、小学校・中学校共に三つの選択制とし、Aは各学校において自由に1曲選曲いただき、Bは鶴見幸代作曲による子供と大人が一緒に歌うためのオリジナル合唱曲「ラララのラー」、Cはミュージカルメドレー ~ 「サウンド・オブ・ミュージック」より ~ に挑戦していただけます。「ラララのラー」「サウンド・オブ・ミュージック」は、大人と一緒に声を出して体を動かしているうちに曲が完成してしまうという誰でも取り組める作品で、子供のハーモニーに大人のハーモニーを重ねてでき上がる、声による不思議な音空間を楽しんでいただけます。校歌についても、合唱団による模範演奏の他、ワークショップで指導を行った上で、全員合唱として共演していただけます。体育館にどのように並んで合唱するのか、実際の過去の実施例等を踏まえ、生徒数等を考慮しながら当該校に最も相応しいステージを設定することが可能です。</p>		
出演者	指揮 / キハラ良尚 ほか ピアノ / 田島葉子 ほか 合唱 / 東京混声合唱団		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 33名 スタッフ: 名 合計: 33名</p>	機材等 運搬方法	<p>積載量 t 車長 m 台数 台 車両等は使用なし</p>

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書 をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(0.5 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	10時30分	11時～12時30分 (会場リハーサル含む)	13時30分～ 15時10分	10分	15時15分～ 15時30分	15時30分
本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	制限なし				
	本公演	制限なし				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>・本公演の際に共演する曲目(校歌、各学校による選択曲または「ラララのラー」またはミュージカルメドレー～「サウンド・オブ・ミュージック」より～)については、全員合唱の形で演奏指導を行います。</p> <p>・校歌については、ワークショップにおいて児童生徒と一緒に校歌の分析、解釈を細部にわたり施し、本公演で東京混声合唱団による模範演奏、合同演奏を行います。</p> <p>・採択決定後、ワークショップ前に共演曲目を選択していただき、事前準備として音楽の時間やお昼の放送、あるいは掲示等で共演曲について周知し、その後、ワークショップを実施すると、より一層の効果が得られます。</p> <p>・各パート(ソプラノ、アルト、テノール、バス)から一人ずつとピアニストの計5名で実施するため、指導だけでなく、一部コンサートを含めて具体的に曲を鑑賞してもらい、混声合唱の仕組みやそれぞれの発声法についての解説も行います。特に変声期の中学生等については、男声団員による具体的な指導が可能です。ピアノ伴奏を児童生徒が担当する場合は、ピアニストによる演奏指導も合わせて行い、質問コーナーでは児童生徒からの質問に回答します。</p> <p>・インターネット上には当事業に関する「ふれあいホームページ」(http://toukonfureai.com)を教員、児童生徒を対象に開設し、ワークショップから本公演に至るまでの資料提供や交流の場として活用しています。</p>					
ワークショップ実施形態の意図	実際の演奏をおりませながら、ソプラノ、アルト、テノール、バスの声の違い、声と体の関係、良い声を出すための姿勢、男子の変声、合唱の仕組みや幅広い表現の方法について興味を膨らませ、本公演が実り多い成果を上げられるよう指導を行います。					
特別支援学校での実施における工夫点	児童生徒の発達や障害の状態(身体の状態、発語・発声に関すること等)について当該校と情報を共有し、その状況に合わせて指導内容を工夫し、円滑な実施に努めます。 児童生徒にはさまざまな音の響きを身近に体験してもらい、手拍子などでリリックの要素を含めて、一緒に歌い楽しく交流を深められるよう演出等に配慮します。					
実施可能時期はB区分申請団体のみ	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

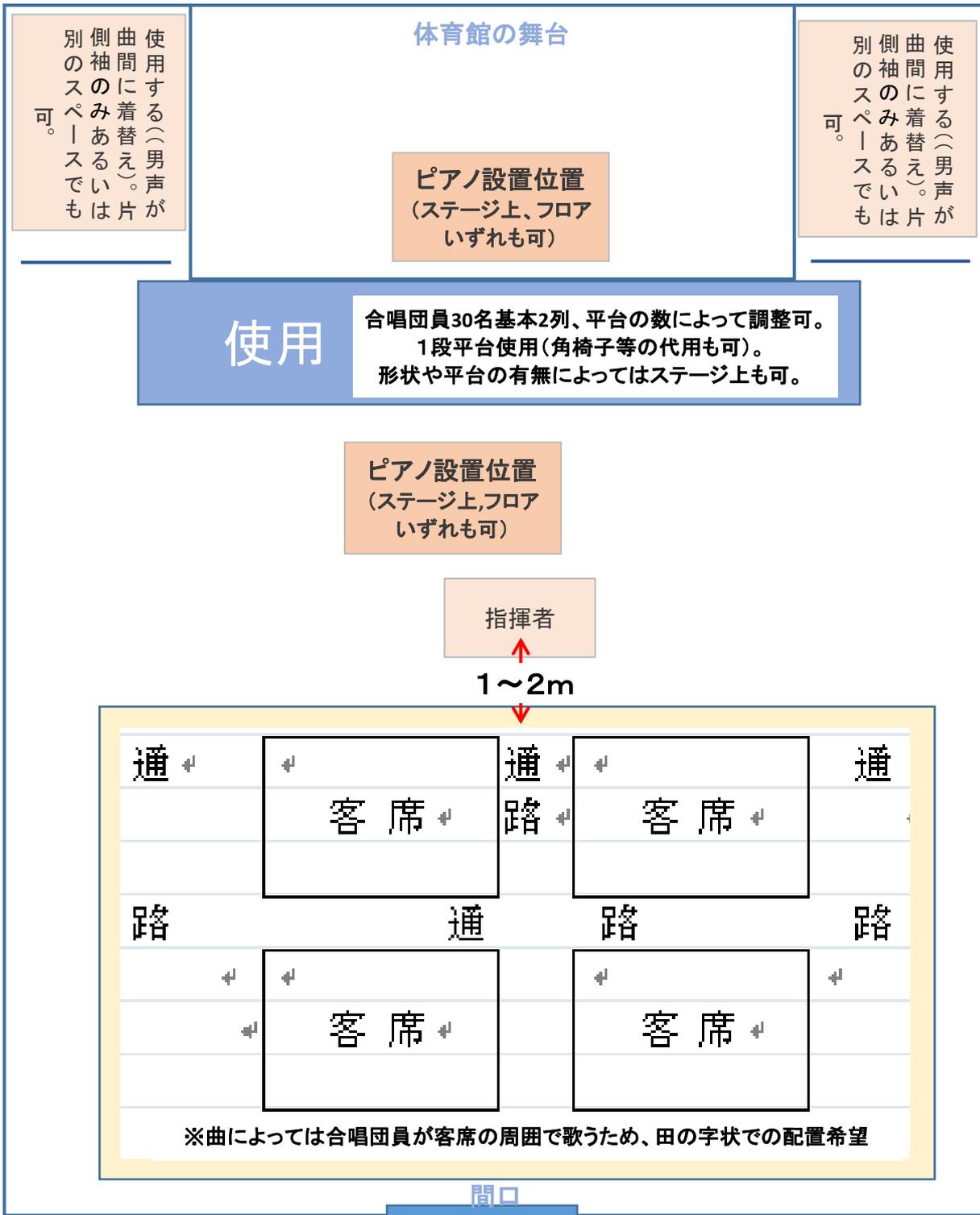
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E51	分野	音楽	種目	合唱	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	東京混声合唱団			制作団体名	一般財団法人 合唱音楽振興会				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	3室	条件	指揮者1室, 男性, 女性の着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です。					
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			大型バス 1台					
	可	来校する車両の内, 横づけが必要な車両の大きさ			横付けできない場合、近隣下車やタクシーでの来校可					
	—	搬入車両の横づけの要否 *			不要					
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	—	搬入経路の最低条件			なし					
	—	理由								
	—	設置階の制限 *			問わない					
—	搬入間口について 単位:メートル		幅	問わない	高さ	問わない				
WSについて	可	参加可能人数			制限なし					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度					
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			制限なし					
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	—	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	問わない	奥行	問わない	高さ	問わない	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
	可				舞台袖スペースの条件 *			男声が曲間に着替え(別の場所も可)		
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由				
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	可			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	—	公演に必要な電源容量			なし	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
可	ピアノの設置はステージ上、フロアのいずれでも可。音響により、多少の前後移動を団員が行う。									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	問わない	高さ	問わない
搬入車両の横づけの要否			不要	
横づけができない場合の搬入可能距離			問わない	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

平成30年度文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業— 〔合唱公演〕

指揮：キハラ良尚（7/2～7/6、11/19～11/22）、水戸博之（10/1～10/5、11/26～11/30）
ピアノ：若月直子（7/2～7/6）、武田麻里江（10/1～10/5）、由島葉子（11/19～11/22）、矢崎貴子（11/26～11/30）
合唱：東京混声合唱団

プログラム

①校歌演奏

②日本のうた

待ちぼうけ（北原白秋作詞・山田耕作作曲・林光編曲）
せんせい（きょうたにたかし作詞・三善晃作曲）
地元ゆかりのうたより（各府県ごとに以下のいずれかを1曲）
砂山（新潟県／北原白秋作詞・中山晋平作曲・林光編曲）
こきりこ（富山県／富山県民謡・小林秀雄編作曲）
栄冠は君に輝く（石川県／加賀大介作詞・古関裕而作曲・田中達也編曲）
コメディア・インサラータ（福井県／俵方智作詞・林光作曲）
竹の子守歌（京都府／京都府民謡・寺嶋尚彦編曲）

③世界の合唱曲より

夏は来たりぬ（14世紀のカノン）
ハレルヤ（ヘンデル作曲）～オラトリオ「メサイア」より
フニクリ・フニクラ（G.トゥルコ作詞・津川圭一訳詞・L.デンツァ作曲・田中信昭編曲）

④日本の伝統芸能を素材にした合唱曲～シアターピース～

萬歳流し（柴田南雄作曲）～秋田県に伝わる伝統芸能による
—休憩—

⑤みんなで歌おう

歌う前にみんなでウォームアップ～ポディーパーカッション
校歌全員合唱
各校選択曲 または
ラララのラー（鶴見幸代作曲）
プラネタミュージカル—星空合唱音楽劇—（鶴見幸代作詞・作曲）

⑥みんなのコーラス

となりのトトロ（宮崎駿作詞・久石譲作曲・若林千春編曲）
幸せなら手をたたこう（木村利人作詞・スペイン民謡・鷹羽弘見編曲）
ジッパ・ディー・ドゥー・ダー（G.レイ作詞・U.アリー作曲・M.ハフ編曲）
翼をください（山上路夫作詞・村井邦彦作曲・若林千春編曲）

●みんなで歌おう（曲目）

開催月日	開催校	曲目（作曲者）
7月2日(月)	長岡市立新町小学校	Forever(杉本竜一)
7月4日(水)	氷見市立窪小学校	プラネタミュージカル(鶴見幸代)
7月5日(木)	小松市立今江小学校	プラネタミュージカル(鶴見幸代)
7月6日(金)	加賀市立片山津小学校	勇氣100%(馬飼野康二)
10月1日(月)	新潟市立中野小学校	ラララのラー(鶴見幸代)
10月2日(火)	新潟市立業雲寺小学校	夢の世界を(橋本祥路)
10月3日(水)	富山市立堀川小学校	ラララのラー(鶴見幸代)

開催月日	開催校	曲目（作曲者）
10月5日(金)	小浜市立雲浜小学校	Believe(杉本竜一)
11月19日(月)	木曽市立上初小学校	ラララのラー(鶴見幸代)
11月20日(火)	京丹後市立橋小学校	ラララのラー(鶴見幸代)
11月22日(木)	京都市立朱雀第六小学校	ラララのラー(鶴見幸代)
11月26日(月)	京都市立鳳徳小学校	プラネタミュージカル(鶴見幸代)
11月27日(火)	綾部市立東八田小学校	プラネタミュージカル(鶴見幸代)
11月29日(木)	京都府立丹波支援学校	ともだちいもんだ(三木たかし)

●鑑賞の手引き

今日は人間の声で描く芸術「合唱」の美しさ、楽しさを体験しましょう。

ひとりで歌う独唱と違い、ソプラノ、アルト、テノール、バスのそれぞれのパートの人たちの声のとけ合って生まれるハーモニーの美しさ、また、自分たちで美しいハーモニーを響かせることができた時の喜びや楽しさは「合唱」でしか味わえないものです。みんなで歌うコーナーでは、みんなの声と合唱団の人たちの声のとけ合ってひろい体育館いっぱい、美しいハーモニーが響きわたります。



●演目解説

待ちぼうけ

中国に伝わるお話を基に作られた曲で、合唱がお話を進め、ピアノが情景を具事に描いています。

せんせい

大阪の小学一年生が書いた詩から生まれた曲。「小さな子どもたちの詩による13の歌」という合唱組曲の1曲です。

地元ゆかりのうた

新潟県の「砂山」～佐渡島を望む奇浜浜の情景を歌った名曲です。富山県の「こきりこ」～富山県五箇山地方に伝わる民謡を小林秀雄が編作曲したものです。石川県の「栄冠は君に輝く」～石川県能美市出身の加賀大介による作詞で、全国高等学校野球選手権大会でおなじみの歌です。福井県の「コメディア・インサラータ」～中学から高校時代を福井県で過ごした歌人・俵方智が詠んだ歌集「サラダ記念白」を詩として作られた合唱曲です。京都府の「竹の子守歌」～京都府で歌い継がれてきた民謡で、子守をしていた子供の労働歌でもあります。

夏は来たりぬ（14世紀のカノン）

700年程前から歌い続けられてきた輪唱曲です。女声と男声が別々の輪唱を同時に歌います。

ハレルヤ

オラトリオ「メサイア（救世主）」は、キリストの一生を描いた作品です。全体が三部に分かれ、この「ハレルヤ」は第二部の最後を飾る壮大な合唱です。

フニクリ・フニクラ

イタリアの登山鉄道（フニコラーレ）を題材に作られた曲で、明るい南イタリアの舞曲気が伝わってきます。

萬歳流し

雪国の町、秋田県横手市に伝わる伝統芸能「御門開き」と「秋田御国萬歳」を素材とした合唱曲です。合唱団の男声メンバーが太夫と才蔵のペアーに分かれて場内を歩き、門付けをしながら廻ります。会場全体を使って演奏されるシアターピースという形で作曲されています。

となりのトトロ

アニメ映画「となりのトトロ」の主題歌を東京混声合唱団オリジナルアレンジのアカペラ（無伴奏）で歌います。

幸せなら手をたたこう

軽快なリズムに合わせてみんなで楽しめる歌です。みんなで一緒に手拍子、足拍子、元気に体を動かしましょう。

ジッパ・ディー・ドゥー・ダー

ディズニー映画「南部の唄」の挿入歌。陽気で踊り出したくなるような曲です。

翼をください

幅広い世代に愛され、長く歌い継がれているフォークソングの名曲です。みなさんもきっとどこかで耳にしたことがあるでしょう。

平成30年度文化芸術による子供の育成事業 一巡回公演事業一〈合唱公演〉

指揮：キハラ良尚（7/2～7/6、11/19～11/22）、水戸博之（10/1～10/5、11/26～11/30）
 ピアノ：若月直子（7/2～7/6）、武田麻里江（10/1～10/5）、田島葉子（11/19～11/22）、矢崎貴子（11/26～11/30）
 合唱：東京混声合唱団

プログラム

- ①校歌演奏
- ②日本のうたー「親子で歌いごう日本の歌百選」よりー
 夕焼小焼（中村雨紅作詞・草川信作曲・三善晃編曲）
 シャボン玉（野口雨情作詞・中山晋平作曲・林光編曲）
- ③世界の合唱曲より
 波はささやき（モンテヴェルディ作曲）
 涙の日（モーツァルト作曲）
 トリッチ・トラッチ・ポルカ（門えりお訳詞・ヨハン・シュトラウス2世作曲）
- ④地元ゆかりのうたより（各府県ごとに以下のいずれかを1曲）
 砂山（新潟県／北原白秋作詞・中山晋平作曲・林光編曲）
 こきりこ（富山県／富山県民謡・小林秀雄編作曲）
 栄冠は君に輝く（石川県／加賀大介作詞・古関裕而作曲・田中達也編曲）
 コメディア・インサラータ（福井県／俵万智作詞・林光作曲）
 竹田の子守歌（京都府／京都地方民謡・寺嶋尚彦編曲）
- ⑤日本の合唱曲ー東京混声合唱団委嘱作品よりー
 「合唱のためのコンポジション第1番」より～Ⅳ（間宮芳生作曲）
 萬歳流し（柴田南雄作曲）～秋田県に伝わる伝統芸能による
- ー休憩ー
- ⑥みんなでコーラス
 校歌全員合唱
 各校選抜曲 または
 ラララのラー（鶴見幸代作詞・作曲）
 プラネタミュージカルー星空合唱音楽劇ー（鶴見幸代作詞・作曲）
- ⑦楽しいコーラス
 滝の精（S.リーク作曲）
 手紙（アンジェラ・アキ作詞作曲・鷹羽弘晃編曲）
 Joyful Joyful 〈ゴスペル〉（V.ブラウン作詞・ベートーヴェン作曲・M.ウォーレン編曲）

●鑑賞の手引き

今日は人間の声で描く芸術「合唱」の美しさ、楽しさを体験しましょう。

ひとりで歌う独唱と違い、ソプラノ、アルト、テノール、バスのそれぞれのパートの人たちの声がとけ合って生まれるハーモニーの美しさ、また、自分たちで美しいハーモニーを響かせることができた時の喜びや楽しさは「合唱」でしか味わえないものです。みんなで歌うコーナーでは、みんなの声と合唱団の人たちの声がとけ合ってひろい体育館いっぱい、美しいハーモニーが響きわたります。



●演目解説

夕焼小焼

童謡として広く知られた旋律を三善晃が合唱用に編曲したものです。

シャボン玉

無邪気に遊ぶ子供の様子と、はかなく消えるシャボン玉の対比を見事に描いた曲です。

波はささやき

16世紀のイタリアの作曲家モンテヴェルディによるマドリガル（世俗歌曲）で、夜明けの爽やかな朝の光景を描いています。

涙の日

モーツァルト最晩年の作品「レクイエム」の中の1曲で、厳かで美しい旋律が印象的です。

トリッチ・トラッチ・ポルカ

「おしゃべりポルカ」とも呼ばれ、人の噂が次から次へと町中に広がっていく様子を軽快なポルカに乗せて描いています。

地元ゆかりのうた

新潟県の「砂山」～佐渡島を望む寄居浜の情景を歌った名曲です。富山県の「こきりこ」～富山県五箇山地方に伝わる民謡を小林秀雄が編作曲したものです。石川県の「栄冠は君に輝く」～石川県能美市出身の加賀大介による作詞で、全国高等学校野球選手権大会でおなじみの歌です。福井県の「コメディア・インサラータ」～中学から高校時代を福井県で過ごした歌人・俵万智が詠んだ歌集「サラダ記念日」を詩として作られた合唱曲です。京都府の「竹田の子守歌」～京都府で歌い継がれてきた民謡で、子守をしていた子供の労働歌でもあります。

「合唱のためのコンポジション第1番」より～Ⅳ

無伴奏の合唱組曲で、日本民謡から抽出された離子詞が作品の素材となっています。

萬歳流し

雪国の町、秋田県横手市に伝わる伝統芸能「御門開き」と「秋田御国萬歳」を素材とした合唱曲です。合唱団の男声メンバーが太夫と才蔵のペアに分かれて場内を歩き、門付けをしながら廻ります。会場全体を使って演奏されるシアターピースという形で作曲されています。

滝の精

オーストラリアの現代作曲家リークによる作品です。まるで深い森の中に迷い込んでしまったかのような音空間が味わえる不思議な一曲です。

手紙

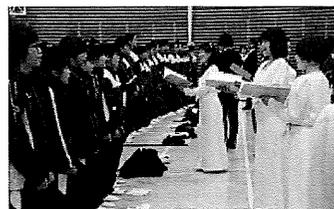
歌手のアンジェラ・アキが合唱コンクールの課題曲として中学生のために書いた合唱曲です。

Joyful Joyful 〈ゴスペル〉

映画「天使にラブソングを2」の中で歌われたゴスペルで、ベートーヴェンの「第九」の旋律が使われています。

●みんなでコーラス（曲目）

開催月日	開催校	曲目（作曲者）
7月3日(火)	富山市立月岡中学校	希望という名の花を(山崎朋子)
10月4日(木)	滑川市立滑川中学校	大地讃頌(佐藤 真)
11月21日(水)	京丹波町立蒲生野中学校	君とみた海(若松 欲)
11月28日(水)	綾部市立豊里中学校	With You Smile(水本 誠)
11月30日(金)	京丹後市立峰山中学校	ひまわりの約束(秦 基博)



VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱, <u>オーケストラ等</u> , 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	がっこうほうじん おおさかおんがくだいがく ----- 学校法人 大阪音楽大学		
代表者職・氏名	理事長 中村 孝義		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1丁目1番8号 (阪急宝塚線 庄内駅)		
電話番号	06-6334-2824(直通)	F A X 番号	06-6334-2164
ふりがな 公演団体名	ざ・かれっじ・オペらほうすかんげんがくだん ----- ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団		
代表者職・氏名	ザ・カレッジ・オペラハウス館長 中村 孝義		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1丁目1番8号 (阪急宝塚線 庄内駅)		
制作団体 設立年月	1988年 4月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 中村 孝義 副理事長 本田 耕一 常任理事 中上 善生 十川 輝明 岡野 幸義	■大阪音楽大学 教職員数 588名 学生数 1,065名 ■ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 別紙参照 (平成30年7月1日現在)	
事務体制の担当	専任 ・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	齋藤 秀之 (オーケストラスタッフ)
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	江良 成人 (連携・演奏事務部門長)

制作団体沿革	<p>「大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス」の専属管弦楽団として、1988年4月に組織された。定期演奏会は2017年11月で53回となった。ザ・カレッジ・オペラハウス主催オペラ公演の管弦楽を担当。また発足当初より学生の研究、学習をサポート。学外では1999年ザ・カレッジ・オペラハウスの引越し公演として、東京文化会館と滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて黛敏郎《金閣寺》の管弦楽を担当。この公演を含む多彩な演奏活動が認められ、2000年第20回音楽クリティック・クラブ賞を受賞。以降も多くのオペラの成功に貢献している。2005年9月新国立劇場における「地域招聘公演」第1回として松村禎三《沈黙》の管弦楽を担当、公演は大きな反響を呼んだ。2005年10月ザ・カレッジ・オペラハウスでの《沈黙》および2011年10月の20世紀オペラ・シリーズ、B.ブリテン《ねじの回転》の公演では文化庁芸術祭大賞を受賞。2013年同シリーズ、B.ブリテン《ピーター・グライムズ》の公演では第22回三菱UFJ信託音楽賞を受賞し、1997年ザ・カレッジ・オペラハウスにおける黛敏郎《金閣寺》の公演での第6回三菱信託音楽賞受賞に続く快挙を果たした。さらに2014年10月の同シリーズ、鈴木英明《鬼娘恋首引》およびB.ブリテン《カーリユー・リヴァー》の公演は、狂言と能を題材にした内容と上質な演奏が高く評価され3度目の文化庁芸術祭大賞を受賞。2015年創立100周年記念オペラ公演、G.ヴェルディ《ファルスタッフ》の公演では文化庁芸術祭優秀賞を受賞。以上、数々の受賞に貢献している。</p> <p>名誉指揮者に飯森範親、山下一史、チャン・ユンスン、正指揮者に大勝秀也、牧村邦彦を擁している。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。</p>		
学校等における公演実績	<p>桜ヶ丘幼稚園創立50周年記念演奏会、大阪府立交野高等学校創立記念式典、摂津市立第四中学校音楽鑑賞会、大阪府立吹田東高等学校創立30周年記念演奏会、摂津市立第一中学校音楽鑑賞会、山陽女子高等学校音楽鑑賞会、豊中市立第十二中学校音楽鑑賞会、六甲アイランド高等学校音楽鑑賞会、石巻市立門脇小学校・門脇中学校、石巻専修大学、女川町立第一小学校・第二小学校・第四小学校、女川町立第一中学校・第二中学校、大阪府立大学工業高等専門学校音楽鑑賞会、その他大阪市内小学校公演(大阪市・青少年芸術体験事業)など</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>平野特別支援学校(大阪市・青少年芸術体験事業) 富山県立富山視覚総合支援学校(平成25年度文化庁巡回公演事業) 杉並区立済美養護学校(平成26年度文化庁巡回公演事業) 宮崎県立日南くろしお支援学校(平成27年度文化庁巡回公演事業) 広島県立庄原特別支援学校(平成30年度文化庁巡回公演事業)(予定)</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等 申請する演目のDVDまたはWEB公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	有 ・ 無 有 ・ 無 ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	(有) ・ 無 ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	学校の体育館が音楽ホールへ大変身！？ ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団オーケストラ公演 ♪♪オーケストラってなあに？みんなで生のオーケストラ演奏を体験してみよう♪♪		
本公演演目	<p>●オープニング ロッシーニ / 歌劇「ウィリアム・テル」序曲より スイス軍の行進 3'</p> <p>●楽器紹介 20' ～弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器をお話しと演奏を交えながら紹介していきます～</p> <p>●オーケストラ演奏 チャイコフスキー / バレエ組曲「くるみ割り人形」より 花のワルツ 7'</p> <p>休憩 15分</p> <p>●校歌合唱 3' オーケストラの華やかな伴奏で校歌を元気に歌いましょう！！</p> <p>●オペラ・アリア 4' プロの歌手による生の歌声をお届けします。</p> <p>●指揮者体験コーナー ～オーケストラの指揮に挑戦♪ 10' ビゼー / 歌劇「カルメン」より 前奏曲</p>		
原作／作曲 脚 本 演出／振付	<p>●共演コーナー(下記の曲より共演希望曲を1曲選択) オーケストラと一緒に演奏してみよう！！</p> <p><u>A 吹奏楽部・金管バンドとの共演の場合</u></p> <p>・ウィルソン / 76本のトロンボーン 3' ・ヤン・ヴァンデルロースト / アルセナール 4' ・スーザ / 星条旗よ永遠なれ 3' ・バーンズ / アルヴァマー序曲 7'</p> <p><u>B 合唱共演の場合</u></p> <p>・ビリーヴ 3' ・君をのせて 3' ・マイ バラード 3' ・翼をください 3'</p> <p>●オーケストラ演奏 シベリウス / 交響詩「フィンランディア」 8'</p> <p>◆アンコール シュトラウス2世 / 雷鳴と稲妻 3'</p> <p>※上記プログラムは一部変更になる可能性もあります。</p>		
著作権	制作団体が 所有	○ 制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無

公演時間(約90分)

※共演曲のアルセナールのみ許諾が必要になりますが、詳細確定後手続きいたします。

演 目 概 要

ロッシーニ / 歌劇「ウィリアム・テル」序曲より スイス軍の行進

演奏会のオープニングは、歌劇「ウィリアム・テル」序曲よりスイス軍の行進でスタートいたします。華やかなトランペットのファンファーレから始まり演奏会の幕開けにふさわしく子供たちをオーケストラの世界へグッと惹きつけます。

楽器紹介

オープニングの余韻に浸りながら、楽器紹介へと続いていきます。弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器をお話と演奏を交えながら紹介していきます。

チャイコフスキー / バレエ組曲「くるみ割り人形」より 花のワルツ

チャイコフスキーの三大バレエのひとつで、クラシック音楽の全体の中でも非常にポピュラーな曲であり、チャイコフスキーのメロディメーカーとしての才能、サウンドの魅力などが凝縮されているとても魅力的な曲です。序奏にはハープが効果的に用いられていますので、実際の音を聴いて・見て・感じていただきながら第1部のクライマックスへと導きます。

校歌合唱

休憩でリラックスしたあと、第2部は校歌斉唱からスタートいたします。普段、ピアノ伴奏やCDなどに合わせて歌う校歌を、プロのオーケストラの演奏をバックに、児童・生徒のみなさんに歌っていただきます。世界で一つだけの特別バージョンの校歌で思い出に華を添えます。

オペラ・アリア

校歌を元気よく歌った後は、ちょっと一息おいてプロの歌手による生の歌声を間近で聴いていただきます。華やかな衣装だけでなく、プロの歌手の甘く美しい歌声や顔の表情などにも注目してみてください。

指揮者体験コーナー

指揮者から指揮についての役割などをわかりやすく説明していただき、児童・生徒のみなさんの中から代表で3名の方にオーケストラの指揮に挑戦していただきます。曲目は、ビゼー作曲の歌劇「カルメン」より前奏曲です。お客さんへお辞儀をして指揮台に乗ったときのドキドキ・ワクワクする緊張感、指揮棒を振りだすと目の前でオーケストラが鳴り出す臨場感、曲の最後まで振り切った時の達成感などをより身近で体感していただきます。

共演コーナー

校歌・指揮者体験に続き、児童・生徒のみなさんに参加していただきます。大きく2つの項目に分け、A) 吹奏楽・金管バンドとの共演、B) 合唱共演のどちらかの中から希望する曲目を1曲選択し本公演当日オーケストラと一緒に共演していただきます。吹奏楽・金管バンドについては、実際にオーケストラの中に入っていただき、楽員と一緒に演奏していただくことで、ただ共演するだけではなく、プロの演奏を間近で体感しながら演奏をすることができます。合唱については、参加人数にもよりますが基本的にはその場で立っていただき、オーケストラと対面した状態で歌っていただきます。曲の歌詞に思いを込めて校歌とはまた一味違うサウンドを楽しみながら、オーケストラと児童・生徒、会場の皆さんで一体となって共演していただきます。

シベリウス / 交響詩「フィンランディア」

体験・共演コーナーの後はオーケストラの演奏へと戻ります。フィンランドの作曲家シベリウスが作曲した交響詩「フィンランディア」をお届けいたします。この曲はシベリウスの作品の中でもっとも知名度が高い作品で、この曲が作曲された1899年当時、フィンランドは帝政ロシアの圧政に苦しめられ、独立運動が起こっていました。シベリウスがこの曲にこめた自由への熱い願いと満ち溢れた祖国への愛を感じていただきながら演奏会のフィナーレを壮大に締めくくります。

	<p><u>シュトラウス2世 / 雷鳴と稲妻</u> 演奏会はフィナーレを迎えますが、アンコールの手拍子にのせてもう1曲。シュトラウス2世の有名なポルカ「雷鳴と稲妻」を最後にお届けしコンサートは幕を閉じます。軽快なテンポ感と雷鳴と稲妻を表現した大太鼓とシンバルにもご注目ください。</p>
<p>演目選択理由</p>	<p>次世代の文化の担い手となる子ども達の発想力やコミュニケーション能力の育成・芸術鑑賞能力の向上に寄与すると共に、本公演でオーケストラ鑑賞を体験した子ども達が将来芸術家を目指すきっかけとなる事を願いプログラムを構成いたしました。</p> <p>クラシック音楽をより親しみやすく感じていただけるように様々なシーンで聞かれることの多い名曲を選択いたしました。また、司会者によるわかりやすい曲目説明によって、初めて聴くオーケストラにも興味をもってもらえるようにいたします。</p> <p>楽器紹介では弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器のそれぞれの音色の違いについてお話とともに実際に音を聴いていただく事によって楽器の特徴を知り、興味を持って聴いてもらえるようにいたします。</p> <p>『オペラ』を得意とする楽団の特色を活かし、オペラ・アリアを演奏し、オーケストラの伴奏と共に子ども達の目の前で歌うプロの歌手の歌声が会場一杯に響き渡るのを感じていただきます。</p> <p>共演では普段歌っている校歌と選択による曲目をオーケストラと一緒に共演していただき一生の思い出となる体験をして頂きます。</p>
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>コンサートの後半に3つの児童・生徒の皆さんに参加していただくコーナーをご用意しております。</p> <p><u>校歌合唱</u> 各校の校歌をオーケストラ版にアレンジし、プロのオーケストラの演奏で児童・生徒の皆さんに歌っていただきます。普段歌っている校歌がオーケストラが加わることでどのように変わるのかは演奏会当日までのお楽しみです。</p> <p><u>指揮者体験コーナー</u> 演奏会当日、3名の児童・生徒の皆さんにオーケストラの指揮に挑戦していただきます。誰が選ばれるかはその時までの楽しみです。指揮棒の動きに合わせて出てくるオーケストラの音の強弱やテンポ(速さ)の違いなど間近で体感していただきます。</p> <p><u>共演コーナー</u> 吹奏楽・金管バンドとの共演、合唱共演の中から1曲を選択し、オーケストラと一緒に共演していただきます。吹奏楽・金管バンドの場合は、吹奏楽の作品の中でもよく知られている「76本のトロンボーン」や「アルセナール」、「星条旗よ永遠なれ」、「アルヴァマー序曲」を取り上げ、合唱の場合は、「ビリーヴ」や「君のをせて」、「マイバラード」、「翼をください」などのレパートリーをご用意しております。</p>

<p>出 演 者</p>	<p>[指揮] [歌と司会] 大勝 秀也 または 牧村 邦彦 他(予定) 竹内 直紀 または 清原 邦仁 他(予定) [管弦楽] ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団(2管10型) 2.P,2,2,2-4,3,3,1-Timp,3Perc,Hp-Str(10-8-6-6-4)</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p style="text-align: center;">出 演 者: 61名 <u>ス タ ッ フ:</u> 8名 合 計: 69名</p>	<p style="text-align: center;">機 材 等 運搬方法</p>	<p style="text-align: center;">積載量 4t 車 長 9m 台 数 2台</p>

【公演団体名 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団】

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	<p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(2 時間半～3 時間程度)</p> <p>13:30 開演の場合 07:00 楽器搬入、仕込み 11:00 リハーサル (金管バンド・吹奏楽共演の場合は、児童・生徒の皆さんにも参加していただきます。) 13:00 開場 13:30 開演 15:00 終演、バラシ 17:30 撤収完了(予定)</p> <p>14:00 開演の場合 07:30 楽器搬入、仕込み 11:30 リハーサル (金管バンド・吹奏楽共演の場合は、児童・生徒の皆さんにも参加していただきます。) 13:30 開場 14:00 開演 15:30 終演、バラシ 18:00 撤収完了(予定)</p>	
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	特に制限なし(実施会場に入る範囲内で)
	本公演	特に制限なし(実施会場に入る範囲内で)
ワークショッ 実 施 形 態 及 び 内 容	<p>～前半はプロの楽団員によるオーケストラのお話や楽器の紹介、ミニコンサートなど～ 楽器紹介では弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器と4つのグループを順番に紹介していきます。 子供たちの頭の中でイメージが作りやすいように、各楽器の実寸大のパネルを持ち込み 楽器の形(長さ)や大きさの違いなどをわかりやすく説明いたします。また、弦楽器の弦や コマなどのパーツを实际触っていただき、バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバスの弦の太 さやコマの大きさなど見比べることができます。 日程によって楽器の組み合わせは様々ですが、それぞれの楽器の演奏はもちろん、オリ ジナルのアンサンブルでも生の演奏をお届けいたします。 指揮についても2拍子の練習を全体で行い、何名かの児童・生徒の皆さんに指揮に挑戦 していただき、本公演での指揮者体験に繋がるよう心がけます。</p> <p>～後半はプロの楽員による合奏(パート)指導、またはプロのオペラ歌手による歌唱指導、 ミニコンサートなど～ 吹奏楽・金管バンドとの共演の場合は、各指導者が子供たちと一緒に間近で演奏しながら 指導をしたり、合奏しながらアンサンブルの楽しさなどを伝えていきます。 もちろん、パートでの指導も可能です。 合唱共演の場合は、身体の仕組みや発声に関する説明、呼吸法・体操なども交えながら</p>	

	<p>歌唱指導を中心に行います。歌を通じて相手に対する思いやりや何かを伝えることの大切さなどを感じることができるよう心がけます。</p>
<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>事前に共演曲目の指導をすることで、本公演までの課題を明確にいたします。 また、オーケストラのお話や楽器紹介、ミニコンサートを行うことで子供たちに音楽に対して興味を持ってもらい、より充実した本公演になるよう努めてまいります。 ワークショップでは、より近い位置で鑑賞していただき楽器の形や奏者の息づかいなどを間近で感じられるよう意識して取り組みます。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>基本的には変更なく実施できると思いますが、学校の先生方とよく話し合い、できる限りご要望に沿えるよう柔軟に対応させていただきます。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

平成31年度 文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－

<ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団>(出演予定)

指揮：大勝 秀也 または 牧村 邦彦 他(予定)

● コンサート・ミストレス：赤松 由夏

● 歌と司会：竹内 直紀 または 清原 邦仁 他(予定)

Violin I
第1ヴァイオリン

赤松 由夏
中川 美美
井上 なつき
三浦 裕梨香
山根 朋子
吉川 緑
赤穂 夫美
立花 礼子
田久保 友妃
平松 雅子

Violin II
第2ヴァイオリン

景山 映子
池上 尚里
蔭山 真理子
袋井 杏子
石井 柳子
横田 詠美
西山 佳代
土井 美佳

Viola
ヴィオラ

上野 亮子
森永 愛子
福田 幸子
三上 哲
岸野 有加利
灘儀 育子

Cello
チェロ

山岸 孝教
皆川 隼人
松村 和美
川畑 享子
米田 依未
高田 愛

Contrabass
コントラバス

林 俊武
増田 友男
林 武寛
丹澤 加奈子

Flute
フルート

江戸 聖一郎
山腰 まり
菱田 弓子

Oboe
オーボエ

福田 由美
高橋 幸子

Clarinet
クラリネット

松尾 依子
吉延 勝也

Fagot
ファゴット

岡本 真弓
黒田 景子

Horn
ホルン

伏見 浩子
川村 真菜美
西 陽子
奥 祐里恵

Trumpet
トランペット

高木 宏之
茶屋 淳子
講崎 里穂

Trombone
トロンボーン

松下 浩之
岡村 哲朗
織田 貴浩

Tuba
チューバ

澤村 隼

Timpani
ティンパニ

安永 早絵子

Percussion
パーカッション

高鍋 歩
中村 成範
大竹 秀晃

Harp
ハープ

山根 祐美

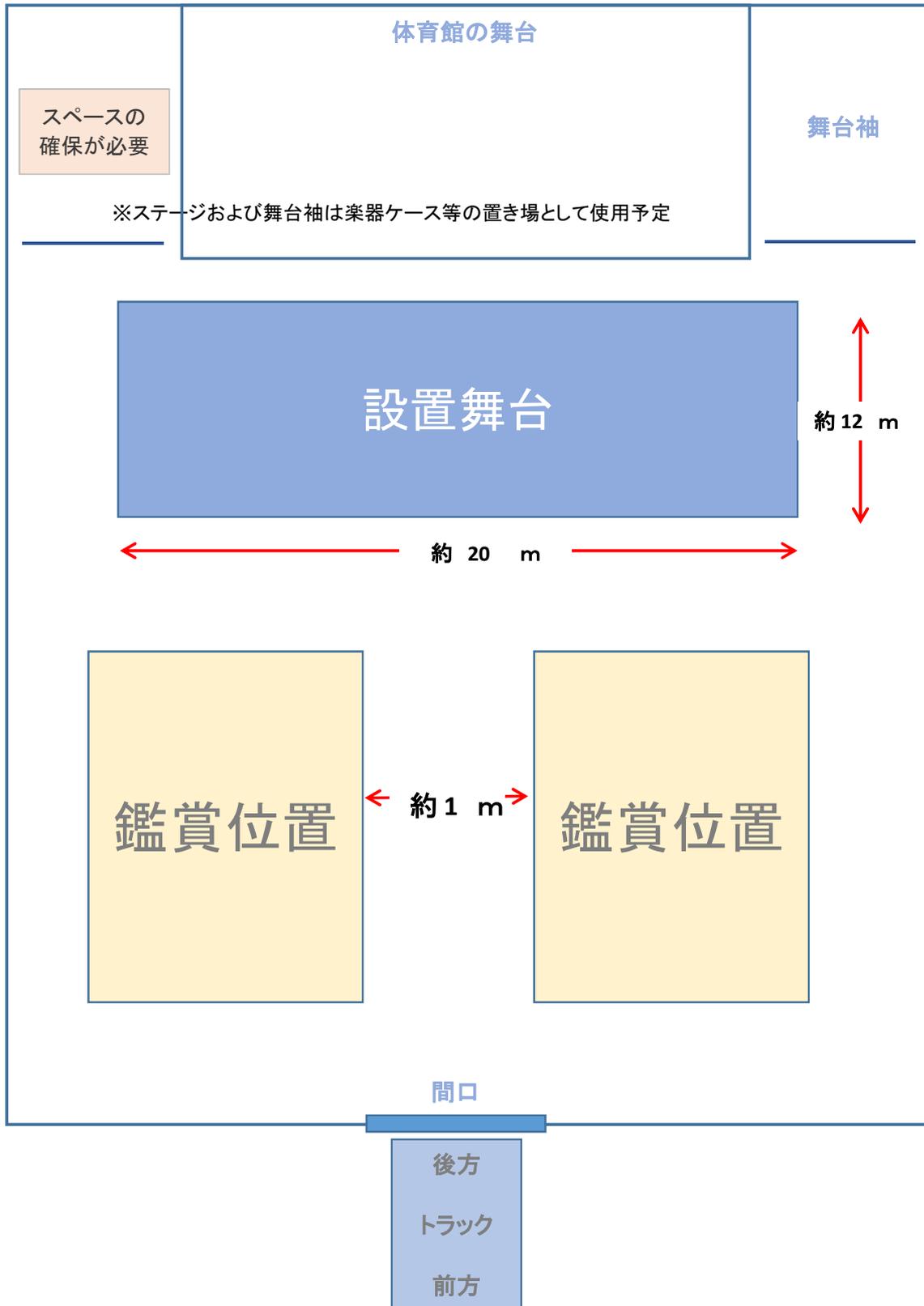
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E53	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団			制作団体名	学校法人 大阪音楽大学				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	4~5室	条件	指揮者1室、ソリスト1室、男性、女性の着替え用であるためカーテン等で目隠しが出来る部屋が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさ		と台数 *	4tトラック	2台	大型バス	2台	
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(ロング)車高3.4m 全長9.1m 車幅2.3m				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			4t×2台分の物量があり、すべて人力で持ち上げて移動させるため横付けできない場合は要相談となりますが、雨天時の対策が必要不可欠であること(3m50cm以上の屋根が必要)と、横付けできない場合は状況にもよりますが搬入・搬出時にお手伝いを願います。 ※調整の際に一度ご相談いただけましたら、検討させていただきます。				
		理由			ひな壇等舞台大道具の搬入をするため				
	可	設置階の制限 *			2階以上の場合、お手伝いを願います。				
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m以上	高さ	2.2m以上			
WSIについて	可	参加可能人数			特に制限なし				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			特に制限なし				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	20m	奥行	12m	高さ	-
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要		
	可				舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物が無い状態		
	-				緞帳 *	不要	バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	リハーサル・本番中に日差しが入ると公演の妨げになるため、カーテンがない場合は他のもので代用していただく必要があります。		
	-	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	舞台設置範囲外であれば移動不要ですが、舞台設置の妨げとなる場合移動要。			
	-			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	縦方向に固定で設置している場合は舞台の妨げになるため実施できません。(縦方向に昇降式であれば問題ございません。)				
	可	公演に必要な電源容量			-	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
可	ワイヤレスマイク 2本使用 ※機材は楽団持込。電源のみ借用いたします。(通常コンセントで対応可)								
-	※ワークショップではピアノを使用いたします。(本公演では使用いたしません)								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m以上	高さ	2.2m以上
搬入車両の横づけの要否			要	
横づけができない場合の搬入可能距離			10m以内	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

プログラム

● オープニング ロッシーニ

／ 歌劇「ウィリアム・テル」序曲より スイス軍の行進

華やかなトランペットのファンファーレが演奏会の幕開けに
ふさわしくオーケストラの世界へグッと惹きつけます。

● 楽器紹介

～弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器をお話しと演奏を交えながら紹介していきます～

● オーケストラ演奏

チャイコフスキー / バレエ組曲「くるみ割り人形」より 花のワルツ

チャイコフスキーの三大バレエのひとつで、クラシック音楽
の全体の中でも非常にポピュラーな名曲です。

— 休憩 15分 —

● 校歌合唱

オーケストラの華やかな伴奏で校歌を元気に歌いましょう!!

● オペラ・アリア

プロの歌手による生の歌声をお届けします。

プロのオペラ歌手の歌声を聴いてみよう♪

● 指揮者体験コーナー

ビゼー / 歌劇「カルメン」より 前奏曲

未来のマエストロ!オーケストラの指揮に挑戦♪

● 共演コーナー（下記の曲より共演希望曲を1曲選択）

オーケストラと一緒に演奏してみよう!!

A 吹奏楽部・金管バンドとの共演の場合

- ・ウィルソン / 76本のトロンボーン
- ・ヤン・ヴァンデルロースト / アルセナール
- ・スーザ / 星条旗よ永遠なれ
- ・バーズ / アルヴァマー序曲

B 合唱共演の場合

- ・杉本 竜一 / ピリーブ
- ・久石 譲 / 君をのせて
- ・松井 孝夫 / マイ バラード
- ・村井 邦彦 / 翼をください

オーケストラと子供たちによる夢の共演☆

● オーケストラ演奏

シベリウス / 交響詩「フィンランディア」

フィンランドの作曲家シベリウスが作曲した自由への熱い願いと
祖国への愛が込められた壮大な作品で演奏会を締めくくります。

◆ アンコール

シュトラウス2世 / 雷鳴と稲妻

ティンパニや大太鼓のトレモロで雷鳴を、シンバルで
稲妻を効果的に演奏する打楽器に注目!!

オーケストラの配置

トランペットは、オーケストラの中で高音を受けもち、迫力のある輝かしい響きが特長です。金管楽器(ホルン・トランペット・トロンボーン・チューバ)は、マウスピースを楽器につけて唇を振動させて音を出します。

クラリネットは、オーボエと同じグラナディアという黒い木でできています。見た目はオーボエと似ていますが、リードは1枚で演奏します。

トロンボーンは、他の金管楽器にはないスライドと呼ばれるU字型の管を伸ばしたり縮めたりして音を出すのが特徴です。

オーボエは、リードと呼ばれる先のうすい板状のものを2枚合わせて、それらを振動させて音を出します。オーケストラは演奏がはじまる前に、オーボエの「ラ」の音から音あわせをします。

ティンパニは、いくつかの大きさの違う太鼓を足元にあるペダルで音程を変えながら演奏しています。オーケストラの中では第2の指揮者と呼ばれるくらい、重要な柱となる楽器です。

フルートは、昔は木でできていましたが現在は金属のものがほとんどです。ピッコロは、フルートの半分くらいの大きさで、オーケストラの中で一番高い音が出ます。

ファゴットは、樫(かえで)からできていて、イタリア語で「まきの束」という意味です。伸ばすと2m60cmもあり、木管楽器の中では一番低い音が出ます。

チューバは、金管楽器の中で一番大きな楽器でとても低い音が出ます。オーケストラ全体を包み込むように豊かな音が出ます。重さは約10kgあります。

ホルンは、見た目はカタツムリのような形をした楽器ですが、管の長さは伸ばすと約3m70cmもあります。音が出てくるベルに手をいれて演奏するのが特長です。

ティンパニ

トランペット

トロンボーン

チューバ

ホルン

クラリネット

ファゴット

フルート・ピッコロ

オーボエ

打楽器

ハープ

第2バイオリン

チェロ

コントラバス

第1バイオリン

ビオラ

指揮者

ハープは、弦が47本はってあり、指ではじて演奏します。見た目も音もとても華やかです。

チェロは、エンドピンと呼ばれる棒で楽器を支えて座って演奏します。主に低音を担当します。

コントラバスは、バイオリンの仲間では一番大きく、オーケストラを下からしっかりと支える緑(えん)の下の力持ちです。重さは約10kgあります。

大太鼓や小太鼓、シンバルなどよく知っている楽器がたくさん出てきます。打楽器が入るとオーケストラの演奏がとても華やかになります。

バイオリンは、弦楽器の中で一番小さく、とても高い音がします。弦楽器(バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス)は楽器に4本の弦がはってあり、弓でこすって演奏します。

指揮者は、オーケストラのまとめ役です。曲の早さや音の強さなど、オーケストラがどのように演奏するのが全体に指示を出します。

ビオラは、バイオリンよりも少し大きく、低い音がします。

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

The College Operahouse Orchestra

「大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス」の専属管弦楽団として、1988年4月に組織された。定期演奏会は2017年11月で53回となった。ザ・カレッジ・オペラハウス主催オペラ公演の管弦楽を担当。また発足当初より学生の研究、学習をサポート。学外では1999年ザ・カレッジ・オペラハウスの引越公演として、東京文化会館と滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて黛敏郎《金閣寺》の管弦楽を担当。この公演を含む多彩な演奏活動が認められ、2000年第20回音楽クリティック・クラブ賞を受賞。以降も多くのオペラの成功に貢献している。2005年9月新国立劇場における「地域招聘公演」第1回として松村禎三《沈黙》の管弦楽を担当、公演は大きな反響を呼んだ。2005年10月ザ・カレッジ・オペラハウスでの《沈黙》および2011年10月の20世紀オペラ・シリーズ、B.プリテン《ねじの回転》の公演では文化庁芸術祭大賞を受賞。2013年同シリーズ、B.プリテン《ピーター・グライムズ》の公演では第22回三菱UFJ信託音楽賞を受賞し、1997年ザ・カレッジ・オペラハウスにおける黛敏郎《金閣寺》の公演での第6回三菱信託音楽賞受賞に続く快挙を果たした。さらに2014年10月の同シリーズ、鈴木英明《鬼娘恋首引》およびB.プリテン《カーリュー・リヴァー》の公演は、狂言と能を題材にした内容と上質な演奏が高く評価され3度目の文化庁芸術祭大賞を受賞。2015年創立100周年記念オペラ公演、G.ヴェルディ《ファルス・スタッフ》の公演では文化庁芸術祭優秀賞を受賞。以上、数々の受賞に貢献している。名誉指揮者に飯森範親、山下一史、チャン・ユンソン、正指揮者に大勝秀也、牧村邦彦を擁している。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。 A区分のみ A区分とB区分の両方 C区分複数申請の有無(該当する方に○を付してください。) あり なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいいしゃ げきだんひまわり ----- 株式会社 劇団ひまわり		
代表者職・氏名	代表取締役 砂岡不二夫(すなおかふじお)		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西 2-12-12 (最寄り駅 東急東横線・代官山駅徒歩4分、JR 山手線/東京外口日比谷線・恵比寿駅徒歩8分)		
電話番号	03-3476-0011	F A X 番 号	03-3476-1439 (H31 変更)
ふりがな 公演団体名	げきだんひまわり ----- 劇団ひまわり		
代表者職・氏名	代表取締役 砂岡不二夫(すなおかふじお)		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西 2-12-12 (最寄り駅 東急東横線・代官山駅徒歩4分、JR 山手線/東京外口日比谷線・恵比寿駅徒歩8分)		
制作団体 設立年月	1952年 7月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 砂岡 不二夫 取締役 砂岡 誠 取締役 砂岡 克子 取締役 砂岡 真佐子 監査役 神通 官子	東京本社 俳優養成所 教務3名 事務2名 広報2名 メディア局 マネージャー10名 デスク3名 俳優部82名 砂岡事務所・ブルーシャトル マネージャー4名 俳優44名 制作局1名 劇団員56名 大阪支社 俳優養成所 教務4名 事務1名 メディア局 5名 俳優部20名 制作局1名 劇団員19名 福岡支社 5名 劇団員9名 俳優部1名 名古屋支社 1名 劇団員6名 札幌支社 3名	
事務体制の担当	<input checked="" type="radio"/> 専任 <input type="radio"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	北原 千冬
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	経理責任者名	齊藤 文香

制作団体沿革	1952 年創立以来、テレビ・舞台・映画等の第一線で活躍する俳優を輩出。1958 年に俳優養成所を開設。新人俳優の育成・演劇を通じた児童・青少年の表現・情緒教育の研究から実践を行う。専門機関として、海外の養成機関との提携事業も実施(英国王立演劇学校、ラバンセンター他)。1959 年から公演活動を全国的に展開、代表作に『童話の劇場』(厚生省児童福祉文化奨励賞)、『民話の劇場』(厚生省児童福祉文化賞受賞)等。プロデュース作品は『コルチャック先生』『スクルージ〜クリスマス・キャロル』等。また、2011～12 年にかけて、創立 60 周年記念公演「きらめくいのち三部作」として『アンネ』『カラフル』『蒼い妖精とピノッキオ』を上演。海外交流も多く、アメリカ・カナダ縦断、イギリス(3 回)、香港、オーストラリア、韓国(2 回)、ポーランド等で公演、本事業の前身である 2004 年度「本物の舞台芸術体験事業」から 2013 年度「次代を担う子どもの舞台芸術体験事業(B 区分)」まで採択が続いた『とんでろじいちゃん』は、2003 年韓国三都市公演を実施。		
学校等における公演実績	学校巡回公演は 1967 年『天狗の笛』から始まる。以来、小・中・高校等の巡回公演は 33 作品を数える。その間、厚生省児童福祉審議会推薦、厚生省児童福祉文化賞・文化奨励賞、東京都児童劇祭・優秀賞等を受賞、東京都小・中学劇研推薦など高い評価を得、多い時は年間 1,000 ステージを超え、現在も通年で 5 作品が巡回公演をしている。		
特別支援学校における公演実績	本事業を含め、今まで 7 校での上演実績がある。 また、特別支援学級が校内にある場合は、常時観劇いただいている。		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	http://www.himawari.net/theater_movie/jido/4251.html
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID:特になし PW:特になし
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団ひまわり】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	『ホントのきもち』		
本公演演目	演目/『ホントのきもち』		
原作/作曲	原作/『木馬がのった白い船』立原えりか		
脚本	構成・演出/太宰久夫		
演出/振付	音楽/テーマ曲(作曲・宮川彬良 作詞・並河祥太) 『木馬がのった白い船』劇中曲(作曲・浜田均)		
	美術/方勝		公演時間(70分)
著作権	制作団体が所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	<input type="radio"/> (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>作品構成とあらすじ 当該作品は、2部で構成されている。</p> <p>●第1部 お芝居を観慣れない子どもたちのために、日常の様々なシーンで出会う、様々な「本当の気持ち」を10分程度の短編3本にして、宮川彬良作の主題歌にのせてテンポ良く笑わせながら綴っていく。「そうそう、そういうこと、あるある」と思い出してみたり、「あれ？もしかしたらみんなに迷惑をかけていたかも」と気づいてみたり、色々な気持ちを体験しながら、次第にセリフに無い部分を想像させ、芝居の世界に入り易いように導いていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンバーガーショップで店員に強引に勤められるまま、欲しくないのに色々買わされてしまう客。 ・電車の中、足を広げて座っている人や、携帯電話で話している人を注意できないうちに、自分の携帯が鳴って注意をされてしまう人。 ・口うるさい母親に、つい反抗的な態度を取ってしまうが、本当は「有難う」と言いたい思春期の息子、等 <p>●第2部 『木馬がのった白い船』原作 立原えりか 小さな街の小さな郵便局に、ある日公園の木馬が訪ねてくる。もうすぐ遠くに旅に出るので、昔の知り合いの絵描きに手紙を出したいという。そして木馬は、日曜日のこどもニュースに別れの挨拶を出す。木馬の手紙を信じる子どもたち、信じない大人を淋しいと思える大人たちは、絵描きにきれいに塗りなおしてもらった木馬を見送りに真夜中の公園へ向かうのだった。「会おうと思えばいつでも会えるのです、あなたの夢の中の公園で・・・」</p>		
演目選択理由	<p>①現代の子ども達は、親や先生、友人に気を使い、本当の自分をうまく表現できずにいる。日常のさりげない行為行動の奥に潜む「本当の気持ち」に迫りながら、人への思い遣りや気遣い、ひいては自分自身を大切に思う気持ちについて考えてもらいたい。子どもたちが素直にのびのびと前向きに生きるためにも、心と体が伸びやかな状態でいられることが本来の姿であることを、本作品を通して感じてもらいたい。これは、学習指導要領の総則「児童の人間としての調和のとれた育成を目指す」という点、また、今回の学習指導要領の改訂でくわえられた「児童が自己の生き方についての考えを深め」という点に沿ったものと考えられる。</p> <p>②第二部の『木馬がのった白い船』の演目は、リーディングシアターの形式を取っており、国語科の3つ領域構成のうち「話すこと・聞くこと」と「読むこと」について、「思いや考えが伝わる」「目的に応じた読み方の工夫」などが体験できるようになっている。</p> <p>③演劇を見られない子どもたちの為に、前半を短編にし、笑いながらも考えて見られるように工夫し、後半のファンタジーでじっくりと演劇を体験してもらえるよう構成を考えた作品である。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>当該公演では、「朗読」、「パントマイム」、「歌唱」の三つの共演形態と、交流給食を用意した。また、学校の希望によっては、「オプション」としてエンディングのテーマ曲の演奏とダンス共演も可能と考える。</p> <p>①朗読 第二部『木馬がのった白い船』のラストシーンの公園に集まった人々が木馬を見送るシーンに、木馬を見送る子どもとして出演して頂き、木馬が旅立っていく描写の朗読を共にして貰う。単なる音読に留まらないもう一つ先の「表現」に繋げていく楽しみ方を、児童に体験してもらいたい。</p> <p>②パントマイム 日曜の朝、子どもニュースで木馬の旅立ちを知った子どもたちが、木馬に会いに公園に集まるシーンで、公園で遊んでいる子どもたちを演じてもらう。実際に遊具は無いのだが、何をして遊んでいるところか、ジェスチャーで伝わる工夫を児童たちとワークショップで組み立てていきたい。</p> <p>③歌唱 エンディングの宮川彬良氏作曲・並河翔太氏作詞のテーマ曲を、全校で歌いたい。</p> <p>④交流給食 午前中に上演し、児童と給食を共にすることで、演目への理解を深めてもらうだけでなく、俳優という職業についてキャリア教育の役にも立てればと考えている。</p> <p>※オプション 学校の希望があれば、児童・生徒たちにエンディングの歌唱の伴奏を演奏して頂いてもよいと考える(譜面は用意するが楽器演奏の指導は学校にお願いしたい)。ダンスを踊りたい児童がいればワークショップの際に振付を教えて当日舞台上で共に踊って貰うのも可能と考える。</p>		
出演者	六田典子、川井桃子、石坂純、松本憲治、澤原莉、山崎詩織、佐藤希洋 (7名)		
公演出演予定者数(1公演あたり)	出演者: 7名 スタッフ: 2名 合計: 9名	機材等 運搬方法	積載量 4t 車長 8.58m 台数 1台

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有、無) 会場設営の所要時間(3 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	前日 16 時前後	前日 16 時～19 時	10:50～12 時	0 分	13 時～15 時	15 時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。 公演当日は、8:00 学校到着 残作業・点検・ウォーミングアップ、10:00 共演する児童とのリハーサル						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	60 人(状況により変わるのでご相談ください)				
	本公演	鑑賞人数:450 名程度 出演人数:舞台がフロアの場合最大 45 名 ステージの場合最大 30 名				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>当該公演のワークショップは、共演部分の稽古として行う。作品中の共演は3箇所である。木馬を見送るシーンで舞台上での科白の朗読、公園で遊ぶ子どもとしてパントマイムで出演、テーマ曲を皆で歌う(希望によっては演奏とダンスも行う)、という3つの共演形態に沿って、ワークショップを進行する。</p> <p>ワークショップ訪問前に、台本と楽譜、伴奏カラオケ CD を各校に配布する。</p> <p>①当該公演の作品説明、特に第二部『木馬がのった白い船』のあらすじを話し、朗読の練習をする。物語の伝えようとするのを大切に、読み手が自分の感じた気持ちを込めて、観客によく聞こえるように指導する。</p> <p>②舞台上の公園は、滑り台もなければブランコもない。実際の公園ではないところを公園として現すためにどんな工夫が必要か、幼児のごっこ遊びを体験しながらシーンをつくる。</p> <p>③音楽としての歌唱は音程・音色に技術的なものを求められがちだが、演劇の中の音楽は歌詞をどのように表現し伝えるのかが大切だといわれている。歌詞の内容をよく考えて、歌って貰う。</p>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>当該ワークショップでは、言葉の意味とその裏にある感情を考へること、科白の朗読や歌唱や無対象で演ずるときに生ずる、共に読み、歌い、演じる仲間との間に息を合わせるということが、人とのコミュニケーションには欠かせないということと、また、お互いが息を合わせようと遠慮しあつて窮屈になるのではなく、受け入れあい、より気の置けない関係になれる手掛かりとなることを感じてもらえるよう、指導したい。</p> <p>●朗読の意図 物語の終盤、木馬が空にかけ上がっていく描写を、6名のキャストがある時は一人で、ある時は声を揃えて語るシーンを児童に受け持ってもらう。一つのセンテンスを何人かが分けて読む時、その間の取り方は重要で、分けてはいるが元は一つの文であることを聞く側に忘れさせてはいけない。また、一つの文を複数の人が声を揃えて読み上げる時、言葉のまとまりや響き、中心となる語や文の捉え方にそれぞれの受け止め方はあるだろうが、お互いの気持ちを汲み取りながら息を合わせて読み上げる楽しさを伝えたい。その際、読み手が何を感じたかについては、統一した答えは無く、「演劇には正解や不正解はなく、お互いの表現を受け取るもの」ということを伝えたい。</p> <p>●公園で遊ぶ無対象演技の意図 他者と、呼吸と視線を合わせて動くことが大切である。また、観客に対してどのようなシーンであることを伝えたいのか、はっきりとイメージすること。自分がイメージしたことを人に伝えるという、日々の生活の中でも最も重要なコミュニケーションの第一歩を、ワークショップで伝えたい。</p> <p>●テーマ曲歌唱の意図 本作品のテーマ曲の歌詞の持つ意味を考へながら、合唱する。(歌詞は申請書類④パンフレット参照のこと)歌詞をはっきりと、伝えたい感情を込めて歌えるように伸び伸びと楽しんで歌えるようにしたい。また、合奏による伴奏や、歌のイメージを広げるダンスの振付も、学校側の希望があれば行いたい。</p>					
特別支援学校での実施における工夫点	<p>盲学校は、装置を知らせ舞台面に手がかりをつけることによって、共演はできると考へる。また、観劇においても同様だが、イヤホンガイドなどの費用は本事業では申請できないと考へるため、事前に点字化した台本配布やステージツアーなど細かい対応を行いたい。</p> <p>聾学校は、朗読と歌については手話による科白や合唱を用意したい。観劇においては、スクリーンや電子パット等による字幕スーパーサービスなどの費用は本事業では申請できないと考へるため、事前の台本配布によるストーリーの認識や手話通訳など細かい対応を行いたい。</p> <p>養護学校については、基本的には科白は暗記ではない朗読にするなど、楽しみながらできるよう進めたい。</p>					
実施可能時期 ◇はB区分申請団体のみ	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

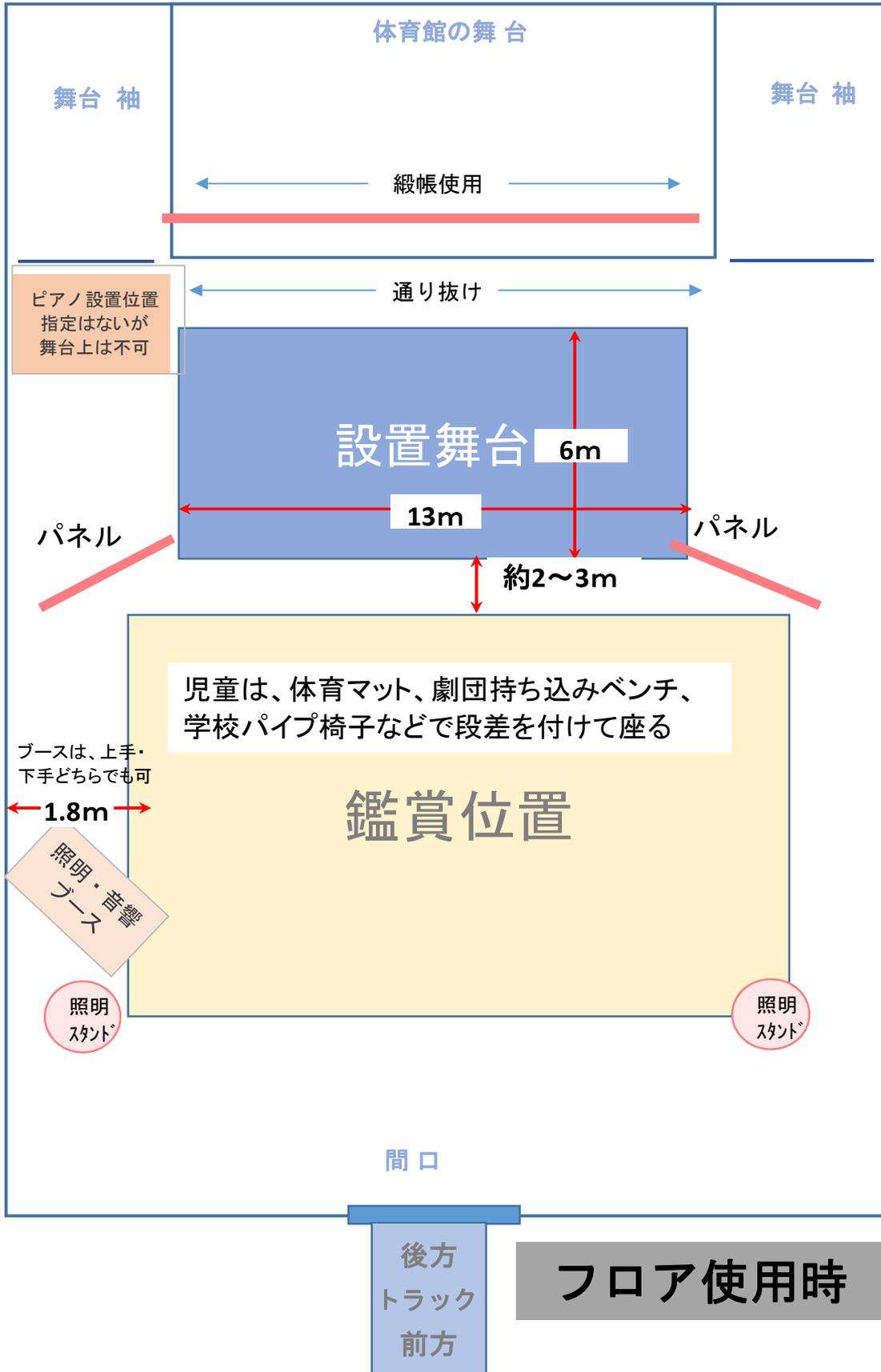
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E56	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	E	区分	B区分継続
公演団体名	劇団ひまわり			制作団体名	株式会社 劇団ひまわり				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	2室	条件	男女キャストなので仕切りがあれば一部屋でも構いませんし、難しければトイレで着替えられるので調整いたしますが、出来れば会場への移動を児童に見られたくはないので、近くの部屋を希望します。フロアで上演する場合は、舞台の幕を締めて舞台上を楽屋とすることも可能です。					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック1台					
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック1台					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			100m以内					
	不可	搬入経路の最低条件			上記搬入距離についてですが、台車使用の可否、雨天の場合屋根の有無など、一概にお返事することはできません					
		理由			3.6m四方の布パネルに雨が当たると雨だれ跡が残ってしまうなど、天候によっては難しいものもありますし、音響照明の機材は精密機械なので路面が悪ければ長距離の移動は重量があるので難しいなど。					
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可					
WSIについて	不可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m	高さ	1.8m				
	可	参加可能人数			60名					
	可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	高学年			
本公演について	可	所要時間の目安 単位:分			2時間40分 ただし、学校都合、応相談					
		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			450名					
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	9m	奥行	4.5m	高さ	4m		
	可				舞台袖スペースの確保 *		要			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの条件 *		出演する児童が待機できる広さ			
	可				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	演出上の照明による効果を出すため			
	不可	ピアノの調律・移動の要否			指定位置へのピアノの移動 *		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	—				ピアノの事前調律 *		不要			
	不可	フロアを使用する場合の条件			バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	不可	公演に必要な電源容量			60A		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項									
	基本的には、体育館フロア部分を設置舞台(13×6m)として使用しますが、鑑賞生徒数や体育館広さによって、体育館舞台を設置舞台として使用することも可能です。									
上記確認事項について、もう少し譲歩できそうな要件も絞り切り型になってしまっています。(限られたスペースでの回答であるため。)諦めず一度ご相談ください。										

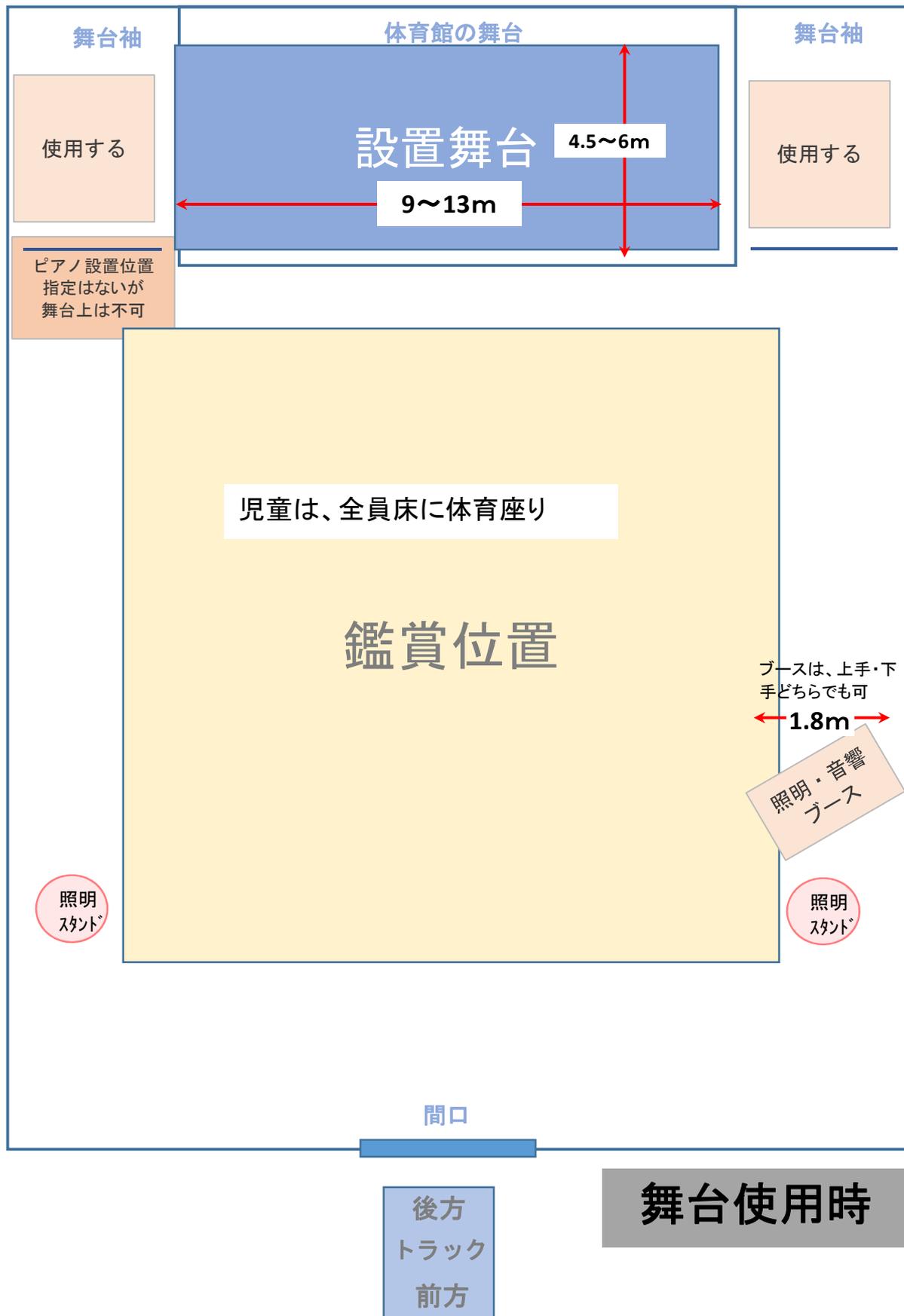
会場図面 フロア使用（表記単位：メートル）



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
	搬入車両の横づけの要否		要	
	横づけができない場合の搬入可能距離	100m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面 ステージ使用 (表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		100m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

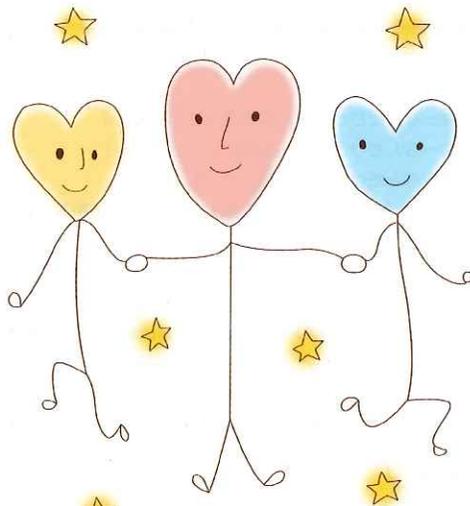
『ホントのきもち』テーマ曲 作詞 / 並河祥太 作曲 / 宮川彬良

ホント ホント ホント ハイ! ハイ! ハイ!
ウソ ウソ ウソ チョイ! チョイ! チョイ!
この ホントの 気持ち 気持ち
ねえ どうすりゃ〜いいの いいの

ホントが オモテで ウソが ウラウラ
そんな 簡単じゃ〜ありませんで
ホントと ウソが からみあっている
ウソが 笑って ホントが 泣いている

いったら フガママ かくせば ウソツキ
ホントに ホントは ヤツカイだけど
いちばん 大事な 気持ち・・・
これ ホントのホント!
それ ホントにホント・・・???

ホント ホント ホント ハイ! ハイ! ハイ!
ウソ ウソ ウソ チョイ! チョイ! チョイ!
その あいだの 気持ち 気持ちで
世界は 平和だ! 平和だ!



< ホントのきもち 試演会アンケートより >

- 幼稚園児 男子 「歌やダンスが楽しかったです。木馬の話はちょっと悲しかったけど、感動しました。」
- 小学1年 女子 「オープニングがとも楽しかったです。それからお弁当を食べている時、お母さんのお弁当を作っている時の気持ち(愛情)が伝わってきたし、最後の木馬が旅立つ時とか木馬の声が聞こえている時とか感動して涙が出ました。最後、木馬と一生会えないのかと思ったらさみしかったです。」
- 小学6年 女子 「木馬がのった白い船は、最後の場面は心がふるえる感じがしました。」
- 保護者 「みている子どもたちの表情が楽しそうでした。劇団員さんたちの動きも楽しそうで、子どもにもわかりやすく、とても良かったです。」
- 「本当に大切なものは何か考えるきっかけになるおはなしだったと思います。大道具も小道具も少ない演技に感動しました。」
- 「大人になったら、建前と本音があるけれど、子どもには正直しかないかな。こういうお芝居を観てこれからの成長の道の中に、人の思い遣いや気遣いにも考えてもらえるんじゃないかと思います。」
- 小学校教諭 「始めから最後まで引きつけられました。心から笑え、楽しめました。日頃忘れていた気持ちを思い出すことができそうな気がします。子どもは私のような観客ではないと思いますが、子どもたちにも是非観てほしいなと感じました。仕事柄、演出方法にも目が向きました。学芸会に向けて子どもたちが参考にできそうと感じました。」

公演主催者の皆様へ

- 上演時間 45～75分 (ご希望に応じて調整致します)
- 編成人数 キャスト 6～7名
- スタッフ 1～2名 (会場条件によりスタッフ人数が変わります)
- 上演形態 ステージ・平土間ともに可
- ※「ホントのきもちを伝える勇気」というテーマのワークショップと併せての上演も可能です。ご相談下さい。

< お問い合わせ先 >

劇団ひまわり 東京都渋谷区恵比寿西 2-12-12

電話: 03(3476)0011 FAX: 03(3476)2126

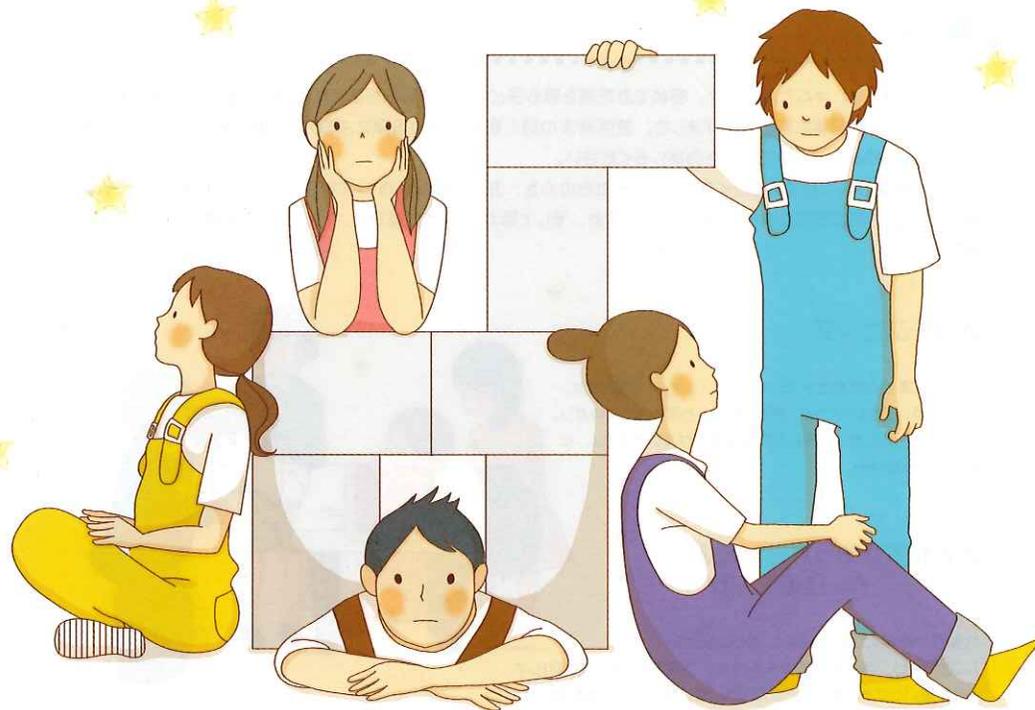
ホームページ: <http://www.himawari.net/> Eメール: produce@himawari.net

児童劇場第31回公演

In my heart of hearts

ホントのきもち

～ショートショートとおはなし～



劇団ひまわり



上演にあたって—太宰久夫(演出)の言葉

本当の本当の本当の気持ちって、どこにあるのでしょうか。いつ、どうやって表に現れているのでしょうか。いやー難しい事ですね。「本当は～なんだけど、こんな事言ってしまった。」「本当は～なんだけど、こんな風にしてしまった。」「本当は～なんだけど、今こうしている。」私のあなたの表現の奥には“本当は～”が、沢山ありながらも、そうでない事の方が多いのかも知れません。



この作品では、日常のさりげない行為行動の奥に潜む“本当の気持ち”に迫りながら、人への思い遣りや気遣いについて考えます。そして何より、自分への思い遣りは、どうなっているのだろうか?について見つめてみたいと思います。気持ちのストレスやフラストレーションの大きい昨今の生活事情。大人だけではありません。子どもたちの方々がもっと深く・大きく・広く“気持ちの揺れ幅”を日々実感しているようです。素直にのびのびと前向きに生きるためにも、子どもたちに心と体の伸びやかな状態でいられることが本来ある姿であることを、本作品を通して感じ考えていただきたいと思います。

スタッフ

構成・演出

太宰 久夫
演出家。
玉川大学芸術学部助教授。

『木馬がのった白い船』原作

立原 えりか
「人魚のくつ」でデビュー以来、表裏一体の幸福と不幸、喜びと悲しみなど、独特のファンタジーを書く。

『ホントのきもち』テーマ 作詞

並河 祥太
作詞家。
楠瀬誠志郎や華原朋美『おジャ魔女どれみ』のサウンドまで幅広く作品を提供している。

『ホントのきもち』テーマ 作曲

宮川 彬良
舞台音楽家。多くの舞台作品に参加、NHK教育「クインテット」の音楽担当及びアキラさんとして出演。大ブレイクした『マツクンサンバII』(III)の作曲者でもある。劇団ひまわり作品には『スクール〜クリスマスキャロル〜』とミュージカル『家なき子』に参加している。

『木馬がのった白い船』音楽

浜田 均
ジャズヴァイブラフォン奏者。現在浜田均 with ガナーシャントリオを組んで活躍する傍ら、国内外で多くのミュージシャンのアルバムなどに参加している。

振付・ステージング

福沢 亜希子
桐朋学園大学演劇専攻卒業。自身も女優として活躍中。主な出演作は木村光一演出作品や久世光弘演出のミュージカルなど。劇団ひまわりではミュージカル『空色勾玉』や『秘密の花園』などの振付をしている。

歌唱指導

古川 恭子
国立音楽大学教育音楽学卒業。ミュージカルや演劇への出演、歌唱指導を行う傍ら音楽制作にも関わっている。

美術

方 勝
米国での活動を経て(1982年米国演劇児童協会より表彰)、現在玉川大学芸術学部助教授。国内外 200 以上の公演を手掛ける。

音響

黒澤 茂
劇団ひまわり劇団員。俳優として『とおせんぼタワー』『オ二の子ブン』などで好演、現在は音響として活動。

照明

宮沢 一夫
劇団ひまわり劇団員。俳優として『民話の劇場とんとむかし』などに出演。現在は照明を中心に活動。

編曲・音響

宮田 翔多
若手新進気鋭の作曲・編曲家。2003年に青山円形劇場で上演されたミュージカル『ドリーミングボーイ』バンドマスター以来、舞台・映画・CMそしてプラネタリウムなど、幅広く音楽活動を展開中。太宰演出作品での音楽は本作品で8日目。

Illustration
ふわふわ。り

構成

オープニングは、オムニバスです。初めてお芝居を観る子どもたちの緊張をほぐすように、楽しい出演者のアイデアを、太宰久夫が見事にまとめ上げました。並河祥太の詩と宮川彬良の音楽によるテーマ曲によって、ワハハハ楽しく、ほんわかやさしく、そんなシーンをお楽しみください。

そして、緊張がほぐれて柔らかくなった子どもたちの心を、立原えりか原作の『木馬がのった白い船』が「イメージの翼」にのせて羽ばたかせます。浜田均の洒落た、そして暖かな音楽に乗せて、心にしみる素晴らしいファンタジーが展開します。

♪ オープニング

色々な「本当の気持ち」を、ショート・ショートで綴ります。「そうそう、そういうこと、あるよねえ」と思いついてみたり、「あれ、もしかしたら、みんなに迷惑をかけていたかも」、と気づいてみたり…。

♪ 『木馬がのった白い船』 作 立原えりか



日曜日の新聞にこんな記事が出ていました。「ごあいさつ。ほくは公園の木馬です。今度みなさんとお別れてとても遠いところへ参ることになりました。長いこと一緒に遊んでくれてありがとう。ずっと元気で立派な人間になってください。そして、もしできれば、ほくのことずっと憶えていてくれないでしょうか。憶えていてくれると、うれしいです。では、さようなら! 子どもたちと、ずっと昔子どもだったおとなも、木馬を見送りに真夜中の公園へ向かいます。木馬はどこへ行ってしまおうのでしょうか? もう、二度と会えないのでしょうか? 星空の下に広がるメルヘン・ファンタジーです。」



劇団ひまわりについて 1952年に設立。児童青少年演劇、ミュージカルなどの制作・上演活動の他、俳優養成所にて研究生及びタレントの指導育成と表現・演技育成の研究から実践までを行う。児童・青少年演劇は1959年アンデルセンの『雪の女王』に始まり、厚生省福祉文化賞・東京都優秀児童演劇優秀賞など、幾多の賞賛に輝く名作を生んだ。『民話の劇場 とんとむかし』『童話の劇場 魔法をかけた王子たち』『ワンターポケット』『Baby Love』『とんとんちんちゃん』など海外公演も多数実施。近年では、ミュージカル『スクール〜クリスマス・キャロル〜』、舞台劇『コルチャック先生』、ミュージカル『家なき子』など、プロデュース作品にも取り組み、『赤毛のアン』『空色勾玉』『秘密の花園』のミュージカル化など、実力のあるひまわりならではの若い俳優を中心とした作品も上演している。

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

- | | |
|--------|---|
| 【音 楽】 | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | 児童劇, <input checked="" type="checkbox"/> 演劇, ミュージカル |
| 【舞 踊】 | バレエ, 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ A区分とB区分の両方 C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
- (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
- (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
- (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんドラ 有限会社 劇団銅鑼		
代表者職・氏名	代表取締役 佐藤文雄		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒174-0064 東京都板橋区中台1-1-4 (最寄り駅:東武東上線板橋駅)		
電話番号	03-3937-1101	F A X 番号	03-3937-1103
ふりがな 公演団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんドラ 有限会社 劇団銅鑼		
代表者職・氏名	代表取締役 佐藤文雄		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒174-0064 東京都板橋区中台1-1-4 (最寄り駅:東武東上線板橋駅)		
制作団体 設立年月	1972年 8月		
制作団体 組織	役 職 員		団体構成員及び加入条件等
	取締役 佐藤文雄 取締役 鈴木瑞徳 運営委員 横手寿男 小関直人 井上太 館野元彦 平野真弓 馬淵真希 田辺素子 佐久博美 監査 福田悦雄		(1) 団体構成員 団員 63名 団友 4名 (2) 主な構成員 山田昭一(演出家・俳優) 菊地佐玖子(俳優) 小関直人(脚本家) (3) 加入条件 構成員として一定の期間を終了したもの
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	田辺素子
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	経理責任者名	佐久博美

制作団体沿革	<p>1972年 劇団民藝出身者を中心に演劇集団として活動を開始。</p> <p>1990年 本拠地を板橋区に移す。</p> <p>1994年 初の海外公演実施（リトアニア）、以来国際交流事業を一つの柱にする。</p> <p>1995年 板橋区文化振興財団（現・（公財）板橋区文化・国際交流財団）との年一回以上の共催事業を開始。</p> <p>2005年 若者自立塾などにおける演劇によるワークショップ事業開始。</p> <p>2012年 稽古場を建設。劇場認定を受ける。</p>		
学校等における公演実績	<p>1978年より青少年公演開始。主な作品「センポ・スギハアラ」「明日へ出発」など多数。年間 50～100 回学校で上演を続けている。提出作品「ハンナのかばん」は 2008 年より小学校・中学校合同公演や全国おやこ劇場子ども劇場例会として上演。多数の公演で主催者参加型公演も実施。</p> <p>主な学校公演作品 『明日へ出発』『センポ・スギハアラ』『Big brother』『エイジアン・パラダイス』『らぶそんぐ』『チャージ』『ハンナのかばん』 ほか</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>多数作品で、特別支援学校で上演。事前に資料・台本などの配布で対応。盲学校に対してはイヤホンガイド付公演実施。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	① ・ 無
申請する演目の DVD または WEB 公開資料		① ・ 無	
※公開資料有の場合 URL		http://www.gekidandora.com/titles/inochinohana/	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	
A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無	
	※公開資料有の場合 URL		
	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

有限会社劇団銅鑼

】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年)			・	中学生
企画名	劇団銅鑼公演『いのちの花』				
本公演演目	「いのちの花」				
原作／作曲 脚 本 演出／振付	原作:向井愛実著「いのちの花」(株式会社 WAVE 出版刊) 瀧 晴巳著「世界でいちばんかなしい花 それは青森の女子高生たちがペット 殺処分ゼロを目指して咲かせた花」(ギャンビット刊) 脚本:畑澤聖悟 演出:齊藤理恵子				
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	有	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>青森県立三本木農業高校。その敷地面積は、東京ドーム11個分！ その広い広い大地と青空の下、希望に胸を膨らませて動物科学科に入学したマナミたち。 糞の匂いにやられながらも家畜たちの世話に励む日々。そして飼育しているニワトリ を実習で解体し調理して自分達で食べる。「いただきます」という言葉の意味を考 える。そして、東日本大震災— ある日、見学に訪れた動物愛護センターで、殺処分された動物たちの骨が「ゴミ」とし て捨てられていることを知る——</p> <p>自分たちにできることはないだろうか？ 声を上げることもできずに死んでいった動物たちの「いのち」。 彼女たちは、動物たちの骨を使って花を咲かせ、蘇らせることを思いつく。 名付けて“いのちの花プロジェクト”。 彼女らが咲かせた花を受け取ってくれる人はいるのだろうか？</p> <p>感動の実話の舞台化。 舞台上に、実際には動物は登場しません。イメージできるように、映像を 舞台装置に投影します。 脚本は、高校演劇の第一人者であり、数多くの劇団に話題作を提供し続ける現 役高校教師・畑澤聖悟。演出には劇団青年座の新進気鋭の演出家・齊藤理恵子 を迎え、疾走する5人の女子高校生の物語をお届けします。</p>				
演 目 選 択 理 由	<p>ペットの命・家畜の命・人間の命・・・いのちってなんだろう？ 一人一人の命・一つ一つの命はとても尊くて重い。 それは誰もが、あたりまえのことと思っているはずです。 でも、本当にそれはあたりまえのこととなっているのでしょうか。</p> <p>いのちってなんだろう？</p> <p>この難しいテーマを高校生たちが考え続け起こした行動は、多くの人に波紋を投げかけ ました。この舞台を通して、動物殺処分や動物のいのちだけではなく、自分のいのち、 人のいのち、生きとし生けるものの“いのち”のことを考えてもらえるきっかけになれ ばと思います。</p>				

<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>公演ラストシーン近く、高校生たちが客席に向けて、“いのちの花”を受け取ってくれる人を探します。そのとき客席から事前ワークショップを経て、自分で考えたセリフをひとつと言って、舞台上に上がって花を受け取ってもらい、また客席に戻って頂きます。また、公演当日のリハーサルの中で、バックステージツアーも行います。他に、搬入搬出のお手伝いなどを通じて、俳優・スタッフたちとの交流も出来ます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>館野元彦・久保田勝彦・山形敏之・亀岡幸大・向暁子・高原瑞季・宮藤希望・早坂聡美・北畠愛美・和田星来 ※上記俳優は予定です。</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 10名 <u>スタッフ: 9名</u> 合計: 19名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 4 t 車長 8.8 m 台数 1 台</p>

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(<input checked="" type="checkbox"/>)の場合あり・無) 会場設営の所要時間(5 時間程度)					
	到着 時	仕込み 8時～13時 ※11時過ぎ出演児 童リハーサル(授業 1コマ分)	本公演 13時30分 ～15時10分	内休憩 0分	撤去 15時30分～ 16時45分	退出 17時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	30人				
	本公演	30人				
ワークショップ 実施形態 及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 舞台に登場して頂く生徒さんを、1グループ分けします。簡単なシアターゲームでウォーミングアップ。 ● 高校生たちが体験した、動物達との触れ合いや、“動物の骨を砕く“という事がどんなことなのか、どんな気持ちになるのかを舞台で実際に使う小道具などを使って出演俳優たちと一緒に体験します。 ● 公演当日のリハーサルの際、出演者とバックステージツアーを行います。 					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>ペットを飼う事、ペットと人間の関係について考える機会を作ります。そこから発展して、ペットだけでなく、自分たちが食べている動物や、植物や人間も含めたたくさんの命について考える機会を作ります。</p> <p>公演時には演技ではなくて、自然な気持ちで『いのちの花』を受けとれるようになります。</p>					
特別支援学校で の実施における 工夫点	<p>事前に台本をお渡しします。</p> <p>一人一人の状況を把握し、児童にとって一番良い方法と環境で参加できるように先生と綿密に打合せを致します。</p>					
実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

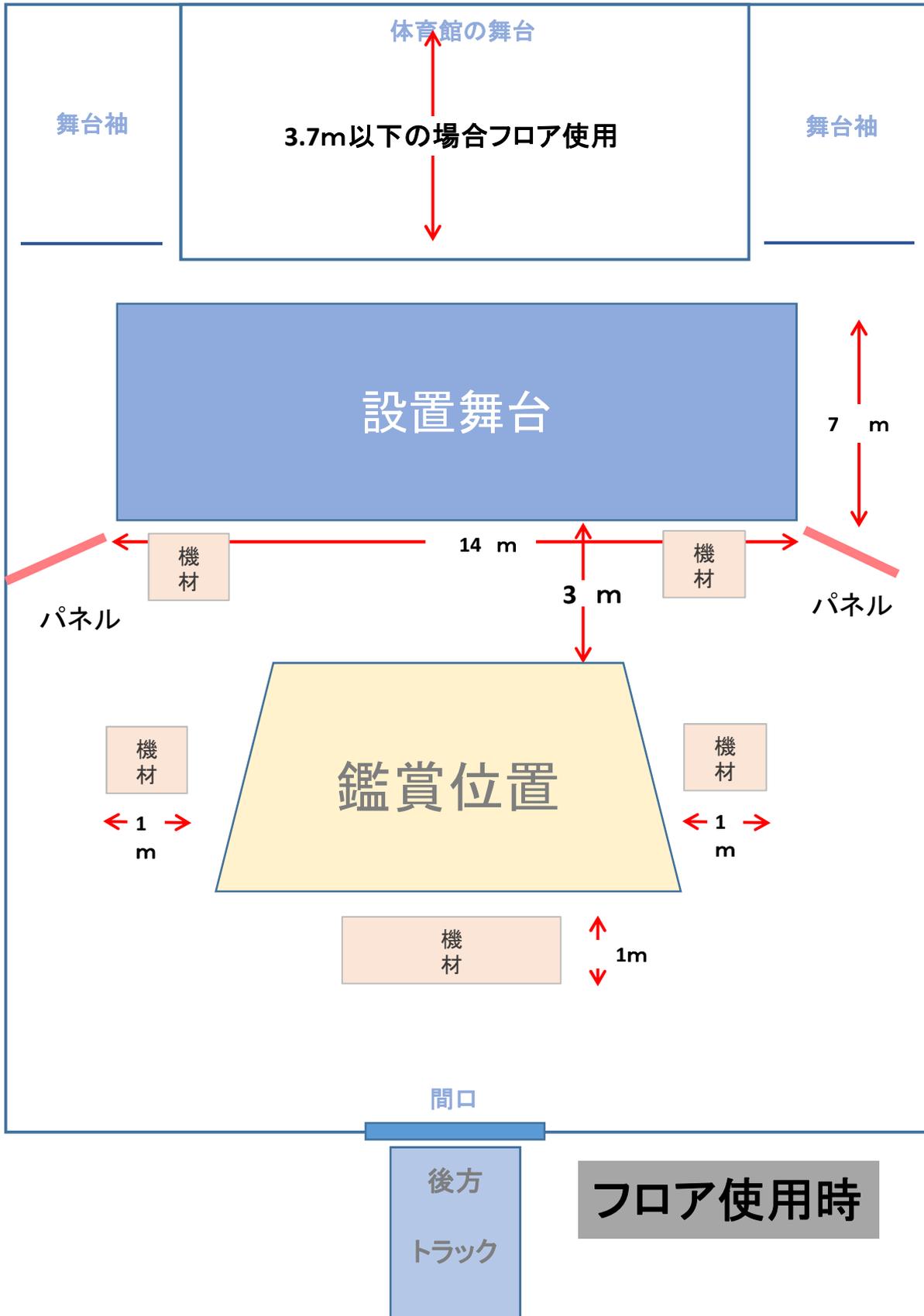
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E57	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	有限会社 劇団銅鑼				制作団体名	有限会社 劇団銅鑼			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	男性・女性の着替え用。なければ1室でも可。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック 1台	中型バス 1台			
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック 1台 長さ8.8m 幅2.5m 高さ3.5m				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			出来ない場合は、搬入時間が長くなります。				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			敷地内に入れば、搬入時間は長くなりますが可能です。また、搬入出のお手伝いをおねがいします。				
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り階段がない経路が望ましい。屋根のある経路が望ましい。				
		理由							
	可	設置階の制限 *			大きな舞台装置の搬入ができれば可能。				
WSについて	不可	搬入間口について 単位:メートル	幅	大きな大道具が高さ 3.35m、幅2.4mのものが ありますので、対角線 の長さが2.5m以上必	高さ				
	可	参加可能人数			30人				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *			
本公演について	可	所要時間の目安 単位:分			90分				
		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			ステージ上と張り出し舞台設置ができれば、500名程度まで。				
	可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	最低10.5m	奥行	最低3.7m	高さ	最低4m	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要		
	可				舞台袖スペースの条件 *		間口が12m以上あればなくても可		
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	映像を使用しているのと照明効果を高めるため		
	不可	ピアノの調律・移動の要否			指定位置へのピアノの移動 *		要	舞台袖などになければ可	
	—				ピアノの事前調律 *		不要		
	可	フロアを使用する場合の条件			バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可		
	可	公演に必要な電源容量			75A		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								
不可	体育館が2階以上の場合、一番大きな大道具のサイズが縦3.35m 横2.4m。これが階段などで曲がりきれず搬入できなければ不可。								
不可	フロアのシート敷き・椅子並べは学校にお願いします。								

会場図面(表記単位:メートル)

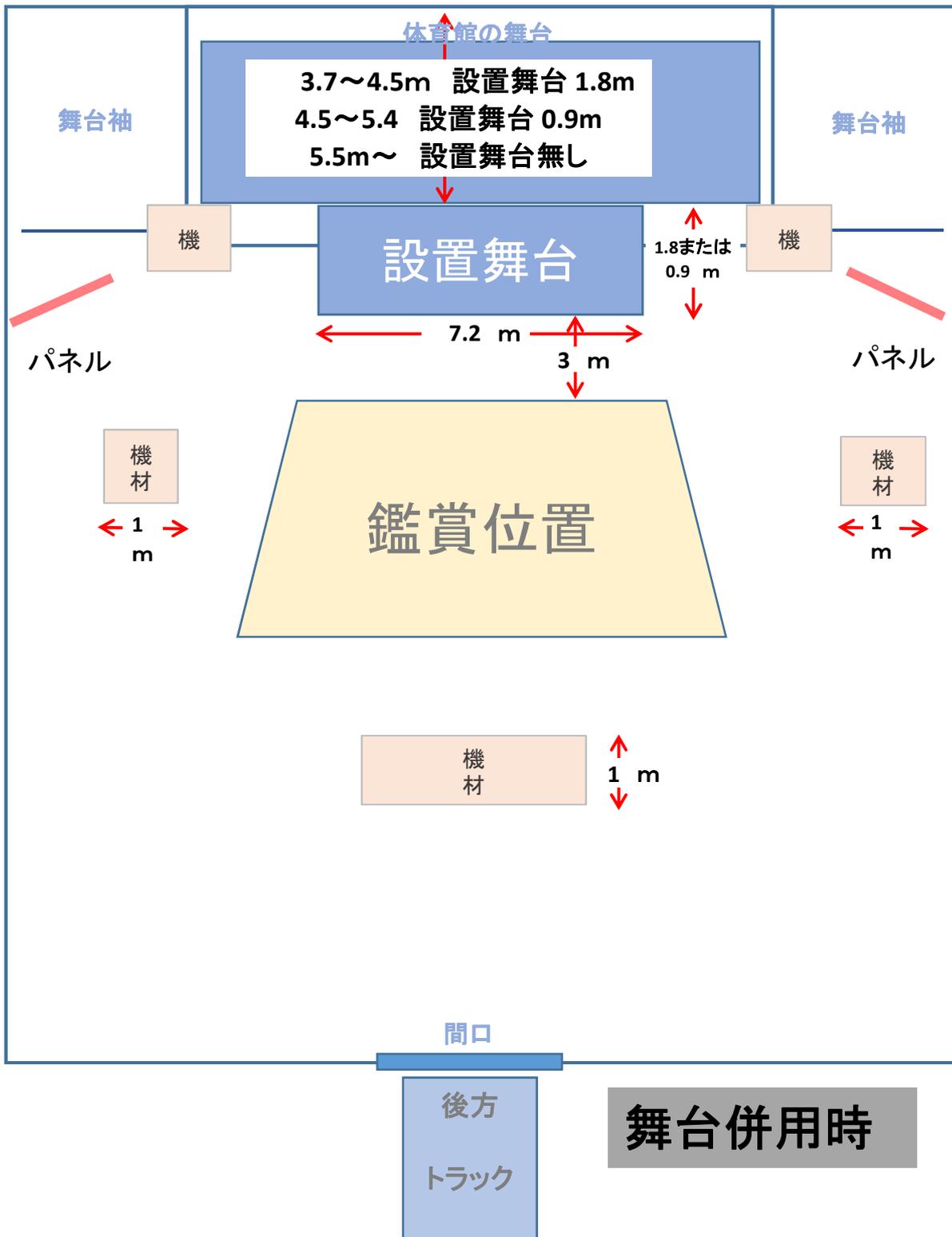


大きな大道具が高さ3.35m、幅2.4mのものがありますので、対角線の長さが2.5m以上必要。

搬入間口について	幅	高さ
搬入車両の横づけの可否	出来ない場合は、搬入時間が長くなります。	
横づけができない場合の搬入可能距離	4tトラックが学校敷地内に入れれば可能	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面(表記単位:メートル)



大きな大道具が高さ3.35m、幅2.4mのものがありますので、対角線の長さが2.5m以上必要。

搬入間口について	幅	高さ
搬入車両の横づけの可否	出来ない場合は、搬入時間が長くなります。	
横づけができない場合の搬入可能距離	4tトラックが学校敷地内に入れば可能	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

劇団 銅鑼

いのちの花

脚本 畑澤聖悟 演出 齊藤理恵子

原作

向井愛実著「いのちの花」
(株式会社WAVE 出版刊)

瀧 晴巳著「世界でいちばんかなしい花
それは青森の女子高生たちがペット捨処分ゼロを目指して咲かせた花」
(ギャンビット刊)



農業高校に入学したマナミたちは、見学で訪れた動物愛護センターで
殺処分された動物たちの骨が、「ゴミ」として捨てられていることを知る—
声を上げることもできずに死んでいった動物たちの「いのち」を再生させようと立ち上った、
5人の女子高校生の真実の物語。

あらすじ

青森県立三本木農業高校。
その敷地面積は、東京ドーム11個分！
その広い広い大地と青空の下、希望に胸を膨らませて動物科学科に入学したマナミたち。

1年目は寮生活。

可愛い制服を着ることもなく、毎日作業着で、早朝から糞の匂いにやられながらも家畜たちの世話に励む日々。そして飼育しているニワトリを実習で解体し調理して自分達で食べる。

「いただきます」という言葉の意味を考える。

そして、東日本大震災—

ある日、見学に訪れた動物愛護センターで、殺処分された動物たちの骨が「ゴミ」として捨てられていることを知る—

自分たちにできることはないだろうか？



「ボタンひとつで、犬たちが、猫たちが、追い込まれて、殺されて、焼かれるんですか？ ボタンひとつで？」



声を上げることもできずに死んでいった動物たちの「いのち」。

彼女たちは、動物たちの骨を使って花を咲かせ、蘇らせることを思いつく。名付けて“いのちの花プロジェクト”。彼女らが咲かせた花を受け取ってくれる人はいるのだろうか？



撮影/那波智彦



VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

- | | |
|--------|---------------------------|
| 【音 楽】 | 合唱, オークストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | 児童劇, 演劇, ○ミュージカル |
| 【舞 踊】 | バレエ, 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

○A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ ○なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
- (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
- (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
- (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ ゆうげんしゃ ----- 有限会社 遊玄社		
代表者職・氏名	代表取締役 田邊慶一		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164-0003 東京都中野区東中野3-4-2 (JR 東中野駅)		
電話番号	03-3369-4319	F A X 番号	03-3369-4319
ふりがな 公演団体名	えんげきしゅうだん ゆうげんしゃ ----- 演劇集団 遊玄社		
代表者職・氏名	代表 田邊慶一		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164-0003 東京都中野区東中野3-4-2 (JR 東中野駅)		
制作団体 設立年月	平成6年6月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 田邊慶一 取締役 田邊俊子	赤羽弘行、桑垣紀彦、平山盛一、間辺稔、矢田秀明、 柳井萬治郎、 馬渡千春、わたなべひろみ、 野田ヒカル、細川薫、三浦咲、豊岡久美香	
事務体制の担当	専任 ・ ○他の業務と兼任	本事業担当者名	田邊慶一 田邊俊子
経理処理等の 監査担当の有無	○有 ・ 無	経理責任者名	田邊俊子

制作団体沿革	平成6年6月設立。振付・演出家関矢幸雄氏のもとで長年、演劇・ミュージカルに取り組んできた俳優とスタッフが、新たな演劇表現の可能性を求めて結成。自由な発想で既成の演劇表現や観客の年齢・国籍に囚われない舞台の創造を目指す。		
学校等における公演実績	平成28年10月5日～13日 福島県家庭劇場 平成29年9月4日～8日 鳥取県青少年劇場巡回公演		
特別支援学校における公演実績	平成26年 香川県立聾学校 平成27年 広島県立尾道特別支援学校 平成29年 茨城大学教育学部附属特別支援学校		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	○有 ・ 無
		申請する演目のDVD または WEB 公開資料	○有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	www.yugensha.co.jp
		※閲覧に権限が必要な場合のID およびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合のID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 演劇集団 遊玄社】

対象	小学生(○低学年・○中学年・○高学年) ・ 中学生		
企画名	音楽劇・イソップランドの動物たち		
本公演演目	音楽劇・イソップランドの動物たち		
原作/作曲 脚本 演出/振付	原作/イソップ寓話 音楽・演奏指導/Themba Tana(テンバ・タナ) 照明/佐久間巨照 演出補/花輪充	構成・演出/関矢幸雄 美術/中地智 衣装/本田朋子 制作/田辺慶一	公演時間(1時間 25分)
著作権	制作団体が所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	この作品は数多あるイソップ寓話から、「ライオンとネズミ」「キツネとカラス」「犬とオンドリとキツネ」「カニの親子」「アリとキリギリス」「オオカミと羊番の少年」「ウサギとカメ」「王様を欲しがったカエルたち」の八つのエピソードを選び構成したオムニバス・ミュージカル・コメディです。音楽は南アフリカ出身の民族音楽家テンバ・タナ氏(カナダ在住)を招き、ジンバブエの楽器店に注文製作したマリンバ、フィンガーピアノをはじめとする民族楽器とアカペラコーラスで、20曲を超えるミュージカル・ナンバーのすべてを9人の俳優が演奏し歌います。舞台芸術の最大の魅力は『生』という考えから、音響機材は一切使わず、音楽はもちろんのこと、鳥や動物の鳴き声などの効果音に至るまですべて生の音で伝えます。		
演目選択理由	イソップ寓話はよく知られているがゆえに、古臭い教訓話として捉えられがちです。しかし、その内容には、動物の姿を借りて現代にも通じる人間の在り様が、楽しく陽気に描かれています。「笑い」は生物の中で人間だけが持つ良き生命の証しの一つです。しかしながら、今の子供たちの笑いには後味の悪いものも多数見受けられます。それは弱者を揶揄したり、自虐的な言動で笑いを取ろうとするものなどです。残念ながら、その種の笑いが好きなのも子供たちです。イソップの教訓話を材料として、それとは異なる屈託ない笑いを表現、体験できたらと考え、身体とアフリカ民族音楽の生演奏の表現を中心に据えた音楽劇として制作いたしました。		
児童・生徒の共演, 参加又は体験の形態	この作品は初演当時から、観客の参加・共演が劇中に組み込まれています。「ウサギとカメ」の上演後に『みんなで遊ぼう』という場が20分近くにわたり展開されます。内容は、〈1. 俳優が扮する動物の名前当て。2. 子供たちが好きな動物に扮し、俳優の演じる動物と吠え声を競う。3. 俳優の扮するワニの棲む川を子供たちがつかまらずに渡る。4. 渡ろうとする子どもを民族楽器の演奏で応援する。〉といったものです。外部から受けた文化・芸術的な刺激をすぐにでも実践してみたいのが子供たちの特性の一つです。それを実現させ、実際の舞台の上で演劇の原点とも言える「表現遊び」を楽しんでもらえればと思っています。		
出演者	赤羽弘行、桑垣紀彦、平山盛一、間辺稔、矢田秀明、柳井萬治郎 馬渡千春、安井希久子、わたなひろみ		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 9名 スタッフ: 2名 合計: 11名	機材等 運搬方法	積載量 3.6t 車長 8.6m 台数 1台

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・〇無) 会場設営の所要時間(3.5時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～12時30分	1時15分～2時50分	なし	3時～4時50分	17時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	120名まで				
	本公演	500名程度				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>児童・生徒(最大120名くらいまで)を対象に、以下のような手順で「表現ワークショップ」を行います。</p> <p>② 参加生徒各自が名札(自分が呼ばれたいと思う愛称)を書いて、胸に貼る。</p> <p>② お手玉を使って、準備運動と相手との距離を認識する遊び。</p> <p>③ バンダナ等の布を工夫して動物の形態を表現する。</p> <p>④ 劇中で使われる簡単な身体表現を体験する。</p> <p>⑤ アフリカ民族楽器(ジャンベ、カンコグイ、カバサ)を使ってのリズム遊び。</p> <p>⑥ 劇中曲(民族音楽)の演奏と歌唱指導。</p>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>舞台芸術は、複数の人間がその創作に係わり、複数の人間が、同じ場所で同時に鑑賞できるという特性から、他の芸術ジャンルに比べ社会性を強く持つものの一つです。とりわけ演劇は芸術の様々な分野の性格を併せ持つ総合芸術と言われ、人と人との関係を表現することで、個々が担う社会性や社会正義を認識する一助となり、健全な人間社会の維持に一定の役割を果たしていると思われまふ。そのための表現の基礎を、楽しく経験してもらおうという意図で上記のような実施形態を取りまふ。</p> <p>①は自分以外の人格を認識してもらおうという意図。②では、お手玉をいろいろな距離、方法で投げ合い、表現は相手に伝わるということが重要ということをも身を持って体験してもらおうという意図。③、④は芸術を受け取るのに必要な感性や想像力を働かせて、創造へと繋げて欲しいとの意図。⑤は異文化を楽しく体験し、⑥では、より楽しく作品を観て、参加してもらうためのものです。</p>					
特別支援学校での実施における工夫点	<p>(ワークショップ) 音楽を中心に、指導者が参加者と同じ目の高さで、個々の状態・コンディション・体調に合わせた表現方法の指導と、リズム遊びの実践。</p> <p>(公演) 今までの経験から、特に変更の必要はないと思いまふ。</p>					
実施可能時期 ◇はB区分申請団体のみ	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

平成 31 年度「文化芸術による子供の育成事業 - 巡回公演事業 - 」

「音楽劇・イソップランドの動物たち」出演予定者

赤羽弘行

桑垣紀彦

平山盛一

間辺稔

矢田秀明

柳井萬治郎(本名:智寿)

馬渡千春

安井希久子

わたなべひろみ(本名:渡部浩美)

以上、9名。

よろしくお願いたします。

演劇集団 遊玄社

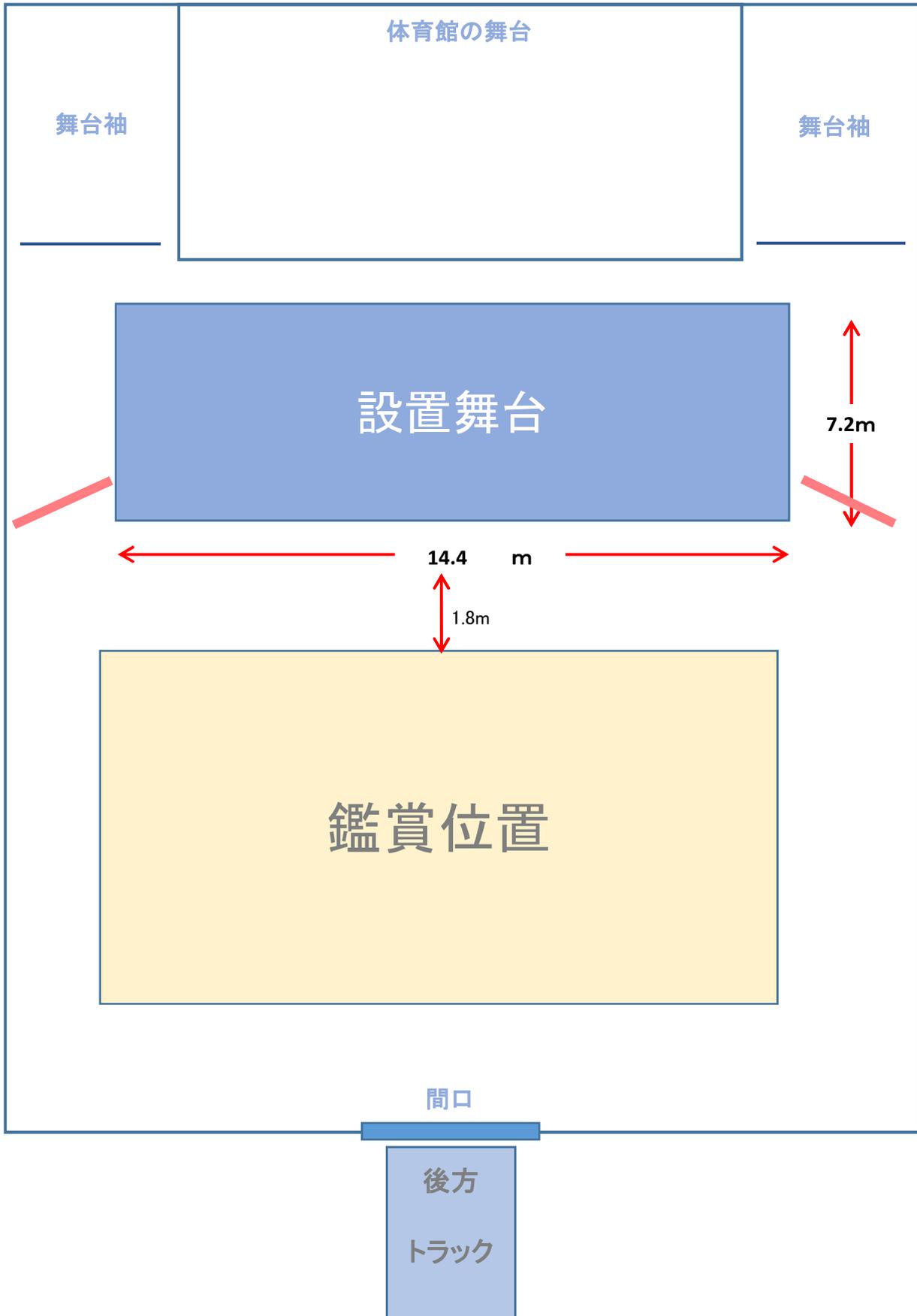
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E58	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	演劇集団 遊玄社			制作団体名	有限会社 遊玄社				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	特にありません				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック	1台	小型バス	1台	
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できれば昇り階段のない経路。				
		理由			長尺物があるため。				
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m		
WSについて	可	参加可能人数			120名程度				
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			約100分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			約520名				
	不可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	14.4m	奥行	7.2m	高さ	4m
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			不要	
	—				舞台袖スペースの条件 *			—	
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	—		
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			60A		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								
可	観客席設営のため、体育館備品のパイプ椅子を借用する場合有。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

平成30年度
文化芸術による子供の育成事業

— 巡回公演事業 —

演劇集団 遊玄社

《ミュージカル公演》

音楽劇

イソップランドの動物たち



「文化芸術による子供の育成事業 —巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

●この劇に出演する俳優と役柄●

赤羽弘行	キツネ、ウサギ、カエル	他
桑垣紀彦	カニのお父さん、カエル	他
平山盛一	オンドリ、羊番、カエル	他
間辺稔	アフリカンドラム、マリンバ演奏	他
矢田秀明	カラス、カメ、カエル	他
柳井萬治郎	ライオン、キリギリス	他
馬渡千春	ネズミ、カニの子ども	他
安井希久子	ジャンベ演奏	他
わたなべひろみ	アリ、ヒツジ	他

●この劇を創った人たち●

原作（劇のもととなる話をつくった人）	イソップ
構成・演出（せりふや俳優の動きをつくった人）	関矢幸雄
音楽（曲をつくったり、演奏や歌の指導をした人）	テンバ・タナ
美術（舞台の装置をデザインした人）	中地 智
照明（舞台の照明のあてかたをデザインした人）	佐久間巨照
演出補（演出をたすけた人）	花輪 充
制作（劇を企画した人）	由辺慶一

演劇 遊玄社 〒164-0003 東京都中野区東中野3丁目4番2号
TEL:03-3369-4319 E-mail: tc@yugen-sha.co.jp

げき
劇について

「音楽劇・イソップランドの動物たち」は、日本でも古くから知られているイソップ物語のたくさんの中から、8本を選んで音楽劇にしたものです。音楽は南アフリカ共和国出身（現在はカナダに住んでいます）の民族音楽家テンバ・タナさんが担当しました。アフリカの人たちが作つためずらしい楽器を使い、出演者がすべての音楽を舞台の上で演奏し、歌います。曲目は南アフリカ、ナミビア、マラウイ、ジンバブエ、モザンビークなど、アフリカ南部の国に昔から伝わる仕事の歌、子守歌、それにわらべ歌などです。



ものがたり

- ◆ライオンとネズミ
ライオンが昼寝をしていると、小さなネズミがぶつかりました。ライオンはネズミをつかまえると、すぐに食べてしまおうとします。ところが——
- ◆キツネとカラス
カラスがチーズをくわえて、高い木の上で休んでいるところへキツネがやってきて——
- ◆犬とオンドリとキツネ
犬とオンドリが仲良しになり、いっしょに旅に出ました。夜になり、オンドリは木の上で、犬は門番のために根もとの穴で寝ました。夜明け近くになり、オンドリがいつものように「コケッコォー!」と時を告げたので、ニワトリが大好物のキツネに見つかってしまいます——
- ◆カニのおやこ
カニの親子がいました。お父さんカニは、子どものカニが横にしか歩かないのを見て、怒りだしますが——
- ◆アリとキリギリス
夏の間は働かないで遊んでばかりいたキリギリスが、冬が近づき食べ物もすっかりなくなり、働きもののアリの家をたずねますが——
- ◆オオカミと羊番の少年
羊番の少年が村の人たちにいたずらをしてやろうと、オオカミが出たとうそをつきます。なんどもなんどもうそをついているうちに——
- ◆ウサギとカメ
うまれつき足の速いウサギと、足のおそいカメが競走をすることになりました——
- ◆王様を欲しがったカエルたち
よごれた池に住むカエルたちのお話です。きれいで住みやすい池にしてみらうために、りっぱな王様をさずけてくださいと、神様にたのみますが——

この劇でうたわれる主な歌

「イソップランドの動物広場」

さあ歌おう さあ踊ろう 動物たちと遊ぼう
 笑い声 こだまする イソップランドの広場
 ほら見えてくるよ たいせつなものが
 やさしい心と あふれる笑顔
 さあ歌おう さあ踊ろう 動物たちと遊ぼう
 笑い声 こだまする イソップランドの広場



「イソップランドの動物たち」

(原曲: CHENGA MIRA)

CHENGA MIRA HIZO HIZO HIZO HIZO
 NKULULEKWE NI
 意味(友だちはいのちと同じ みんないっしょに きてごら
 んみんなであそぼう)
 CHENGA MIRA HIZA HIZA HIZA HIZA
 (友だちはいのちと同じ そうと そうと そうと そうと)
 CHENGA MIRA HIZA HIZA HIZA HIZA
 (友だちはいのちと同じ そうと そうと そうと そうと)
 イソップランドの動物の話は そんなにむかしの遠い話じゃない
 ほら いつでもある どこでもある そんな話
 今日の話 ババの話 ママの話 きみの話 ほくの話

この劇で使われるアフリカの楽器

●ジャンベ (Zimbe)

西アフリカでよく使われるたいこです。大きなさかずきのような形のおかげで、低音から高音までいろいろな音色が奏でられます。

●アペンテマ (Appentema)

アフリカ南部で使われているたいこで、一本の木をくりぬいて胴を作ります。スプリングボックなどの野生の鹿の皮を張ります。

●マリンバ (Marimba)

アフリカの木琴です。ムクワというかたい木で鍵盤を作り、ひょうたんを下につけて音を大きくします。この劇で使われているものは、ジンバブエ第二の都市ブラワヨの楽器屋さんに作ってもらったものもあり、それには、ひょうたんのかわりにプラスチックの管が使われています。

●ンピラ (Mbira)

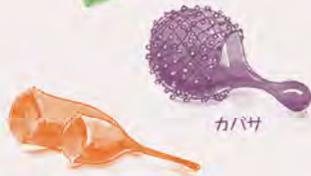
英語でフィンガー・ピアノ (指ピアノ) と呼ばれています。アフリカの代表的な楽器の一つです。板の上に取りつけられた金属の鍵盤を親指と人さし指ではじいて演奏します。

●カバサ (Kabassa)

ひょうたんにじゅうず玉をぬいこんだ網をかぶせてあります。マラカスのもとになった楽器です。

●カンコグイ (Kankogui)

英語ではカウ・ベルといい、牛の首につける鐘のことです。棒でたたいてリズムをとる楽器です。



開催日程

実施日	都道府県 政令指定都市	実施校	開始時間	会場	実施校以外の地元主催者
10月29日(月)	兵庫県	兵庫県立姫路しらさぎ特別支援学校	10:00	体育館	兵庫県教育委員会
10月30日(火)	兵庫県	南あわじ市立松帆小学校	13:15	体育館	兵庫県教育委員会・南あわじ市教育委員会
10月31日(水)	香川県	高松市立木太北部小学校	13:15	体育館	香川県・香川県教育委員会
11月1日(木)	香川県	多度津町立多度津小学校	13:15	多度津町民会館	香川県・香川県教育委員会・多度津町教育委員会
11月2日(金)	愛媛県	四国中央市立中曾根小学校	13:30	体育館	愛媛県・愛媛県教育委員会・四国中央市教育委員会
11月5日(月)	高知県	須崎市立上分小学校	10:40	体育館	高知県教育委員会
11月6日(火)	徳島県	石井町高川原小学校	13:15	体育館	徳島県教育委員会・石井町教育委員会
11月7日(水)	徳島県	石井町浦庄小学校	13:15	体育館	徳島県教育委員会・石井町教育委員会
11月8日(木)	香川県	普通寺市立筆岡小学校	13:15	体育館	香川県・香川県教育委員会・普通寺市教育委員会
11月9日(金)	香川県	香川県立香川中部養護学校	13:15	体育館	香川県・香川県教育委員会

・演劇集団 遊玄社の紹介・

遊玄社は、演出家・関矢幸雄氏のもとで、舞台劇やミュージカルに取り組んできた俳優とスタッフから新たな演劇創造の可能性を求めて、1994年に設立した演劇集団です。ジャンルや形式、観客の年齢層にもこだわらない自由な発想の舞台作りを目指しています。また、演劇の最大の魅力は『生』であるとの考えから、俳優の身体と声の表現を最重要視し、音響機材を一切使わない音楽劇に取り組んでいます。

知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

- | | |
|--------|---|
| 【音 楽】 | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | 児童劇, 演劇, ミュージカル |
| 【舞 踊】 | バレエ, <input checked="" type="checkbox"/> 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

●A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ ●なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃまじえすていっく ----- 有限会社マジェスティック		
代表者職・氏名	代表取締役 平 富恵		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒115-0055 東京都北区赤羽西 4-21-22 (JR 赤羽駅)		
電話番号	03-3905-7900	F A X 番号	同左
ふりがな 公演団体名	たいらよしえすべいんぶようだん ----- 平富恵スペイン舞踊団		
代表者職・氏名	代表 平 富恵		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-2-1-B1F (JR 神田駅)		
制作団体 設立年月	1998年 4月		
制作団体 組織	役 職 員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 1名 平 富恵 取締役 1名 Jeremy Aaron Eaton 経理 1名 藤崎 祥子 事務職員 1名 稲葉 由希子 監査(監査役) 1名 平 妙子 (前監査役平昭六死亡により代行)		(1) 団体構成員 個人 5人 (2) 主な構成員 平富恵(代表・舞踊家・演出家・振付家) 秦史乃(常勤講師・舞踊家) 稲葉由希子(常勤講師・舞踊家) (3) 加入の条件 5年以上の経験者または基礎曲を全て習得したものの。専門的に舞踊活動を行える者。
事務体制の担当	専任 ・ ●他の業務と兼任	本事業担当者名	稲葉由希子
経理処理等の 監査担当の有無	㊦ ・ 無	経理責任者名	藤崎祥子

制作団体沿革	<p>代表 平富恵は、1988年小松原庸子スペイン舞踊研究所に入門。以来、国内外公演に、プリンシパルとして多数出演。(2006 年同舞踊団より独立。2011 年までゲストアーティストとして公演に出演)</p> <p>1977年スペイン留学。1998年帰国後、NHK教育をはじめ、TV、CM、ラジオ出演など多方面で活躍。同年、平富恵スペイン舞踊研究所をスタート。より専門的なフラメンコ・スペイン舞踊の教育ができる機関を目指し、2001年千代田区内神田に研究所専用スタジオ設立。2002年第1回スペイン舞踊振興マルワ財団主催CAFフラメンココンクール優勝。2003年第43回カンテ・デ・ラス・ミナス国際フラメンココンクールにおいて日本人初のセミファイナル進出。審査委員特別賞受賞。2004年法人化し、(有)マジェスティック設立。毎年研究所生による劇場定期公演を開催し、本年第17回を実施。2009年から開催している平富恵スペイン舞踊団劇場公演は、「エル・スエニョ」シリーズが2012年に4回を迎え、このうち、2010年には第65回芸術祭賞を受賞。2013年「シャンバラ・ムーン」、2014年「ゾディアック」、2015年「真夏の夜の夢」、2016年「梁塵秘抄」、2017年「Hokusai Flamenco Fantasy」を上演。H28-29(第18回)河上鈴子スペイン舞踊賞受賞。他、様々な企業やイベントで公演活動を行う。</p>		
学校等における公演実績	<p>平成 22 年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」公演、平成 23・24・25 年度「次代を担う子供の文化体験事業」公演、平成 26 年度「文化芸術による子供の育成事業」公演に、蘭このみスペイン舞踊団依頼で出演。当舞踊団としては、平成 27 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて C ブロック(8 校)の公演を実施。</p> <p>平成 28 年度同事業にて D ブロック(9 校)の公演を実施。</p> <p>平成 29 年度同事業にて F ブロック(14 校)の公演を実施。</p> <p>平成 30 年度同事業にて J ブロック(10 校)の公演を実施予定。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>平成 22 年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」公演、平成 24 年度「次代を担う子供の文化体験事業」公演に、蘭このみスペイン舞踊団依頼で出演。</p> <p>平成 27 年度「文化芸術による子供の育成事業」で当舞踊団にて公演を行う C ブロック 8 校のうち、1 校公演を実施。</p> <p>平成 28 年度同事業で当舞踊団にて公演を行う D ブロック 9 校のうち、1 校公演を実施。</p> <p>平成 29 年度同事業で当舞踊団にて公演を行う F ブロック 14 校のうち、3 校公演実施。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	① ・ 無
申請する演目の DVD または WEB 公開資料		① ・ 無	
※公開資料有の場合 URL		DVD を提出いたします。	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	
A の提出が困難な場合	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 平富恵スペイン舞踊団】

対 象	●小学生(低学年・中学年・高学年) ・ ●中学生		
企画名	スペイン舞踊・フラメンコの情熱世界・わくわく体験!		
本公演演目 原作/作曲 脚 本 演出/振付	スペイン舞踊「夢、フラメンコの粋と情熱」 演出/構成/振付 平 富恵 公演時間(90分)		
著作権	● 制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>前半は導入として壮大なスペイン舞踊(クラシコ・エスパニョール)を、変化に富んだ形式(フラメンコ正装、ショール、カスタネットなど)を上演します。</p> <p>前半に、簡単なフラメンコについての解説をします。フラメンコの成り立ちと現在の舞踊形式について、実演を交えながら説明します。児童生徒の皆さんには実際にパルマ(手拍子)とハレオ(囃子のようなものの発声)、足踏みを体験して頂きます。</p> <p>後半は更に様々な音楽的要素を網羅したスペイン舞踊をよりクラシカルなものからモダンなものへ、そして最後にフラメンコに移る流れで上演します。フラメンコ部門では、特に重要なナンバーを組曲として選びました。フラメンコギター・歌・舞踊が持つ独特な迫力と醍醐味を実際に味わって頂きます。全体を通し、スペイン舞踊・フラメンコの過去から現在への時間的・種類のな変遷を感じられるプログラムにし、また各曲にテーマを持たせ(「人の夢」「人の絆」「人生」など)決して飽きることなく、想像力が膨らむ構成を展開いたします。</p> <p>作品構成(予定) [前半40～45分]</p> <p>1、マラゲーニャ:キューバの作曲家エルネスト・レクォーナのスペイン各地をテーマにした組曲「アンダルシア」の中で最も愛されている名曲。風光明媚なマラガの女性を称えたメロディーは世界的に知られポピュラーになっている。</p> <p>2、サパテアード:サラサーテの名作。題名が示すようにサパテアード(足音)のみで様々なリズムを創り出し、ダイナミックに盛り上げる。</p> <p>【あいさつ、スペイン舞踊の解説】 ごあいさつ、そして「スペイン舞踊」についての説明をします。また、舞踊アイテムのカスタネットについてデモンストレーションを交えながら解説します。</p> <p>3、アラゴネサ:作曲家ビゼーの名作「カルメン」組曲の中の1曲。情熱的な女性「カルメン」の登場の場面としても親しまれている名曲中の名曲。</p> <p>【フラメンコの解説】 フラメンコのお話:フラメンコの成り立ちと現在の舞踊形式についてギタリスト、歌手、打楽器奏者のデモンストレーションによる解説をしながら、フラメンコとは何かを理解してもらいます。続いて児童生徒の皆さんには実際にパルマ(手拍子)とハレオ(囃子のようなものの発声)、足踏み(サパテアード)ダンスを体験し、1曲(フェリス・ナビダ)を練習します。</p> <p>休憩</p>		

	<p>[後半 50～55 分]</p> <p>4、ムヘレス:スペインの大作作曲家マヌエル・デ・ファリャの名曲「ラ・ビダ・ブレベ(はかなき人生)」にのせて、ムヘレス(女性たち)の様々な生き方を表した作品。</p> <p>5、タクトウタ:フラメンコ発祥の起源と言われるインドのタブラにのせ人の矛盾を表す。「君は僕の話の聞こうとせず、僕は君に話をさせない。お互いに絶えず相手の話を遮っていたら…本当は、同じ思いを伝えたくて話している事に一生気付かないだろう。」</p> <p>6、デリリオス・イベリコ:静寂とともに、一人の踊り手が闇から現れ腹鼓を鳴らし消える。突如爆音が響き、スペイン舞踊の形式でカスタネットを持った踊り手たちが、次々颯爽と踊る。続いて、曲はパルマ(手拍子)に導かれ、徐々にフラメンコのリズムに変化する。重なり、止まり、また走る。様々な動きとともにこの世界は繰り広げられる。</p> <p>7、リトモ・イ・コンパス:フラメンコにとって最も重要な曲の一つであるシギリージャの、カホン(パーカッション)とカスタネットの絶妙な掛け合いに注目!</p> <p>8、ファンタシア:扇子を優雅に動かシグアヒーラを舞う女性たち。突然表れたいたずら好きが魔法をかけるとたちまち皆の動きは止まる。しかし、面白がっていた魔法使いの最後の運命は…。</p> <p>9、ヴェラ・デ・サンタ・アナ:帽子を被った粹な曲ガロティン。70 年代アンダルシアのエッセンスの上に、研ぎ澄まされた現代の感覚をちりばめ様々な時代の融合を探った意欲作。</p> <p>10、アレグリアス:スペイン南端カディス発祥のカンテ・アレグレ(明るい歌)を代表する曲。港町の美しい情景を彷彿させるフラメンコならではの明るく楽しい曲。</p> <p>11、わくわく・de・フィエスタ:フラメンココンサートの最後は、フィン・デ・フィエスタというお祭りの形式で終わることが多く、ここでは、児童生徒代表の皆さんの情熱的な晴れ舞台「フェリスナビダ(スペイン語版メリークリスマス)」の名曲を鑑賞します。その後、代表者のカホン演奏と踊りのお手本をもとに、パルマと足踏みダンスで、全員で踊り、楽しくフィナーレを飾ります。</p>		
<p>演目選択理由</p>	<p>2009 年から継続して開催している公演「エル・スエニョ(夢)」シリーズをこの事業公演版に改良し上演いたします。この公演シリーズは、2010 年に、文化庁芸術祭において芸術祭賞を頂いたプログラムで、上演実績を多数重ね、お客様から非常に良い反応を頂き自信を持っております。児童生徒の皆さんに分かりやすく、親しみやすく、楽しく参加できるプログラムです。</p> <p>日本ではフラメンコ公演は盛んですが、スペイン舞踊がきちんとプログラムされた公演は数少なく、この公演により、フラメンコを含むスペイン舞踊本来の素晴らしさと可能性を追求し、普及・発展に貢献できると考えています。</p> <p>私どもの公演を通じ、今後更にユニバーサル芸術となるこれらスペイン舞踊に触れ、関心を深めて頂き、児童生徒の皆さんたちにとって忘れ難い体験の一つとなることを願っております。そして「夢」の続きを将来担っていただける芸術家・芸術に携わる人が現れる事を期待しております。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>前半で、パルマ(手拍子)、ハレオ(囃子)、足踏みの練習に全員参加していただき、これを活かし後半 1 曲「わくわく・de・フィエスタ」で、代表の生徒さんには、舞台上で伴奏とダンスによる舞踊団メンバーと共演して頂きます。その後、生徒の皆さん・出演者の全員で、生演奏を背景に足踏み&手拍子ダンスでフィナーレを飾ります。</p>		
<p>出演者</p>	<p>平富恵、永田健、秦史乃、久保田晴菜、岡村友美、菊池和緒子、稲葉由希子、平尾華子、高橋里子、石塚隆充、長谷川暖、大儀見元</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 12名 スタッフ: 17名 合計: 29名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 4t , 2t 車長 8.64m 台数 各 1台</p>

【公演団体名

平富恵スペイン舞踊団】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(㊟・㊿) 会場設営の所要時間(3 時間程度) →午前中公演開催希望の場合は、前日仕込み及びリハーサルとなります。					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～ 11時	14時～15時45分	15分	16時～18時	18時半
↑仕込み終了後から公演まではリハーサルを行います。 ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	20名～80名程				
	本公演	会場の大きさにもよりますが、300～400名程				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>【ごあいさつ】まず、自己紹介・舞踊団メンバー紹介をした後、スペインについての簡単なQ&A(生徒の皆さんと)を実施し、ワークショップの内容を説明します。</p> <p>【スペイン舞踊とフラメンコの解説】導入として「スペイン舞踊」と「フラメンコ」についての説明をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スペイン舞踊」とは何か？どんな種類があるのか？(デモンストレーション。舞踊アイテムや衣装の紹介を含む。) ・「フラメンコ」とは何か？踊り？ギター音楽？歌？(音楽試聴&クイズ形式で全員で楽しく探ります。) ・「スペイン舞踊」と「フラメンコ」の違いを説明し、特に「フラメンコの起源と歴史」を中心に解説します。 <p>＊フラメンコの曲は、リズムとメロディーによって区別され、曲の形式や意味があること等。</p> <p>＊フラメンコはどのようにして起こったのか？(最重要ポイント)</p> <p>【体験コーナー】(全て解説とデモンストレーション有り)</p> <p>参加人数や学校様側の希望にもよりますが、全員でやれるもの以外は、主に生徒さんを3～4グループに分け、順番に全ての項目を体験してもらおう形式をとります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パルマ(手拍子)のリズム・・・表・裏拍、アクセントの取り方の体験。 ・サパテアード(足踏み)・・・足の打ち方4種類を実際に体験。代表生徒は専用シューズを履き舞台上で、他の生徒も全員立って実際に体験。 ・ルンバ(足踏みダンス)・・・サパテアードやパルマ、回転、腕の動き、リズム等による簡単な振付ダンスに挑戦。 ・カスターネット・・・音楽の時間に使うカスターネットと踊り用のものの違いを説明。実際に両手に持ってもらい体験。 ・カホン・・・四角い木製のリズム楽器を実際に体験。リズムリレーに挑戦。 ・ハレオ・・・フラメンコにはハレオという掛け声があり、どういうタイミングでどのように掛け声をかけたらよいのか、一緒に声出しを体験。 ・ケブラーダ・・・フラメンコ特有の「斜め回転」を体験してもらいます。 					

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス経験がない、或は経験が浅い児童生徒に舞踊を理解し、楽しんでもらえるように、また、本公演の舞台鑑賞時に少しでも興味を持てるように、始めは日常的な動きから、どのようにダンスの動きに変わっていくかを体験してもらいます。 ・バラエティ豊かなメニューで多角的にスペイン舞踊・フラメンコを捉えてもらいたいと考え、カスタネットやカホンなどの楽器も全員が実際に触れられるようにグループ分けを導入しております。 ・ワークショップで覚えたパルマ(手拍子)やカホン、ダンスなどが1曲として完成し、学んだことが形になる達成感や共演者・仲間との一体感を感じられるよう、代表の生徒さんに本公演の出演プログラムを練習してもらいます。
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒さんによって個人差があると思われませんが、原則的には全ワークショッププログラムを実施できればと考えております。生徒さんの体調や集中力など様々なことをあらかじめ先生方と綿密に打ち合わせをし、項目を選んだり、カスタマイズしたりしながら、当日は様子を見て進めます。 ・着席したままでも体験できる音楽リスニングや Q&A、手拍子やカスタネット、そして掛け声(ハレオ)で、どのような方でも様々な形で参加し、楽しむことができるようにします。 ・カホンなどの大きな楽器は、車椅子の児童の方には先生と協力しながら、メンバーがカホンを持ち上げ手の届くところまで持っていき、実際に叩いてもらい本物の音や振動を感じてもらおうなどの対応をさせていただきます。
<p>実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

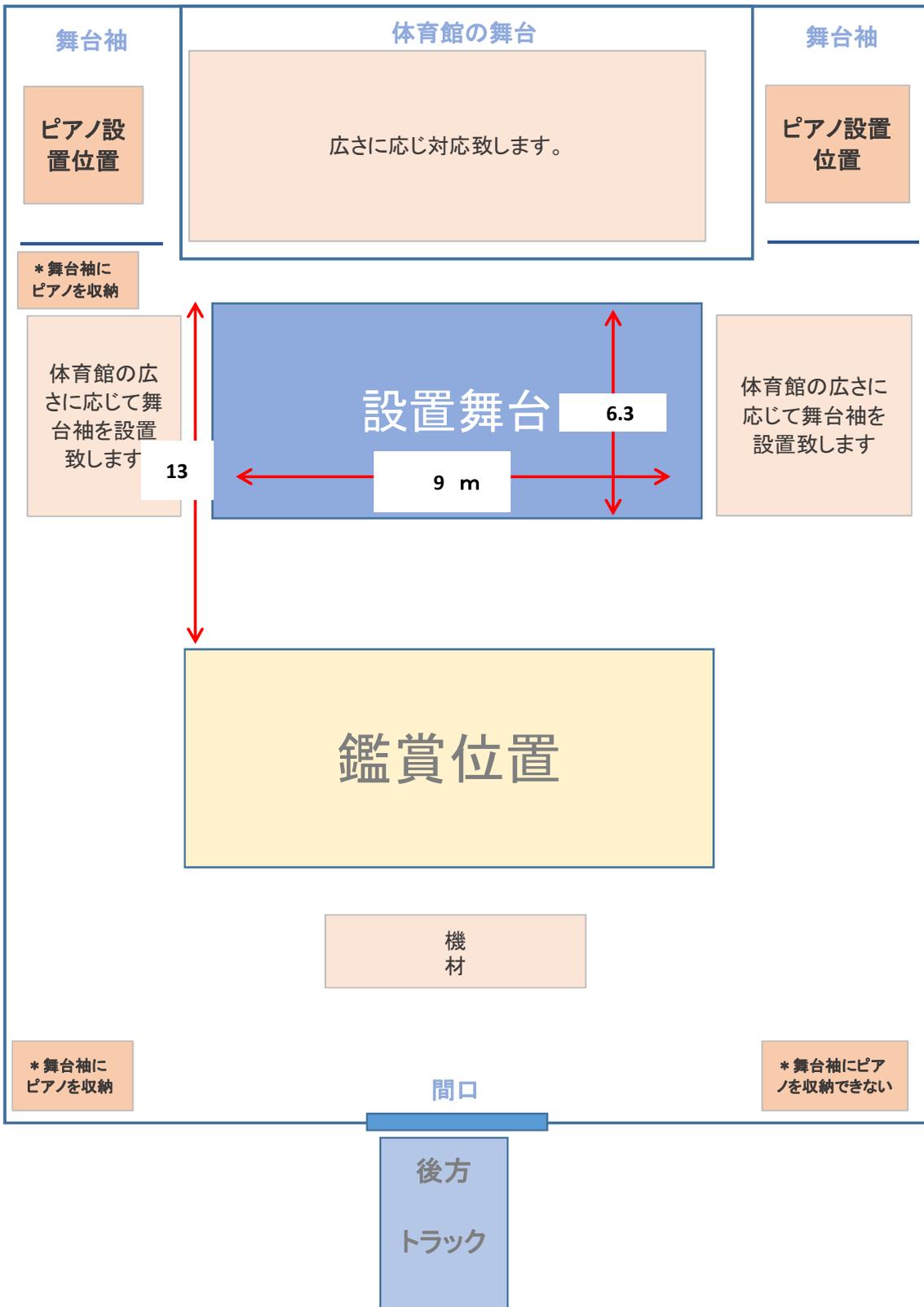
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E59	分野	舞踊	種目	現代舞踊	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	平富恵スペイン舞踊団				制作団体名	有限会社マジスティック			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	男性用・女性用の着替用でもあるためカーテン等のある部屋又はつい立てや模造紙などで目隠し可能な部屋を希望します。できるだけ会場に近い部屋を希望しますが、女性用については衣装準備でアイロンを多数使用しますので、家庭科室など電圧に問題のない部屋を希望します。机またはテーブル、床の掃除を事前をお願いします。(床をひきずる裾の長い衣装を使用するため、汚れないように。)				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック 1台	電源車	1台		
					2tトラック 1台	大型バス	1台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック1台(4tトラック1台+2tトラック1台=計2台の可能性もあります)、電源車				
	不可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	不可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			不可				
	可	搬入経路の最低条件			コンクリートの、できるだけ階段のない経路				
		理由			多数のコンパネ板、舞台美術などの大道具と照明・音響機材を搬入するため。				
不可	設置階の制限 *			2階以上不可					
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	約2m	高さ	約2m			
WSIについて	可	参加可能人数			20～80名程				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			300～400名程(体育館の大きさにもよる。合同開催等または劇場等の施設利用が可能な場合は鑑賞人数を増やすことも可能です。)				
	不可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	9m	奥行	13m	高さ	-
	不可				舞台袖スペースの確保 *		要		
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物が無い状態		
	可				緞帳 *	要	バトン *	要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	劇場同様の空間を作り、演出をするため		
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	-			ピアノの事前調律 *	不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可				
	-	公演に必要な電源容量			- 当方の電源車にて対応				
	その他特記事項								
会場の規模と鑑賞可能人数は、条件前後で対応可能ですのでご相談ください。									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	約2m	高さ	約2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		不可		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Flamenco's Passion and Spirit

昔から、人々は辛いことや悲しいことがあると、歌を唄い、踊りをおどり、自分や仲間を励ましてきました。

また、嬉しい時にも歌や踊りで暮らしを豊かにしてきました。スペイン南部で生まれたフラメンコには、人々を元気にする力がいっぱい詰まっています。

フラメンコの持つエネルギーや緊張感、不思議な力を体験しましょう。



■スペイン舞踊とは？

スペインには各地にたくさんの民族舞踊があり、有名なものにアンダルシアが生んだ民族音楽舞踊のフラメンコがあります。また、アラゴン地方のホタ、古くはバレエの流れから独自に発達したエスクエラポレラ、さらに洗練されオーケストラ曲などで踊るスペイン古典舞踊(クラシコエスパニョール)などがあり、大きく分けてこの4つをスペイン舞踊といいます。

■フラメンコはどんな風に生まれたの？

アンダルシアは15世紀までの約800年間アラブに占領されていました。その後北部インドを追われた流浪の民ロマ(ジプシー)が、気候の良いアンダルシア地方に住み、彼らの音楽と、アラブ、アンダルシア固有の音楽などが混ざり合いフラメンコの始まりとなりました。ロマ達は、迫害を受け、安定した仕事を持たず、過酷な生活の中での嘆き、悲しみ、夢、はかなき希望などを歌にたくし感情を表しました。きっとその想いがフラメンコに他の民族音楽舞踊に見られない哀愁や奥深さを与えたのでしょう。

■フラメンコは踊りなの？

日本ではフラメンコは、「踊り」と思われていますが、本場スペインでは「うた」が主流と考えられています。前の部分で説明しましたが、ヒトの苦しみや嘆きを歌ったのがフラメンコの始まりです。そこに、指鳴らしや手拍子、踊りが加わり現在のフラメンコの形ができました。フラメンコは、うた・ギター・踊りの三つで一つなのです。

フラメンコには、「ハレオ」というかけ声をかける習慣があります。演奏や踊りの盛り上に達すると観客側から「オーレ」などと声がかかります。「オーレ」にはいいぞ、その調子だという意味があり、その声がかかると演者は、一層盛り上がるのです。見る側、行う側が一体となって創り上げていくのもフラメンコの醍醐味です。




スペイン舞踊家 平 富恵

平富恵スペイン舞踊団主宰。国内外の公演多数出演。NHK教育番組をはじめTVやCMに出演・振付など多方面で活躍。02年第一回CAFフラメンココンクール優勝。03年スペインの第43回カンテ・デ・ラス・ミナス国際フラメンココンクールにて日本人初のセミファイナル進出。審査委員長特別賞受賞。H22芸術祭賞、「RyojinHisho」「Hokusai Flamenco Fantasy」等意欲作にてH28-29河上鈴子スペイン舞踊賞受賞。

平富恵スペイン舞踊団

平富恵作品発表を軸に、スペイン舞踊公演活動をしている。2009年より文化庁芸術祭に連続出品を果たし、また文化庁事業、芸術団体公演に多数参加。「エル・スエニョ」「シャンバラムーン」「ソディアック」「真夏の夜の夢」「愛の賛歌」などの代表作がある。

◆ プログラム

- 第1部
- 1 マラゲーニャ 作曲:レクォーナ
組曲「アンダルシア」の中で最も愛されている名曲。マンティージャ(レースの布)とカスタネットを使ったクラシコエスパニョールです。
 - 2 サパテアード 作曲:サラサーテ
曲名の通りサパテアード(足音)の軽快な足さばきが目に浮かびます。
 - 3 アラゴネサ 作曲:ビゼー
名作「カルメン」組曲の中の1曲。情熱的な女性「カルメン」の登場の場面として親しまれています。

スペイン舞踊とフラメンコのお話し

スペイン舞踊とフラメンコ、またフラメンコのリズムなどについて。手拍子(パルマ)と足踏みダンス(サパテアード)、かけ声(ハレオ)に挑戦してみよう!

休憩

- 第2部
- 4 ムヘレス 作曲:ファリャ「ラ・ビダ・アプレベ(はかなき人生)」
ムヘレス(女性たち)の様々な生き方を情熱的に表すクラシコエスパニョール作品。
 - 5 タクトッタ
人の矛盾を表した作品。「君は僕の話をお聞きしない、僕は君に話をさせない。そうやっておたがいに相手の話をささげているら 本当は同じことを伝えたいと思っていることに、一生気づかないだろう」
 - 6 デリリオス・イベリコ
カスタネットを鳴らすクラシコエスパニョールから、だんだんとパルマと共にフラメンコの世界に変化していく曲。
 - 7 リトモイコンパス[シギーージャ]
人の悲しみや苦しみを唄った、フラメンコにとって最も重要な曲。変則的な5拍子。カホン(木箱)とカスタネットがリズムを刻みます。
 - 8 ファンタシア[グァヒーラ]
せんずを持ち優雅に踊る女性たち。突然現れたいたずら青年が魔法をかけるとたちまち皆の動きは止まる。しかし、面白がっていた魔法使いの運命は・・・
 - 9 ヴェラ・デ・サンタ・アナ[ガロティン]
70年代アンダルシアと現代のモダン感覚をちりばめた帽子の粋な曲。
 - 10 アレグリアス
フラメンコの代表曲。港町カディスで生まれたカンテ・アレグレ(明るい歌)を代表する曲。
 - 11 わくわく・de・フィエスタ
民衆に愛されている愛嬌のある踊りリルンバを生徒代表の皆さんのカホンリズムとともに楽しく踊ります。

開催日程

開催日程	実施校名	地元主催者
2018年11月14日(水)	鹿児島大学教育学部附属小学校	鹿児島県
2018年11月15日(木)	鹿児島市立武岡中学校	鹿児島県、鹿児島市
2018年11月16日(金)	曾於市立恒吉小学校	鹿児島県、曾於市教育委員会
2018年11月19日(月)	延岡市立旭中学校	宮崎県教育委員会
2018年11月20日(火)	西都市立三納小中学校	宮崎県教育委員会
2018年11月21日(水)	えびの市立加久藤小学校	宮崎県教育委員会
2018年11月22日(木)	都城市立夏尾中学校	宮崎県教育委員会
2018年11月27日(火)	中津市立豊田小学校	大分県教育委員会、中津市教育委員会
2018年11月28日(水)	別府市立東山小中学校	大分県教育委員会、別府市教育委員会
2018年11月29日(木)	豊後高田市立真玉中学校	大分県教育委員会、豊後高田市教育委員会

知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



スタッフ

〈構成・演出・振付〉平 富恵 〈舞台監督〉伊藤 郷生 〈照明〉木山 正隆 〈音響〉須藤 洋
 〈製作〉有限会社マジエスティック



平成30年度 文化芸術による子供の育成事業 —巡回公演事業—

平富恵スペイン舞踊団
 〈現代舞踊公演〉

スペイン舞踊
 「夢、フラメンコの粋と情熱」



文化芸術による子供の育成事業 —巡回公演事業—

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎 <input checked="" type="checkbox"/> 能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

 あり なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうふうかい		
制作団体名	皐風会		
代表者職・氏名	代表・小島英明		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164-0003 東京都中野区東中野4-30-18 リビオ東中野地下1階 小島能舞台内 《最寄駅》JR「東中野駅」、都営地下鉄大江戸線「東中野駅」もしくは東京メトロ東西線「落合駅」		
電話番号	03-6383-2262	F A X 番号	03-6383-2262
ふりがな	こうふうかい		
公演団体名	皐風会		
代表者職・氏名	代表・小島英明		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164-0003 東京都中野区東中野4-30-18 リビオ東中野地下1階 小島能舞台内 《最寄駅》JR「東中野駅」、都営地下鉄大江戸線「東中野駅」もしくは東京メトロ東西線「落合駅」		
制作団体 設立年月	1919年9月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	代表 小島英明 (観世流能楽師シテ方・重要無形文化財指定保持者) 副代表 斎藤 強 (観世流門下・白石皐風会会長) 幹事 栗原幸江 (観世流門下・白石皐風会幹事) 会計監査 小倉親子 (公認会計士) 事務局長 小島 清 (観世流門下) 会計責任者 尾藤文隆 (税理士) 事務職員《経理担当》小島美樹 (観世流門下・伝統文化コーディネーター) 小島幸子 (観世流門下) 企画制作 吉藤美紀 (伝統文化コーディネーター)	(1) 団体構成員 役員8名の他、企画制作1名、会員78名、計87名 芸術団体数4 (東京皐風会・白石皐風会・八王子皐風会・深谷皐風会) ※能楽師、伝統文化コーディネーター (資格有) 他 (2) 加入の条件 ・観世流 (能楽) 宗家より免状を許され、取得した者。 ・能楽に深い興味と理解があり自身の研鑽を怠らず、広く能を普及する意志を持つ者	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 他	本事業 担当者名	小島美樹

経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者 名	尾藤文隆(税理士) 小島美樹(経理担当)
-------------------	-------	------------	-------------------------

制作団体沿革	<p>1922(大正 11)年、能楽師観世流シテ方の小島曙光が設立(現代表・能楽師観世流シテ方・小島英明の祖父)。その後能楽師観世流シテ方の小島芳雄(現代表の伯父)に引き継がれ、2000年、小島英明が受け継ぎ、代表となる。小島を中心として、優れた能楽公演とワークショップ等の初心者向けの講座も積極的に実施。日本各地で能楽愛好者の指導にも力を尽くし、能楽の鑑賞者の育成を含めその普及、発展を志してきた。事業としては、東京を中心に全国各地で本格的な演能、蠟燭能、薪能、解説付能公演やワークショップを企画し実施。合せて学校での能公演、ワークショップ開催を働きかけ、力を入れている。特に宮城県白石市で2001年より「観世流能狂言鑑賞会」、地元東京都中野区では2004年よりホール能「なかのZERO能」を毎年開催。2005年、自身研鑽の会と位置付けた本格的能狂言鑑賞会「小島英明能の会・碧風会」を始動。本年、第13回目を開催予定。中野区と白石市(宮城県)で「伝統文化こども教室・能楽」を実施。継続して能楽の振興に努め、本年度で16年目となる。2006年九州国立博物館(大宰府市)にて、能楽ワークショップを無料で開催。2007年には、能楽普及のための、解説付・装束着実演付・テキスト付の能公演「能楽のススメ」を始動し各地で毎年開催。2009年、文化庁地域文化振興プラン推進事業・みやぎ文化芸術振興プラン推進事業「親子のための能楽ワークショップ」を実施。2011年、国立女性教育会館より委託を受け、文化プログラム「能楽講座・能の世界の女性達」を実施。東日本大震災以降、被災地で無料の能楽公演を企画開催する「息吹の会」の中心メンバーとなり、継続的に活動、本年度も公演実施予定。2012年、「平成23年度文化遺産を生かした観光振興・地域活性化事業」として、埼玉県立嵐山史跡の博物館より委託を受け「能楽ワークショップ・羽衣」を開催。2014年埼玉県芸術文化祭・さいたま文学館講演会「初めての能と狂言」を実施。好評につき2015年も開催。平成29年度「伝統音楽普及促進支援事業・先生方のための能楽講座」(平成29年で7ヶ年目)を東京と宮城の2か所で実施。この活動により、平成29年度・全国音楽教員研修会の講師を務めることとなる。平成24年、25年度「次代を担う子供の文化芸術体験事業・巡回公演事業」実施。平成27年、28年、29年、30年度「文化芸術による子供の育成事業」実施。2010年に自宅舞台の改築を終え、「小島能舞台」が完成。皐風会の活動の本拠地として「能楽」の講座はもちろんの事、伝統文化の発信地とするため、新たな活動を企画運営している。2014年には当会代表小島英明が重要無形文化財総合指定保持者の認定を受けた。2018年1月の社団法人化を検討中。</p>
学校等における 公演実績	<p>本会の代表である小島は、芸団協主催「伝統芸能に触れる授業プログラム」や日本財団助成事業「中・高校生のための能・狂言鑑賞教室」、東京未来塾(東京都教育委員会主催)、「文化庁伝統音楽普及促進支援事業」の各講師を勤める経験を通じ、学校において児童・学生を対象とした伝統芸能や音楽を鑑賞し実際に触れる機会をつくる事、能の鑑賞者育成の重要性を実感。当会の活動課題の一つと位置付け活動してきた。「能」を解りやすく、興味を持ってもらうように、且つ「本物の伝統が持つ力」をきちんと伝える事を大切にしてきた。公演やワークショップで使用するテキストも「理解を深める」重要なツールとしてオリジナルのものを作成。公演としての内容に細部にわたる工夫を重ね内容の充実に努めてきた。一方で教員研修などの講師も勤め、多角度から真摯にアプローチしている。</p> <p>■児童・学生に対する普及を目的とした能公演を開催。《直近に開催したもの》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2011年3月 私立武蔵中学校にて「能楽体験・ワークショップ」 ・2012年2月 震災復興支援として、宮城県白石市立第二小学校にて能についてワークショップを無料にて実施 ・2012年11月 宮城県白石市白石中学校にてワークショップを無料にて実施。以来、※毎年実施している。 ・2013年5月 私立 横浜女学院高等学校にて能についての解説及び公演「羽衣」 ・2014年6月 私立 聖学院中学高等学校にて能についての解説及び公演「羽衣」 ・2016年3月 神奈川県立湘南高校にて能楽公演を実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年10月 都立科学技術高校にて解説及び公演「羽衣」を実施。 ・2019年4月 私立 横浜女学院高等学校にて能についての解説及び公演「羽衣」を実施予定 		
特別支援学校における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年8月 佐賀県立金立特別支援学校にてワークショップを無料にて実施 		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVDを提出します
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 阜風会(こうふうかい)】

対象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ <u>中学生</u>		
企画名	能楽体験してみよう！ 能「羽衣」と狂言「柿山伏」		
本公演演目	<p>【第1部】本日のみどころ解説(当日プログラムに沿って解りやすく)</p> <p>①ご挨拶 ②能楽鑑賞のマナーについてのお話 ③本日の演目についてのお話 ※本日の演目、狂言「柿山伏」と能「羽衣」のあらすじとみどころ ④ご挨拶 ※質疑応答は「第4部」で行うものとする。</p> <p>【第2部】狂言・能の上演</p> <p>①狂言「柿山伏(かきやまぶし)」 ②能「羽衣(はごろも)」</p> <p>【第3部】狂言を体験しよう！</p> <p>①ご挨拶 ②「狂言」とは？《狂言の基礎的なお話》 ③狂言独自の発声を体験。狂言独自の発声を体験。「動物の鳴真似」(演目「柿山伏」より)や「泣き」「笑い」「擬音」など(全員)。 ④狂言の構え(姿勢)と運び(摺り足)としぐさを体験(代表生徒)。 ⑤ご挨拶</p> <p>【第4部】アフタートーク及び質問コーナー</p>		
原作 / 作曲 脚 本 演出 / 振付	公演時間(100分)※休み時間を含む		
著作権	○	制作団体が所有 (公演内容・構成 として)	制作団体以外が所有する事 項が含まれる (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>■狂言「柿山伏(かきやまぶし)」</p> <p>《あらすじ》 山伏が諷いながら登場。旅の途中、あまりに喉が渴いたので、畑主(百姓)がいないのをいいことに柿の木に登って、実を食べ始めてしまう。そこへ百姓が見回りに現れる。大事な柿を食べ散らかしている木の上の山伏を見つけ、腹を立て、からかってやろうと考える。「そこにいるのは犬だ」と百姓がいうと山伏はあわてて犬の鳴き真似をする。続いて「猿だ」と言われると山伏は「キヤーキヤー」と鳴く。ついには「鳶(とび)かもしれないから空を飛ぶだろう」と言って山伏を困らせる。山伏は飛ぼうとするが、飛べずに木から落ちてしまう。怪我をした山伏は百姓に「家に連れてかえって看病(かんびょう)しろ」と怒るが、百姓は知らぬふりをして帰ろうとすると、山伏は祈り、法力(ほうりき)で百姓を呼び寄せ、自分を背負ってもらうことに成功するものの、百姓は「やられると思ったか」と山伏を投げ飛ばし帰ってしまう。</p> <p>《みどころ》 見つかりたくないところを見つかってしまうと咄嗟に出してしまう行動のおかしさ。神仏に通じ、修行を重ねている山伏と言えども「あまりに喉が渴いて」「つい」という事はある。また「悪い事は悪い」と結論付ける終曲場面。「滑稽性」と「風刺性」など狂言の特徴的な要素を解りやすく表現した人気曲。小学校の教科書にも採用されており、公演後も教材として有用。犬は「ビョウビョウ」、猿「キヤーキヤー」、鳶「ひーよろよろよろよろ」などという鳴き真似と所作、ラストの話のどんでん返しなど聞きどころや見どころが明瞭である。見た目の面白さと筋の可笑しさの二つのバランスが取れた狂言を代表する芸術的秀作である。子どもの耳にも心地よい擬音と真似のしやすい狂言の発声は、子供の記憶に残り、「能楽」の一翼を成す「狂言」に対する更なる興味が広がる事を確信している。</p> <p>■能「羽衣(はごろも)」</p> <p>《あらすじ》 駿河国・三保の松原の漁師・白龍(はくりょう)が漁に出ようと浜辺にやってくる。するといい</p>		

演目概要

香りが立ちこめてくるので、白龍があたりを見回すと、浜の松に美しい衣がかかっている。白龍は家の宝にと持ち帰ろうとするが、そこへ一人の女性が現れて、「それは天人である私の羽衣なので返して欲しい」と頼む。一度はことわる白龍だったが、天人が「羽衣がなくては天に帰れない」とあまりに悲しむので、羽衣を返すかわりに世に名高い天人の舞楽を見せて欲しいと頼むと天人はよろこんで承知し、羽衣を身にまとして舞楽をかなで舞いはじめる。天人は海辺の風にたなびきながら、宝物を降らせつつ、だんだんと富士の高嶺へ舞い上がり、霞の中にまぎれはるか天空へと帰っていくのだった。

《みどころ》

- ・国語の教科書にも掲載されている「天女の羽衣」の有名な物語をモチーフにしており、解りやすい筋立てと清らかな趣で、芸術性に優れた曲。能が持つ世界観が「直感的」に伝わる演目であり、「初めて観る能」としても相応しい演目である。鑑賞者である子どもたちが興味を持って鑑賞できる曲であると考ええる。
- ・中学校の音楽の教科書に「伝統的音楽」として種々取り上げられている演目でもあり、本物の能楽囃子を臨場感をもって触れることができるのは、音楽科としても何より有意義な体験となり、新しい興味と発想をもたらすだろう。能における囃子の持つ役割の大切さと邦楽(日本の音・和楽器等)の魅力を伝えられる演目でもあると考ええる。
- ・「月の世界から降りてきた天人」に扮し、煌びやかな能装束を纏ったシテ(主人公)の美しい姿とその舞を非常に近い距離で目の当たりにする事は、舞台をみた子どもたちの想像の世界を広げ、大人になっても、その強い印象は残り、温かな感動が心を満たす喜びを体験してくれるものと確信している。
- ・「天人を疑う」漁師・白龍の様は、人間の誰もが持つであろう心の醜い部分を示し、「人を疑う事を知らない」天人の有様は、子供の心に「清くある事」「美しくある事」の大切さを体現する。道徳的、情操的にも高い教育的効果をもたらすと考える。



狂言「柿山伏」(左)と能「羽衣」(中・右)

演目選択理由

■狂言「柿山伏」の選択理由

- ・小学校6年生の国語の教科書に取り上げられており、教育的効果のある演目。
- ・上述のような舞台芸術として「見どころ」「聴きどころ」が明瞭。
- ・見た目の面白さと筋の可笑しさの二つのバランスが取れた狂言を代表する芸術的秀作である。
- ・子どもの耳にも心地よい擬音と真似のしやすい狂言の発声は、子供の記憶に残り、更なる興味が広がる事を確信している。

■能「羽衣」の選択理由

- ・「天女の羽衣」の有名な物語は小学校の国語の教科書に掲載されており、また中学校の音楽の教科書にはこの曲が取り上げられている点から教育的観点を重視。授業と共に立体的な指導も可能となる。
- ・この曲は日本各地に古くから伝わる「羽衣伝説」をモチーフに描かれた能である。日本各地には様々な伝説が残っており、そうした伝説をもとに作られた「能」も多いということを伝え、日本の歴史や風土に興味に向くよう解説やワークショップで使用するテキストにおいても心がけたい。
- ・解りやすい筋立てと清らかな趣で、能が持つ世界観が「直感的」に伝わる演目であり、「初めて観る能」としても相応しい演目。
- ・「天人を疑う」漁師・白龍の様は、人間の誰もが持っているであろう心の醜い部分を示し、「人を疑う事を知らない」天人の有様は、子供の心に「清くある事」「美しくある事」の大切さを体現する。道徳的、情操的にも高い教育的効果をもたらすと考える。
- ・能「羽衣」の舞台は、世界遺産に認定された「富士山」と「三保の松原」。それがどうして日本を代表とする風景となり、人々の心を惹きつける魅力を持つのか。能を鑑賞

<p>演目選択理由</p>	<p>する事によって、その答えが子供たちそれぞれの心に芽生えるような舞台としたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解度を高めるため、伝統芸能の魅力を伝えるため、教員用に配布する手引き、ワークショップで使用するテキスト等、様々に工夫を重ねた上で、ワークショップの時間を最大限に生かし、そしてその上で鑑賞してもらうのは、省略もなく変更もしていない「本物の能楽」であること、そして子供の感性を信じる事。それが当会として最も大切に考えている点である。その実現が可能な演目として「羽衣」を提案したい。
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>■事前ワークショップ「能を体験しよう！」において</p> <p>①能の謡(うたい)と構え(姿勢)、運び(摺り足)を体験(全員)。実技指導を行う。</p> <p>②鑑賞演目「羽衣」の一部を能楽師とともに演じてみる。</p> <p>※鑑賞演目「羽衣」より、天人(主役・シテ)の立居・動作から能独特の「美しい」動作をテーマに体験。実技指導を行い、能楽師と共演。</p> <p>a.天人の「羽衣(長絹)」を着て、「美しく」立ち、「美しく」動いてみよう。(代表生徒) →児童や生徒の身体のサイズに合う羽衣(長絹)を制作。動きやすくりアルに体験できる。</p> <p>b.天人のように「美しく」泣く動作をしてみよう。(生徒全員)</p> <p>c.天人のように「美しく」宝を降らす動作をしてみよう。(代表生徒) →「宝を降らす動作」とは扇をたてにゆっくりと仰ぐ動作のみ。最低限の所作でありながらも「美しく」行うだけで、鑑賞者の想像を促す能の魅力を体験。鑑賞者である生徒にも、想像力を働かせて「見えないものを見て」観ることの、楽しさ、素晴らしさを伝える。</p> <p>③能面を付けてみる。</p> <p>※能の特徴の一つである能面を付けた時の視野の狭さを体験(全員)。 ※実際に本物の能面をかけて摺り足を体験してもらう(代表生徒)。</p> <p>④能の楽器(笛、小鼓、大鼓、太鼓)を体験してもらう(代表生徒)。</p> <p>■公演当日でのワークショップ「狂言を体験しよう！」において</p> <ul style="list-style-type: none"> 狂言独自の発声を体験。「犬や猿や鳶など動物の鳴真似」(鑑賞演目「柿山伏」より)や「泣き」「笑い」「擬音」など(全員)。 狂言の構え(姿勢)と運び(摺り足)としぐさを体験(代表生徒)。
<p>出演者</p>	<p>《出演者》:(公社)能楽協会会員の能楽師(シテ方・ワキ方・囃子方・狂言方)</p> <p>■事前講座「能」ワークショップ及び公演当日の解説</p> <p>【シテ方】(観世流) 小島英明(重要無形文化財総合指定保持者)</p> <p>■本公演当日の「狂言」ワークショップ及び狂言「柿山伏」の出演予定者 《狂言方3名》</p> <p>【狂言方】(大蔵流) 善竹富太郎、善竹大二郎、大蔵教義、榎本 元、宮本 昇 他。 (和泉流) 深田博治、高野和憲、岡 聡史、内藤 連、中村修一、能村晶人 他。 《出演者の都合により上記より、計3名》</p> <p>■能「羽衣」の出演予定者 《シテ方9名・ワキ方2名・囃子方4名 計15名》</p> <p>【シテ方】(観世流) 小島英明、観世喜正、津村禮次郎、中所宜夫、遠藤和久、奥川恒治、遠藤喜久、鈴木啓吾、永島 充、佐久間二郎、長山耕三、坂真太郎、桑田貴志、野村昌司、北浪貴裕、山中迺晶、馬野正基、長山桂三、谷本健吾、他 《出演者の都合により上記より、計9名》</p> <p>【ワキ方】(下掛宝生流) 森 常好、殿田謙吉、宝生欣哉、梅村昌功、大日方寛、則久英志、館田善博、野口能弘、野口琢弘、森 常太郎 他 《出演者の都合により上記より、計2名》</p> <p>【囃子方】(笛方) 松田弘之、寺井宏明、一噌隆之、八反田智子、栗林祐輔、小野寺竜一、藤田貴寛 他 (小鼓方) 観世新九郎、飯田清一、幸 正昭、鶴澤洋太郎、田邊恭資、飯富孔明 他 (大鼓方) 安福光雄、柿原弘和、柿原光博、亀井広忠、原岡一之、佃良太郎、大倉慶乃助 他 (太鼓方) 桜井 均、吉谷 潔、梶谷英樹、小寺真佐人、大川典良、林雄一郎他</p>

出 演 者	<p style="text-align: right;">《出演者の都合により上記より、計 4 名》</p> <p>《スタッフ》</p> <p>■ 舞台設営スタッフ 旅川雅治、鈴木裕子、篠原浩明 他</p> <p style="text-align: right;">《都合により上記より、計 2 名》</p> <p>■ 出演者補助・調整・連絡:小島美樹(※能楽についての専門知識を有する) 《1名》</p> <p>■ 企画・監修:吉藤美紀(伝統文化コーディネーター・※資格及び専門的知識を有する)</p> <p>■ 運搬車ドライバー※人件費は運搬費に含まれる。 《1名》</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p style="text-align: center;">出 演 者: 18名</p> <p style="text-align: center;">ス タ ッ フ: 4名</p> <p style="text-align: center;">合 計: 22名</p>	機 材 等 運搬方法	<p>積載量 1.25 t</p> <p>車 長 4.965m</p> <p>台 数 1台</p>

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	<p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(40分程度)</p> <table border="1" data-bbox="389 573 1430 689"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11時</td> <td>11時～13時</td> <td>13時～ 14時40分</td> <td>10分</td> <td>14時40分～ 15時20分</td> <td>15時30分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。</p>						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	11時	11時～13時	13時～ 14時40分	10分	14時40分～ 15時20分	15時30分
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
11時	11時～13時	13時～ 14時40分	10分	14時40分～ 15時20分	15時30分													
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	過去の数字では15名～850名 ※体育館の広さによる。																
	本公演	過去の数字では15名～850名 ※体育館の広さによる。地域のホールを借りて、市内の学校の共同開催で1000人強の人数で開催したこともあり。それでも舞台設営は可能。																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	<p>■【事前ワークショップ】 テーマ「能を体験・共演しよう！」《所要90分～100分》</p> <p>※参考映像などを観ながらオリジナルまんが付テキストに沿って解りやすく。</p> <p>①ご挨拶 《挨拶の大切さについて理解を促す》</p> <p>②「能」とは？《能の基礎的なお話》※解りやすいテキストや映像を用いて解説。 ※簡単な歴史、能楽師の構成と役割、能と狂言の違いについて</p> <p>③能の楽器(四拍子:笛・太鼓・大鼓・小鼓について)※演奏しているようすを映像で紹介。</p> <p>④能の謡(うたい)を体験(全員)。 ※謡:鑑賞演目「羽衣」より。まっすぐに大きな声を出す「謡」の発声の方法を学ぶ。 ※この曲のテーマとなる最も重要なセリフ・「いや疑いは人間にあり天に偽りなきものを」謡って、曲の主題を理解する。</p> <p>⑤能を演じてみよう《鑑賞演目「羽衣」について理解を深める》 ※鑑賞演目「羽衣」より、天人(主役・シテ)の立居・動作から能独特の「美しい」動作をテーマに体験。実技指導を行い、能楽師と共演。また、「見えないもの」を想像して鑑賞する事を促し、その楽しさ、素晴らしさを伝える。 ・天人の「羽衣」を着て、「美しく」立ち、「美しく」動いてみよう。(代表生徒) ・天人のように「美しく」泣く動作をしてみよう。(生徒全員) ・天人のように「美しく」宝を降らす動作をしてみよう。(生徒全員)</p> <p>⑥能面を付けてみよう ※能の特徴の一つである能面を付けた時の非常に狭い視野を体験(全員)。また実際に能面をかけて摺り足を体験してもらおう(代表生徒)。 ※その角度によって異なった表情を見せる能面の不思議な魅力を紹介。</p> <p>⑦能の楽器(笛・太鼓・小鼓・大鼓)を演奏してみよう(代表生徒)。 ※和楽器の持つ特性を体験。</p> <p>⑧質疑応答</p> <p>⑨ご挨拶</p>																	
																		

	<p>能面を着けてみよう 能面に触れてみる 能の楽器（四拍子）を体験</p> <p>■【公演当日でのワークショップ】 テーマ「狂言を体験・共演しよう！」《所要20分》 ※オリジナルテキストに沿って解りやすく。</p> <p>①ご挨拶 ②「狂言」とは？《狂言の基礎的なお話》 ③狂言独自の発声を体験。犬や猿や鳶などの動物の「鳴真似」「擬音」など（全員で共演。） ※鑑賞演目「柿山伏」より 「山伏は（劇中）に何個柿を食べますか」と事前にクイズ（当日プログラムにもあるクイズ）を出し公演後その答え合わせをして、柿をもぐしぐさを皆で再現（写真）。 ④狂言の構え（姿勢）と運び（摺り足）としぐさを体験。（代表生徒共演）。 ⑤ご挨拶 ※「質疑応答」は公演後に行うものとする。</p>  <p>狂言の動き(茸の動き)を体験</p>  <p>柿をもらって食べてみる。「柿山伏」より</p>
<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>《実施形態の意図》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「能楽」は「能」と「狂言」という2つの演劇の総称であり、対照的な2つの芸能を一度の機会に鑑賞する事は、理解を深める上で大切であると考え、当日の公演はもちろんワークショップも「能」と「狂言」の両方を取組みたいと考えた。 ・「ワークショップ」の主たる目的を、多くの生徒が「触れた事がない」「難しそう」と思っているであろう「能楽の世界」に対する興味を高める事とした。「講師から生徒」という一方向の内容ではなく、生徒も身体を使って能楽を「体感」でき、参加できる構成とし、何かしら「気づいてもらうこと」を大切にしたいと考える。 <p>例えば能面を間近にみて触れ、その表情の豊かさに驚き、日本の伝統工芸の奥深さ美しさ技術の高さに気づく。「歴史」という時間の重さを実感し、能面を着けて初めてその視野の狭さを知る。能面を着けた視野で縦横無尽に舞う公演時の役者の姿に何かを感じる。楽器（四拍子）を体験してもなかなか音がでない。よって公演で奏でられる美しい音色を聴きその価値に気づく。それが、何よりも大事にしたい点だ。ワークショップによる体験から実感し、知ることによって、興味と集中力をもつて公演を鑑賞でき、舞台の印象を深め、この事業をより効果的なものにするに確信している。その実現に努力を重ねていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テキストをワークショップの流れを導く重要なツールとして最大限に活用したい。デザインも含め、図解を使った「解りやすいテキスト」を使用することで更に関心を高め、理解を深めることを促す事ができると考える。能楽を通じて日本の言葉、日本の歴史、日本の伝説、日本の美術、日本の音楽等、様々な角度から興味をもってもらい、その後の学習意欲の向上につなげられればと考えている。ストーリー紹介にはマンガをオリジナルで作成し導入。また、当初は小学校でも中学校でも同じテキストを使用していたが、小学生に合わせた内容は、中学生には物足りない内容であることを考慮し、小学生用、中学生用で内容の難易度を変え、適正を考えてそれぞれ作成する事とした。今までの当会が重ねてきた経験をもとに更に推敲を重ねたい(平成29年度で第5版となる)。 <p>※具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「能楽の基礎的なお話」の内容は、「能」・「狂言」とも実は生徒が興味をもちやすい話材であり、話し手の巧みな表現や解りやすい構成のテキストを使用することで更に関心を高め、理解を深めることを促す事ができると考える。 ・「能の楽器」については、解説は「映像」を利用。映像の方が楽器の細部が鮮明に映し出され、構造が明確になる。後方の座席の子でもはっきりと見ることが出来る。本物の四拍子（笛・小鼓・大鼓・太鼓）も見てもらい、代表生徒による演奏体験も実施。 ・「能の謡」や「狂言の発声」を体験する事については、声を出す事は、楽器より生徒それ

	<p>ぞれ自分なりの表現がしやすいと考えた。大きな声を出す事の恥ずかしさも乗り越えて欲しい。「謡(うたい)」の抑揚は少し難しいかもしれないが、日頃習う「音楽」の旋律とは異なる和音(日本の音楽が持つ独特な旋律)の響きの美しさや特徴を楽しむ事を伝えたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「能や狂言の構えと姿勢」を体験し、日頃使わない筋肉を使い意識して動くことによって、芸能の奥深さを感じる瞬間を経験して欲しい。 ・上演する演目「羽衣」の「謡」や「所作」を体験、その一部を演じる事は、公演を鑑賞する際の生徒の集中力を高める事につながる。<u>日本文化が大切にしている、心も立居姿も「美しくあること」を体感して「日本の持つ伝統の力や魅力」を何かしら感じ取ってほしい。</u> ・「上演する演目の一部を能楽師と共演し再現する」という内容は、ワークショップの内容を検討する時に最も細心した。舞台上で共演することは、児童・生徒の方からも少なからず能楽師とコミュニケーションを取る努力をしてもらわないといけない。その緊張感や互いの息づかい、相手に合わせる思いやりなど多くの事を感じ取ってもらえると考えている。 ・生徒・児童の代表者が能楽師と共演する様を大多数の生徒・児童が鑑賞することとなる。自らと同じ学校の生徒・児童が舞台上で演じることで、「能楽」を身近に感じてもらうとともに、想像力を働かせて「見えないものを見て」能・狂言を観ることの、楽しさ、素晴らしさを解説し伝えるよい機会としたい。 ・<u>始終の挨拶や、鑑賞のマナーに言及する事で、いにしえより、相手への思いやりの心や礼節を重んじてきた「日本の心」をあらためて意識して欲しいと考えている。</u>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使用するテキスト作成時に留意した点として、文字を通常より大きく、見やすくし、全ての文字にフリガナをつけた。 ・事前にテキスト原稿を担当教員に送付し、点字のテキストを作成してもらった。 ・手話同時通訳をしてもらった。 ・保護者の方々にもワークショップに共に参加してもらい、帰宅後もワークショップで体験した事について感想を聞くなど子どもたちに改めて話をしてもらうよう協力をお願いした。
<p>実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

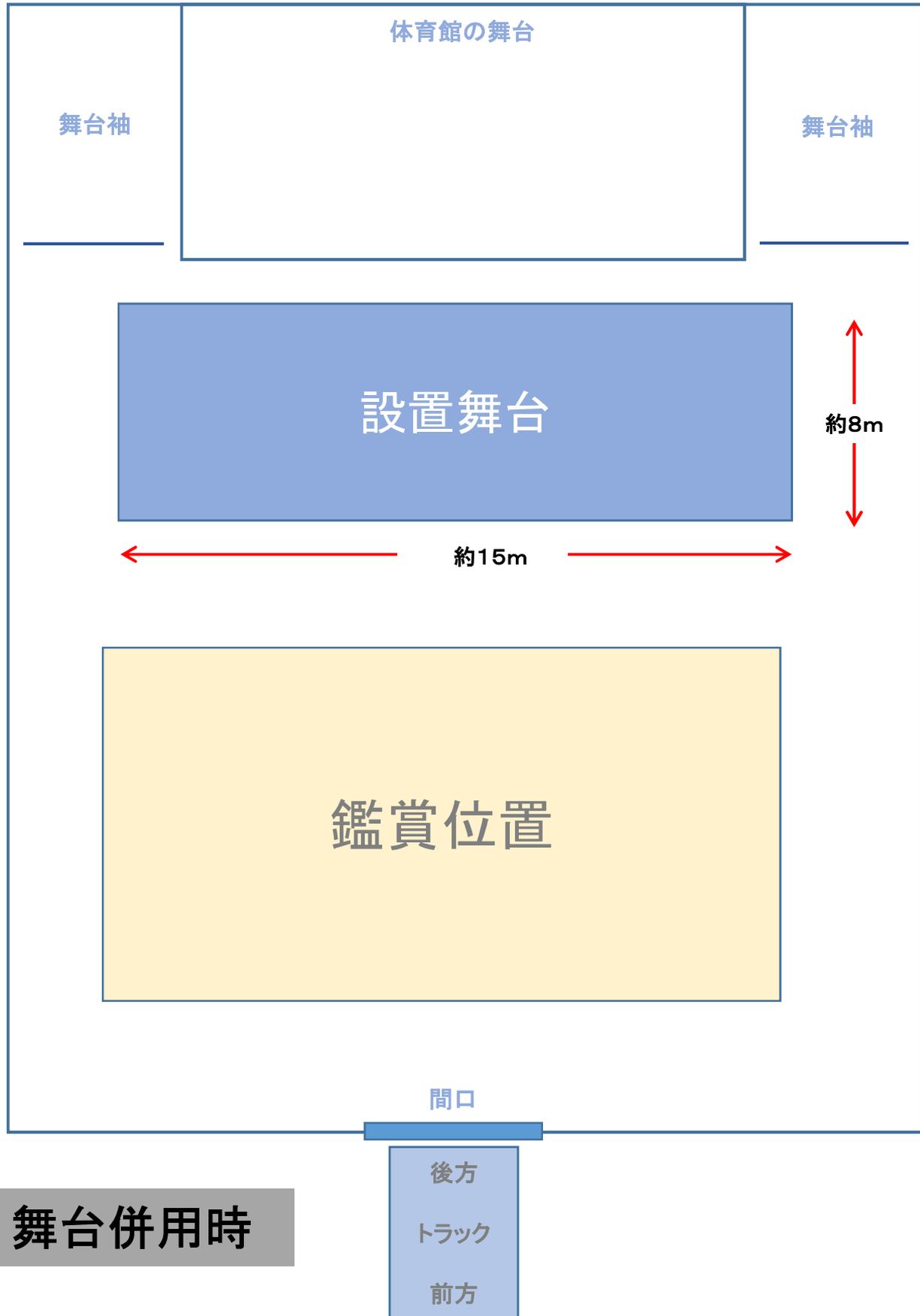
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E60	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	阜風会			制作団体名	阜風会				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	1室	条件	特になし							
搬入について	不可	来校する車両の大きさ*と台数 *			バン	1台	中型バス	1台				
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			約470scm × 約170cm × 約230cm							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			可能であれば							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない							
	可	搬入経路の最低条件			特になし							
		理由										
	—	設置階の制限 *			問わない							
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	特になし		高さ	特になし					
WSについて	可	参加可能人数			何人でも可							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			2コマ、90分程度							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			4時間30分							
	可	鑑賞可能人数			舞台設置後、会場に収容できる人数(必要であれば、フロアではなくステージに舞台を設置することも可能)							
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	約15m	奥行	約8m	高さ	約3m				
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			下手側				
	可				舞台袖スペースの条件 *			なるべく広く(可能な範囲で可)				
	可				緞帳 *	不要		バトン *	不要(あれば使用する場合もある)			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由						
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動 *			不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。					
	可		ピアノの事前調律 *									
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *			特に問題なし						
	可	公演に必要な電源容量			不使用		※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項											
可	《公演》長テーブル2本、椅子2客がもしあれば楽屋に必要											
可	《ワークショップ》長テーブル2本がもしあればステージに必要											
—	舞台設置、会場設営の大まかな図面を作成、過去の舞台写真とともに資料として、学校側に提示します。											

会場図面(表記単位:メートル)



舞台併用時

搬入間口について	幅	特になし	高さ	特になし
搬入車両の横づけの要否		可能な限り・できなくてもよい		
横づけができない場合の搬入可能距離		特になし(応相談)		

やまぶしとごみ。きょうげん「かきやまぶし」。
山伏飛ぶ。狂言「柿山伏」。



天人舞う。能「羽衣」。
てんにんまう。のう「はごろも」。

体育館に
能舞台が
出現!

【ワークショップと公演】

能楽を鑑賞
してみよう。

小学生・中学生を対象に、「本物の舞台芸術」を身近に
触れる機会を提供し、子どもたちの豊かな発想力
やコミュニケーション能力を育成するための事業です。
開催校を巡回し、能楽ワークショップと能・狂言公演
を一日間にわたって行います。



●平成 31 年度 文化芸術による子供の育成事業●

主催 文化庁 / 制作・実演団体 皐風会 (こうふうかい)

●平成 31 年度 文化芸術による子供の育成事業●

能楽を鑑賞してみよう

【能楽ワークショップと能・狂言公演】

能と狂言は 600 年以上前から続く、世界に誇る日本の大切な伝統芸能です。

2001 年、日本で初めて「世界無形文化遺産」に認定されました。

だからこそ、子どもたちに近くで体感して欲しい、日本の「素敵」や「カッコいい」を。

能楽を、聴いて、謡って、触って、観る。そして、

子どもたちの心に「日本文化」の種をまき、残したい。それが私たちの願いです。



ワークショップや公演で使用するテキストに登場し、子どもたちを能楽の世界へナビゲートするキャラクター「ニャンあみ」です。

●ワークショップのプログラム●

《公演前に能楽師が学校に伺い、事前の講座を行います。》

- ①「能」とは? 《能の基礎的なお話》
- ②能の楽器（四拍子：笛・小鼓・大鼓・太鼓）について
- ③能「羽衣」の謡（うたい）を体験しよう
- ④「羽衣」を着けて、能を演じてみよう
- ⑤能面を付けてみよう
- ⑥能の楽器（笛・小鼓・大鼓・太鼓）を演奏してみよう



ワークショップでも解りやすいテキストをお配りします。



能面に触れてみる



能の楽器（四拍子）を体験

●能・狂言本公演のプログラム●

《学校の体育館に簡易能舞台を再現します。

設置・撤収は約 30～40 分程ですので、授業に影響しません。》

- ①見どころ解説
- ②狂言「柿山伏（かきやまぶし）」の上演
- ③能「羽衣（はごろも）」の上演
- ④狂言のワークショップ「狂言を体験しよう」
- ⑤アフタートーク及び質問コーナー



当日プログラム



能「羽衣」



狂言「柿山伏」

●主催：文化庁 / 制作・実演団体：皐風会（こうふうかい）●

申請及び詳しい事は、まずは、各市町村の教育委員会にお問合せ下さい。

【文化芸術による子供の育成事業ホームページ】 <http://www.kodomogeijutsu.com/>



〒164-0003
東京都中野区東中野 4-30-18 リビオ東中野地下 1 階
小島能舞台内
TEL/FAX 03-6383-2262
Email: koufukukai@office.email.ne.jp
URL: <http://www.koufukukai.net>

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

- | | |
|--------|----------------------------|
| 【音 楽】 | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | 児童劇, 演劇, ミュージカル |
| 【舞 踊】 | バレエ, 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, ○邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

○A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

○あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 ○(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいいしゃ あーと・めでいあ・おふいす ----- 株式会社アート・メディア・オフィス		
代表者職・氏名	代表取締役 下田文之		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 6-4-13-201 (小田急線成城駅下車バス3分 東京都市大学附属小学校前より徒歩5分)		
電話番号	03-6411-8113	F A X 番号	045-461-9485
ふりがな 公演団体名	ほうがくぐるーふたまたばこ ----- 邦楽グループ「玉手箱」		
代表者職・氏名	代表 清野さおり		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒266-0034 千葉県緑区おゆみ野有吉 6-11 (京成線学園前駅徒歩10分)		
制作団体 設立年月	平成元年 4月		
制作団体 組織	役 職 員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 下田文之 取締役 三木栄光 取締役 下田麻琴 監査役 下田悦夫		オペラ歌手約30名 楽器奏者約20名 スタッフ約10名 マネージメント 演奏団体11団体。邦楽グループ「玉手箱」は、国際的な活躍で知ら れた現代邦楽奏者の故高田和子氏が東京芸術大学出身の若手を 集め平成14年より当社にて学校公演を実施。
事務体制の担当	○専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	長嶺尋深
経理処理等の 監査担当の有無	○有 ・ 無	経理責任者名	長嶺尋深

制作団体沿革	<p>平成元年株式会社設立。同時に劇団ミュージカルプラザ設立。平成4年コンサート部門として東京こども音楽館設立。</p> <p>年間約100～130校の学校芸術鑑賞会を実施。</p> <p>特色としては、専門的教育機関を修了した演奏者をキャスティングし、クラシック音楽を基礎とした音楽性の高い、児童・青少年向けのオペラ・ミュージカル・コンサートを制作し、各ジャンルの演奏団体の子ども向けコンサートのマネージメントも多数手がけている。</p>		
学校等における公演実績	<p>全国の小・中学校・高校の芸術鑑賞教室、教育委員会・会館ホールの自主事業など多数。</p> <p>米沢市教育委員会、高山市教育委員会、富山県新湊市文化振興財団、福井県文化振興財団などの主催で、小中学生を対象に実施。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>文化庁巡回事業において、各地の特別支援学校にて公演実施。</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>○有 ・ 無</p> <p>○有 ・ 無</p> <p>DVDを提出します。</p> <p>ID: PW:</p>
	Aの提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 邦楽グループ「玉手箱」】

対象	○小学生(○低学年・○中学年・○高学年) ・ ○中学生		
企画名	魅惑の和楽器体験「邦楽入門コンサート」		
本公演演目	「日本の音をもとめて」～古典から現代への伝統		
原作/作曲	1.六段調		
脚本	2.鹿の遠音		
演出/振付	3.琵琶		
	4.春の海		
	5.雪ものがたり～朗読入り～ ※または「海鳴り」		
	6.バロック風「日本の四季より」※または「ワールド・トリップ！」		
	7.合同演奏さくら～みんなで合奏してみよう		
	公演時間(90分)		
著作権	制作団体が所有	○ 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>1.「六段調」は江戸時代の箏曲の祖、八橋検校の曲です。箏・三味線・尺八の合奏で三曲合奏と呼ばれています。</p> <p>2.「鹿の遠音」は古くから伝わる尺八本曲の名曲です。秋の山に鳴き交わす、二頭の鹿の様子を描写したものです。</p> <p>3.琵琶の独奏は「平家物語」で有名な祇園精舎の弾き語りです。</p> <p>4.「春の海」は近代箏曲家で十七絃考案者の宮城道雄の作曲です。お正月に必ず流れてくる曲です。</p> <p>5.「雪ものがたり」は現代作曲家の沢井忠夫の曲で、女優岸田今日子が脚色した朗読が入る音楽物語です。 ※または「海鳴り」は石井由希子作曲で、三絃と十七絃の二重奏です。</p> <p>6. バロック風「日本の四季より」～早川正昭作曲 季節の曲を選択して演奏します。 ※または「ワールド・トリップ！」は世界各地の有名な民謡等を演奏します。</p>		
演目選択理由	<p>1.「六段調」2.「鹿の遠音」3.「琵琶」4.「春の海」は音楽の教科書にも載っている大変有名な曲です。実際に生演奏で聞くことにより、和楽器を身近なものとして感じて頂きます。5.「雪ものがたり」は、和楽器の合奏の響きと、美しい日本語との調和を楽しんで頂きたいと思います。または「海鳴り」は、穏やかな海・荒々しい海、始終変化する海鳴りを高音の三絃と低音の十七絃で表現しています</p> <p>6. バロック風「日本の四季より」は子供が知っている日本の歌をヒントに、ヴィヴァルディ・バッハなどの大作曲家の作品をパロディにした部分もあり、楽しく作曲されていて、バロック音楽を聞いたことがない人でも、親しみやすいメロディで自然に楽しめる、流動感ある曲です。または「ワールド・トリップ！」はどこかで聞いた事のある有名な曲で世界各地を巡ります。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>児童・生徒演奏体験用の楽器を当方で持ち込みます。ワークショップ時に欠席等で参加できなかった児童生徒さんにも、可能な限り楽器体験の時間を設けます。体育館ステージまたはフロアに舞台と客席という空間を創り鑑賞して頂きます。一曲ごとに解説やお話しを入れることで、曲にも親しみやすく演奏者を身近に感じて頂けると思います。公演前には、事前に決定した代表児童生徒さんのステージ練習を行います。本番で出演者と一緒に演奏するための流れ等を確認します。</p>		
出演者	<p>清野 さおり(箏・三絃・十七絃) 清野 樹盟(尺八) 田中奈央一(箏・三絃・十七絃)</p> <p>長須 与佳(琵琶・尺八) 谷井琴子(箏・三絃) 小間夕起子(箏・三絃・十七絃)</p> <p>山本啓代(箏・三絃・十七絃) 馬場千年(箏) 清野香菜子(箏)</p> <p>※東京芸術大学音楽学部邦楽科卒中心のメンバー</p>		

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 5名 スタッフ: 3~4名 合計: 8~9名	機材等 運搬方法	積載量 2t 車長 6m 台数 2台
----------------------	-----------------------------------	-------------	--------------------------

【公演団体名邦楽グループ「玉手箱」】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。						
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・○無) 会場設営の所要時間(2時間程度)						
	到着	仕込み	代表児童生徒との合わせ	本公演(午前希望の場合)	内休憩	撤去	退出
	8時	8時~10時	10時~10時20分	10時40分~12時10分	10分	1時20分頃迄	1時30分
	到着	仕込み	代表児童生徒との合わせ	本公演(午後希望の場合)	内休憩	撤去	退出
11時	11時~1時	1時~1時20分	1時40分~3時10分	10分	4時10分頃迄	4時30分	
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	1学年程度(小規模校の場合は全校生の対応可能)					
	本公演	全校生(小規模校~1000人規模まで対応可能)					
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>① ワークショップでは、箏20面・三絃10丁・尺八20管・その他備品(琴爪・三絃用バチ・譜面台など)を持ち込みます。参加児童生徒さん全員が3種類の楽器全て体験することができます。</p> <p>② ワークショップ用の教材資料・楽譜・準備物が記載された資料を、実施1カ月前程度に学校に送付致します。当日、参加児童生徒さんに配布をお願い致します。(事前指導は必要ありません)</p> <p>③ 児童生徒さんの箏爪のサイズ合わせ時や移動時には、スムーズに指導ができるよう先生方にもお手伝いをお願い致します。</p> <p>④ ワークショップ後に、本公演での「さくら演奏」の参加希望者を10人決定します。(児童数の多い学校で、希望の多い場合は「さくら演奏」2回実施可)</p> <p>⑤ ワークショップ参加希望の人数が多数の場合は、可能な限り対応できるように指導者を増員して実施致します。</p>						
ワークショップ 実施形態の意図	<p>児童生徒さん体験用の楽器(箏・三絃・尺八)を持ち込みます。</p> <p>初めて和楽器に触れ、楽譜を見る児童生徒さんが多いと思います。</p> <p>ワークショップで学習することにより、気持ちを合わせる大切さや合奏することの喜び、そして日本の楽器の音色や奥深さを感じて頂きたいと思います。</p>						
特別支援学校での 実施における 工夫点	<p>内容的には、ほぼ変更なく予定しておりますが、児童・生徒さん一人一人に合わせ、体験出来る方法を変えて実施しています。正座・椅子・車椅子・マットの上(寝たまま)等、学校からのご要望がありましたら、一緒に歌えるような馴染みのある曲目等も取り入れ公演時間の調整などにも応じます。</p>						
実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>						

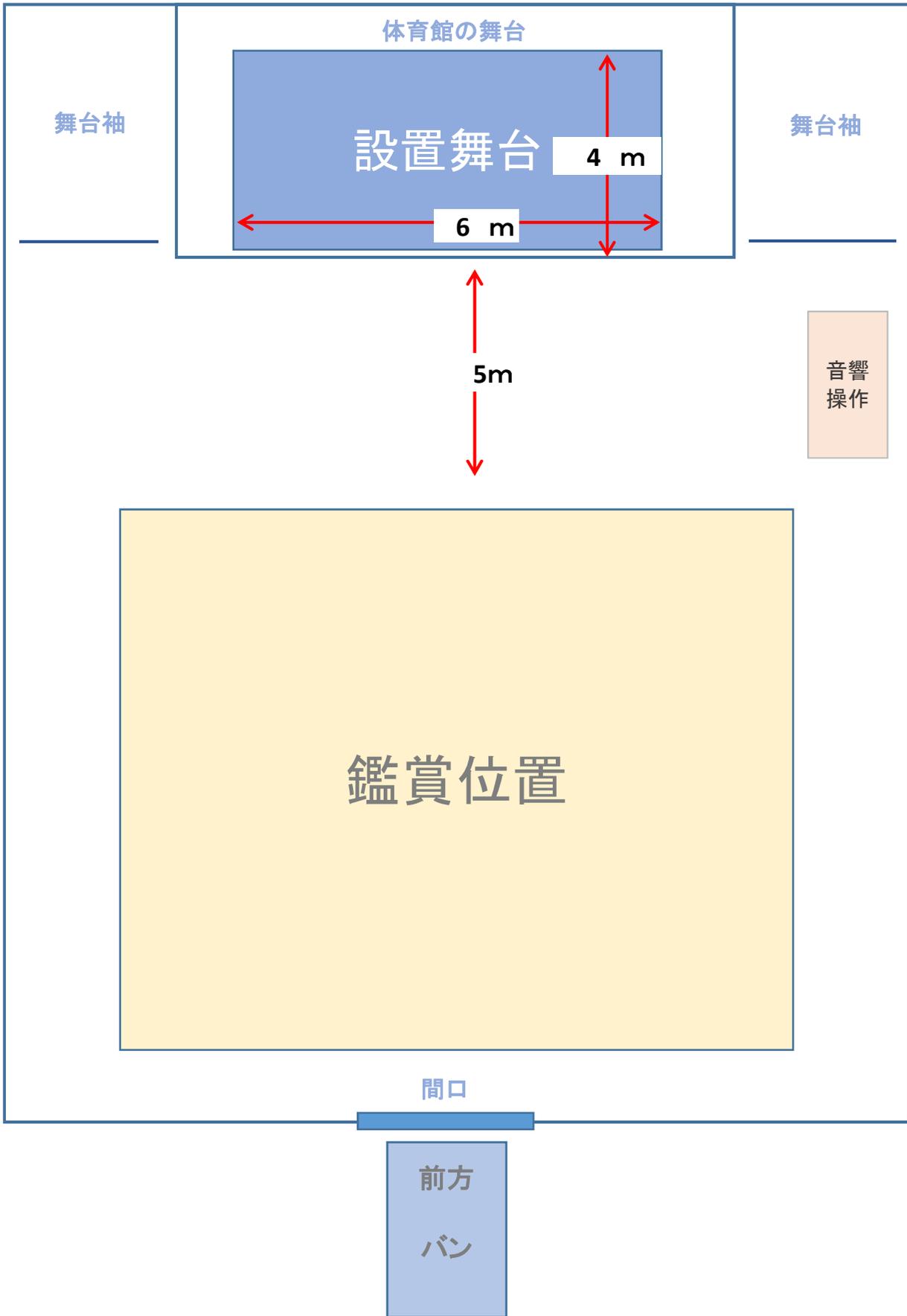
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E61	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	邦楽グループ「玉手箱」				制作団体名	株式会社アート・メディア・オフィス			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	1室	条件	体育館のステージ両サイドと別に、着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です					
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	2台	乗用車	1台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン2台					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	可	搬入経路の最低条件			できる限り階段のない経路で屋根があると望ましい					
		理由			楽器搬入のため					
	可	設置階の制限 *			問わない					
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m			
WSIについて	可	参加可能人数			相談に応じる					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			全員体験型のため相談に応じる					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			問わない					
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	6m	奥行	4m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
	可				舞台袖スペースの条件 *			袖になるべく荷物が無い状態		
	可				緞帳 *	不要	バトン *	不要		
	可				遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	可			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			指定なし		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項									
	可	・ステージ上の掃除を事前をお願い致します								
可	・ピアノの位置はステージ隅であれば問題ありません									

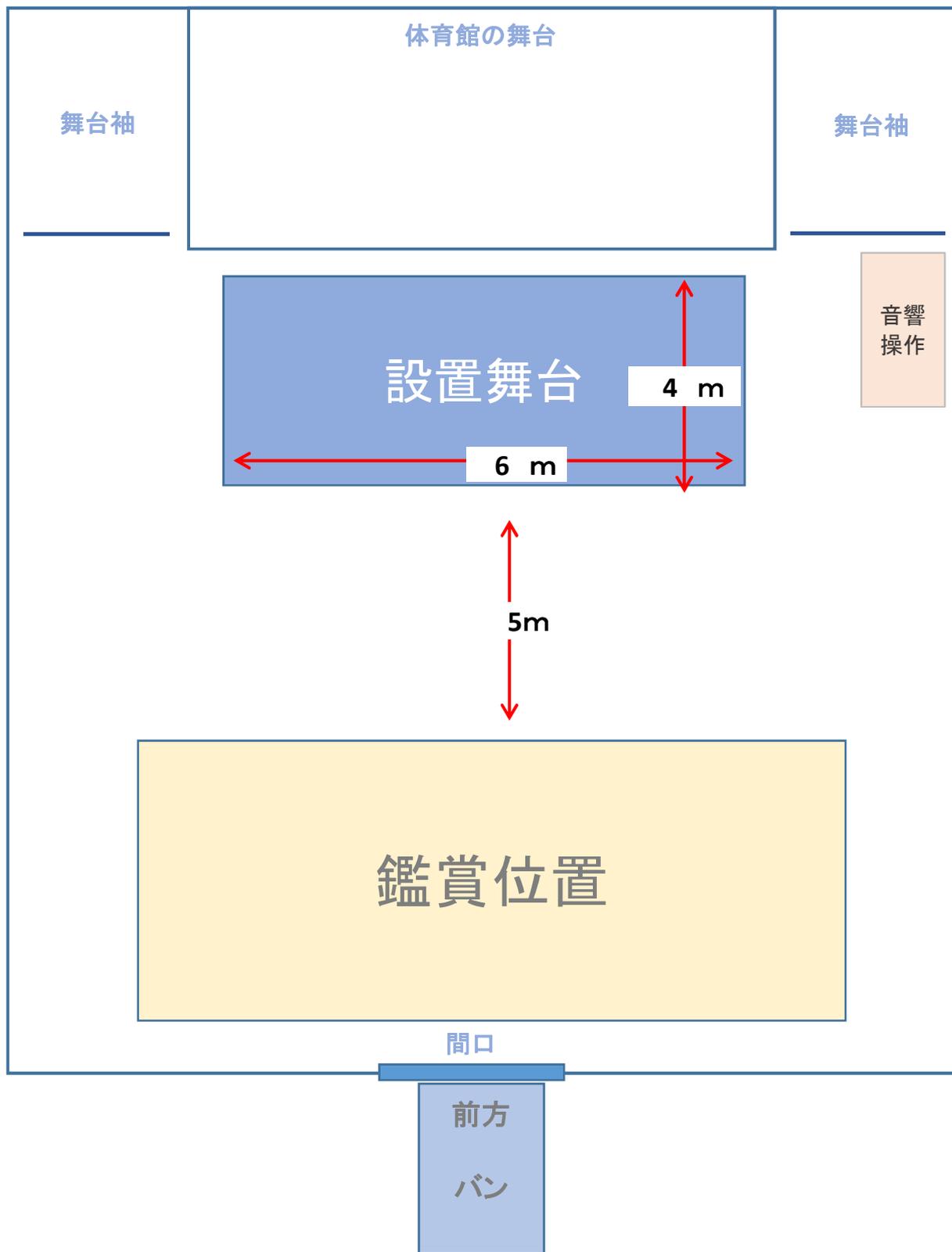
会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		相談に応じる		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	相談に応じる			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

■公演日程■

実施日程	実施校名	地元主催者
2018年7月2日(月)	綾川町立昭和小学校	香川県・香川県教育委員会・綾川町教育委員会
2018年7月3日(火)	佐那河内村立佐那河内小学校	徳島県教育委員会・佐那河内村教育委員会
2018年7月4日(水)	加東市立三草小学校	兵庫県教育委員会・加東市教育委員会
2018年7月6日(金)	神戸市立長田小学校	神戸市教育委員会
2018年7月9日(月)	篠山小中学校組合立篠山小中学校	愛媛県・愛媛県教育委員会・篠山小中学校組合教育委員会
2018年7月10日(火)	愛南町立城辺小学校	愛媛県・愛媛県教育委員会・愛南町・愛南町教育委員会
2018年7月11日(水)	西条市立水見小学校	愛媛県・愛媛県教育委員会・西条市教育委員会
2018年7月12日(木)	今治市立桜井小学校	愛媛県・愛媛県教育委員会・今治市・今治市教育委員会
2018年7月13日(金)	松山市立生石小学校	愛媛県・愛媛県教育委員会・松山市教育委員会

■団体紹介■**だんたいしょうかい** **ばんがく** **たまてばこ**
演奏団体 **邦楽グループ「玉手箱」**

国際的な活躍で知られた邦楽奏者高田和子氏が、東京芸術大学出身者の優秀な若手演奏家を集めて従来の邦楽界の枠を超えて、新しい日本の邦楽を世界に、そして日本の若い人たちに広めようと結成されました。かたくるしいイメージのある邦楽に、もっと気軽に親しんでもらいたいと、学校でのワークショップや音楽鑑賞会にも取り組んできました。

●演奏者紹介●**えんそうしやしょうかい**

清野 さおり(三味線、箏) 東京芸術大学卒業。NHK邦楽技能者育成会修了。文化庁新進芸術家国内研修員。北海道三曲コンクール児童の部第一位。同コンクール新曲の部第一位。NHKオーディション合格。第4回長谷松校記念全国邦楽コンクール最優秀賞。NHK-Bテレ「古典芸能鑑賞会」FM「邦楽のひととき」多数出演。第25回若い芽のコンサート、ソリストとして千葉フィルハーモニーと共演。千葉県芸術家「アーツストムリエ」に選出。邦楽グループ「玉手箱」代表。平成14年より全国の小中学校、特別支援学校でワークショップと巡回公演実施。

長須 与佳(琵琶) 琴古流尺八を人間国宝山口五郎師に、薩摩琵琶を坂田美子師に師事。NHK邦楽技能者育成会修了。東京芸術大学卒業。第9回長谷松校記念全国邦楽コンクール最優秀賞、文部科学大臣賞受賞。小椋佳、石川さゆり公演に琵琶師として出演。2004年ロシアよりCDデビュー。

清野 樹盟(尺八) 1987年北海道三曲コンクール尺八の部第一位。96年東京芸術大学邦楽科卒業。在学中、琴古流尺八を人間国宝山口五郎師に師事。2002年カナダ、アメリカ、スペインにて演奏。2004年尺八独演会開催。現在、NHK文化センター尺八講師。吉幾三、香西おお公演に尺八奏者として出演。国立劇場「明日をにやう新進の舞踊・邦楽鑑賞会」に出演。

小間 夕起子(十七絃、箏) 東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業(専攻山田流箏曲)。NHK邦楽技能者育成会第42期修了。河東節三味線を故山彦さび子師に師事。「山彦夕起」の名を許される。第10回長谷松校記念全国邦楽コンクール優秀賞受賞。2003～2016年、朝日カルチャーセンター東京校 山田流箏曲講師。2010年より「小間夕起子 山田流箏曲コンサートシリーズ」を開始。現在までに6回のコンサートを行う。NHK-FM 放送・スカパーなどに出演。演奏会や舞台音楽制作、レセプション等で演奏活動を行う。

山本 啓代(三味線、箏) 山本邦山(尺八・人間国宝)二代山本雅楽邦(學曲)の長女として生まれ、幼少より母に學曲を師事。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。NHK邦楽技能者育成会修了。學曲家沢井忠夫氏に師事。韓国ソウル国音院アジアミュージック祭、日本ウクライナ芸術文化祭、アメリカ(カーネギーホール)日本の祭典などに出演。FM東京、NHK(ワはこ邦楽)、京都南座の市川猿之助公演「黒塚」に出演。CD「山本邦山尺八の魅力」録音。平和堂財団奨励賞受賞。正派邦楽会大師範(雅号・雅率)。

■制作団体■株式会社アートメディア・オフィス

知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です。~
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

平成30年度

ぶんか げいじゆつ こども いくせいじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-

ほうがく こうえん たまたまてばこ
＜邦楽公演＞ ほうがく 邦楽グループ「玉手箱」

みりよく わ がつき たいけん ほうがく にゅうもん
魅力の和楽器体験「邦楽入門コンサート」

にほん おと もと こてん げんだい だんとろ
「日本の音を求めて」 ~古典から現代への伝統~



ぶんかげいじゆつ こども いくせいじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



みりよく わがつき たいけん ほうがく にゆうもん

魅力の和楽器体験「邦楽入門コンサート」

プログラム

1. 六段調 (ろくだんのしらべ) 合奏●箏 三味線 尺八 (三曲合奏)

江戸時代の箏曲の祖、八橋検校の曲です。
箏と三味線と尺八の合奏で三曲合奏曲と呼ばれています。

2. 鹿の遠音 (しかのとおね) 独奏●尺八

ふるくから伝わる尺八本曲の名曲です。
秋の山に鳴き交わす二頭の鹿の様子を描写したものとされています。

3. 祇園精舎 (ぎおんしょうじゃ) 独奏●琵琶

「祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり」の琵琶の弾き語りで有名な「平家物語」の始まりの部分です。盲目の琵琶法師によって語りつがれてきました。

4. 春の海 (はるのうみ) 二重奏●箏 尺八

十七弦の考案者、宮城道雄の作曲です。お正月には必ず流れて来る曲です。

5. 雪ものがたり 合奏●箏 十七弦 尺八 朗読

現代作曲家沢井忠夫の邦楽の新しい曲です。岸田今日子の脚色で朗読がついています。うつくしい日本語と和楽器の響きが調和している音楽物語です。

6. さくら 児童生徒参加合奏●箏 十七弦 尺八 琵琶

日本古謡。江戸時代から伝わる曲に明治時代に歌詞が付けられました。
今もさまざまな音楽に取り入れられて、世界的に知られるようになりました。

7. 日本の四季 (にほんのしき) より 合奏●箏 十七弦 尺八 琵琶

夏「我は海の子」秋「村祭り」バロック風和楽器アンサンブル。
作曲は早川正昭。

■演奏のあいだに、楽器のいかせつ、体験コーナーがあります。

●和楽器のおはなし●

奈良時代のころ中国から伝わって、その後日本で独自に発達した古くから伝わる楽器を和楽器といいます。私たちは、普段は西洋音楽になれ親しんでいます。日本の伝統的な行事、お正月、お祭り、結婚式、などでは、必ず和楽器の音楽を聴くことができます。日本の自然と人々の生活から生まれた日本の楽器がどんな音をだすのか、どんな音楽を届けてくれるのか、見て、聴いて、触って、楽しみましょう。きっと、古いものから新しい発見があるでしょう。

●楽器のいかせつ●



●箏●(そう、または、こと)
箏は、弦をはじいてならず弦楽器です。絃は13本で、それぞれに「柱」を立てて指にはめた「爪」で弾きます。現代の合奏では、17本の絃のやや大きめで低音が出る「十七絃」も演奏されます。琴は、箏とは違い、七本の絃で「柱」もありません。



●三味線●(しゃみせん)
三味線は、三絃ともいい、バチで弦をはじいて弾く弦楽器です。胴体には猫や犬の皮がはってあり、音がよくびびくように作られています。やはり中国から沖縄をへて、織田信長のころに日本に伝わりました。持ち運びに便利なので、江戸時代には、たくさんの方が演奏して楽しみました。



●琵琶●(びわ)
楕円形の胴体に上の方が曲がった棹がつき、4本の弦をバチで弾く弦楽器です。ペルシャ(今のイラン)で生まれ、奈良時代に日本に伝わりました。奈良の正倉院には、インドの琵琶が保存されています。日本では「平家物語」を琵琶の伴奏で語る(うたう)「平曲」が有名です。



●尺八●(しゃくはち)
表に4つ、裏に1つの穴がある竹でできた管楽器です。昔の長さの単位で、竹の長さが1尺八寸(約55センチ)のところから「尺八」と名づけられました。リコーダーのように簡単に吹いて音をだすことはできませんが、正しい指導でコツをつかめば、和楽器の魅力に触れることができます。

平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目(いずれかに をつけて下さい。)

【音 楽】 合唱,オーケストラ等,音楽劇
 【演 劇】 児童劇,演劇,ミュージカル
 【舞 踊】 バレエ,現代舞踊
 【伝統芸能】 歌舞伎・能楽,人形浄瑠璃,邦楽,邦舞, 演芸

申請する区分に, を付してください。

A区分のみ・ A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に を付してください。)

 あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに を付してください。)

- (1)公演の実施時期が重複しても,複数の企画を実施可能
 (2)公演の実施時期が重複しなければ,複数の企画を実施可能
 (3)提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4)その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいしゃ ようごうしゃ ----- 株式会社 影向舎		
代表者職・氏名	代表取締役 小池岳士		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒243-0005 神奈川県 厚木市 松枝1丁目4番7号 (小田急線・本厚木駅より徒歩 10分)		
電 話 番 号	046-297-0255	F A X 番 号	046-297-0256
ふりがな 公演団体名	めばえよせ まるまるてい ----- めばえ寄席「 亭」 *〇〇は生徒さんの公募により決定。		
代表者職・氏名	代表取締役 小池岳士		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒243-0005 神奈川県 厚木市 松枝1丁目4番7号 (小田急線・本厚木駅より徒歩 10分)		
制 作 団 体 設 立 年 月	昭和60年 3月		
制 作 団 体 組 織	役 職 員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 小池岳士 取締役 小池将直 他	制作スタッフ:11名 舞台スタッフ:12名	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	吉川啓介
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	小池弘美

制作団体沿革	<p>(社是:「人と芸をつなぐ」 社訓:誠意・信念・正義)</p> <p>学校公演において全国一位の公演数を有する製作者集団。昭和60年の創立以来、日々社是、社訓を見つめ直し“初めて鑑賞する人にどのように芸の魅力を伝えるか”このテーマを33年間に亘り追究、実施を繰り返し、今後も追いつける。</p> <p>創立当初は落語、狂言の公演活動から始まり、その後お客様のニーズに応えるべく日本の芸能である講談、能、邦楽、また演劇、京劇、オーケストラなどジャンルを増やしてきた。どの芸能にしても単に出演者を右から左に動かすのではなく、企画制作から公演が終了するまでのトータルプランニングを行う。それぞれの舞台を充実させるため、社内では営業部・制作部・デザイン部・舞台部を機能的に編成。各部がひとつひとつの公演を成功させるべく、万全の状態でお客さんをバックアップする体制を整えている。</p> <p>現在では、年間公演数が600を超え、学校公演では業界随一の実績を更新し続けつつ、他に教育委員会、公文協、老人ホーム、TV、ラジオ、ホテル、国際交流基金や大使館主催などによる海外公演(平成27年6月・イタリアローマのパラディウム劇場に、影向舎の能舞台を輸出し、舞台設営・監督業務を兼ねて、狂言公演を実施)など多方面で公演活動を行っている。</p>		
学校等における公演実績	<p>平成23年度 = 220公演、平成24年度 = 240公演、平成25年度 = 240公演、平成26年度 = 250公演、平成27年度 = 250公演、平成28年度 = 250公演、平成29年度 = 250公演、平成30年度 = 250公演</p> <p>上記は弊社、学校公演の寄席(落語)鑑賞会の実績となります。</p> <p>寄席(落語)分野(学校公演)では、NO.1。業界随一の実績を誇ります。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>【めばえ寄席・公演実績】</p> <p>平成29年10月10日(火) 熊本県立天草支援学校にて公演。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
申請する演目のDVDまたはWEB公開資料		有 ・ 無	
公開資料有の場合 URL			
閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	
Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無	
	公開資料有の場合 URL		
	閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 めばえ寄席「亭」】

対象	小学生(<input type="checkbox"/> 低学年 ・ <input type="checkbox"/> 中学年 ・ <input type="checkbox"/> 高学年) ・ <input type="checkbox"/> 中学生
企画名	めばえ寄席「亭」 *〇〇は生徒さんの公募により決定。
<p>本公演演目</p> <p>原作 / 作曲</p> <p>脚 本</p> <p>演出 / 振付</p>	 <p style="text-align: center;">工夫と特徴</p> <p>Point! ① あなたの学校のオリジナル落語会!</p> <p>「めばえ寄席 〇〇亭」はみんなで作る落語会。 タイトル「〇〇」の中はみなさんからの公募によって決定します。</p> <p>Point! ② 劇場をみんなでつくろう!</p> <p>学校ごとにつくるオリジナルの寄席(劇場)。ワークショップで習った寄席文字でチラシを作成。作成したチラシはのぼりや看板と共に会場を彩り、雰囲気を盛り上げます。</p>  <p>Point! ③ 児童、生徒が裏方に!寄席の運営に参加</p> <p>当日は各担当に別れ、劇場を作り、運営をする色々な仕事をスタッフと一緒にいきます。 どんな班があるのでしょうか・・・</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 10px;"> <p>【前座班】 ※参加目安人数2名~4名</p> <p>前座さんがする仕事を体験</p> <p>※太鼓の演奏がある為、出来るだけ高学年でお願いします</p> <p>○ 一番太鼓を叩く《お客さん(児童、生徒)の体育館入場時》</p>  </div> <p>NEW! 【おはやし班】 ※参加目安人数3名~5名</p> <p>舞台を盛り上げる、お囃子演奏を体験</p> <p>○ 大喜利コーナーでプロと一緒に三味線、太鼓で囃子を演奏</p> 

【会場班】 ※参加目安人数2名~20名

寄席の客席を賑やかにする

○ 会場内の飾り付け(のぼり・幕の飾り付け、ポスター貼り)

○ 入場時のお客さん(児童、生徒)のお出迎えや、近隣の方のご来場の際の手作りチケットの"もぎり"や客席へのご案内

○ 開演前の諸注意のアナウンス



【舞台班】 ※参加目安人数2名~8名

ステージを作る裏方の仕事を体験

○ 高座の設営のお手伝い(のれん、めくり、座布団の設置)

○ 大喜利コーナーのセッティングのお手伝い



公演の前/後/休憩中

Point!

④ 展示・体験コーナーで公演時間外もお楽しみ

体育館に展示・体験コーナーを設けます。会場を賑やかに、雰囲気盛り上げながら、ワークショップで学んだことを楽しみ、体験しながら思い出してもらうことができます。

【寄席体験市】実際に体験して分かる、楽しさ、難しさ

手ぬぐい、扇子を用意します。見本のパネルを見ながらチャレンジ。

◎ミニ高座、落語体験ブース

誰でも体験できるよう、ミニ高座と手ぬぐい・扇子を設置。自由に高座に上がって、ワークショップで教わった落語の仕草にチャレンジ。仕草の見本として、噺家のお手本動画を再生いたします。また併設するパネルには数種類の代表的な仕草のイラストを展示。扇子を著に見立ててそばを食べたり、手ぬぐいを本に見立てて、本を読んだりしてみよう。若手落語家が立ち会いますので、仕草のアドバイスをいたします。



◎下座音楽ブース

下座音楽で仕様する楽器を用意します。自由に触れて、弾いて、叩いて、吹いてみてください。思ったよりも難しいことが分かります。

三味線3丁、太鼓3張、笛5本を用意します。



【寄席展示コーナー】普段見ることができない寄席の裏側・手ぬぐいの展示

◎寄席（新宿末広亭）の紹介写真展

現存するなかでは最も古い木造建築の寄席「新宿末広亭」。新宿末広亭ご協力のもと、めばえ寄席の為に撮りおろした写真を展示。その入り口から楽屋まで解説文を交えてご紹介します。通常見ることができない、舞台の裏側や楽屋を覗いてみよう。



◎噺家手ぬぐい展

落語家さんの手ぬぐいを展示。個人によって、様々な趣向（柄や絵）が凝らされていて観ているだけでも面白いものです。



Point!

⑤ 雰囲気たっぷりの本格的な寄席舞台を設営



子供達を見る気に、出演者をやる気にさせる、本格的な寄席舞台を体育館に設営。音響は落語用に特別チューニングされたマイク、スピーカ等を使用。また、持ち込みの照明で舞台を照らします。





⑤ 「めばえ寄席」プログラムの3つの要素

一. 【江戸落語と上方落語】

落語には江戸（東京）落語と上方（大阪）落語があります。言い回し、雰囲気など、特色が異なる落語を組み合わせることで、プログラムに変化を与え、楽しんでいただくことができます。

二. 【色物が2題】

子供達に人気の色物2題を構成。それぞれ違うタイプの演目で構成し、最後まで飽きずに鑑賞していただくことができます。

※色物とは寄席において落語と講談以外の芸を指します。寄席の看板で、落語、講談の演目は黒文字で書かれていたのに対して、それ以外は色文字（主として朱色）で書かれていたのが、この言葉の起源といわれています。

三. 【スピーディーなプログラム展開】

プログラムの一つ一つの時間を短く設定してありますので、内容が次から次へと変わっていき、最後まで飽きずに鑑賞することができます。

四. 【体験要素 ～大喜利コーナー～】

休憩の後に子供達に参加していただく余興を構成。「大喜利」方式の「こばなしグランプリ」ワークショップで作成のコツを伝授いたしますので、本公演までの間に作品を作り、お送りください。春風亭柳橋を委員長とした審査委員が5作品を選出いたします。エントリー（選出）されたお子さんは羽織を着て、落語家さながらに舞台上で作成をしたこばなしの発表をしてもらいます。



⑥ 経験や実施校からのご意見に基づく改善ポイント

我々影向舎は、寄席関係の青少年向け公演事業において業界No.1の実績を誇ります。年間250ステージを超える高等学校向けの「学校寄席」や、平成26年より述べ104回実施してきた小中学校対象の「めばえ寄席」で培ってきた経験や知識に基づき、実施校のご希望や状況に合わせて、1公演毎できる限りの改善に努め、プログラム内容を充実させてまいりました。平成31年度においては、実施校からのフィードバックシート（公演後アンケート結果）の内容と、現場での経験を加味し、下記4つのポイントの改善を行ってまいります。

① 体験・参加要素は割愛することができます。（事前アンケートの実施）

「めばえ寄席」はより効果的な芸術体験を目的に、様々な体験・参加要素を盛り込んでおりますが、学校毎の時間的余裕の有無や、鑑賞会への取り組みの温度差がありました。

そこで・・・ → それぞれの事情を考慮し、体験・参加要素は割愛することが可能です。ご希望を反映する為、事前に参加の有無についてのアンケートを実施いたします。

- ・ポスターやこばなしなどの事前の作成物や、本公演当日の班参加などは割愛可能です。
- ・本公演当日の展示・体験コーナーの観覧タイミングはいつでも可能です。その為、開演前の入場開始時間や、プログラム途中の休憩時間、終演後の時間は通常設定時間より長くすることが可能です。
- 逆に展示や体験などを全く行わずに割愛することも可能です。

② 各校に合わせた柔軟な番組構成をいたします。

ワークショップ・本公演共に、基本的な進行内容がありますが、人数が20名と500名の学校で舞台設定や参加人数などを全く同じ内容で行うと、無理が生じることが分かりました。

そこで・・・ → 実施校の希望を取り入れつつも、プログラムの趣旨を崩さずに柔軟な番組構成をいたします。

③ 小・中学校でアプローチを変えました。

参加いただく班の仕事内容について、小学生と中学生ではできることや、やっていて楽しく感じる内容が違うことが分かりました。

そこで・・・ → より意義の有る参加内容とする為、その経験を踏まえ、小・中学校でアプローチを変えました。

- 【会場班】小学生：にぎやかに大きな声でお出迎え など / 中学生：お客様の席への誘導 など
- 【舞台班】小学生：高座の座布団の配置 など / 中学生：より本格的なお手伝い

④ 公演までの道しるべ「手引書」を充実させていきます。

学校側で行う準備、打合せや公演までの段取りが事前に分かるようにして欲しいという声を受け、実施校へ公演までの手引書をお配りしております。フィードバックシートでは「分かりやすかった」などの評価をいただいておりますが、今後もご担当の先生にとっての道しるべとして、より充実したものになるよう、内容をブラッシュアップし続けていきます。



公演時間(95分)

著作権

制作団体が
所有

制作団体以外が所有する事
項が含まれる

(制作団体以外が所有する
事項が含まれる場合)
許諾の有無

めばえ寄席: 本公演



プログラム

出演者 8名 [落語家 5名 (江戸・上方・若手・前座 2名)、色物 2名、三味線 1名]
時間: 9 5分 ※公演時間は児童・生徒さんの状況を見て調整します。

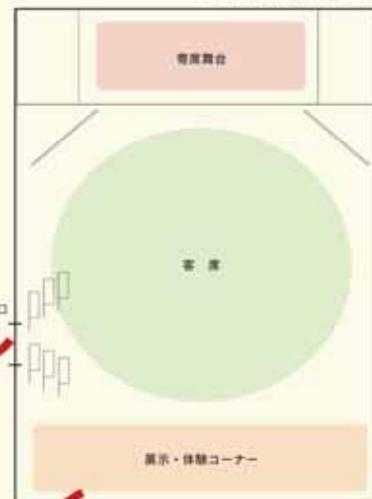
【開場前】

「〇〇亭」劇場作り

みんなで体育館を“寄席”にしよう！
高座を作ったり、ポスターを貼ったり、
のぼりを飾ったり・・・
見慣れた体育館がどンドン、どンドン、
劇場になるワクワク感。
さぁ、寄席の出来上がり！



▼ 体育館内配置の一例



開演までのにぎやかし

展示・体験コーナーで寄席の世界を120%
楽しもう！
体育館に寄席の展示・体験ができるエリアを
設置いたします。

【展示】

- ・老舗寄席「新宿末広亭」の写真を展示
- ・手ぬぐいを展示

【体験】

- ・ミニ高座を設置、生徒さんのなりきり落語家体験
- ・下座楽器（三味線、太鼓、笛）を自由に触れる楽器体験コーナー



いつもの体育館が別世界。ワクワクドキドキの寄席空間が出現



【開場】

お客様を元気一杯お出迎え！

さあ寄席の開場です。
入口には寄席の番組表を模った看板がお出迎え。
係のみんなでハッピーを着て、にぎやかにお客様をご案内しましょう。
舞台上では入場の合図「一番太鼓」を叩いてもらいます。
みんなが入場をしたらいよいよ開演！
まずは〇〇亭の席亭である校長先生よりご挨拶をいただきます。



〇〇亭の席亭は、
校長先生、
開演に先立ち、
席亭よりご挨拶を
いただきます。



本物の寄席のように
看板がお出迎えします



会場班のお出迎え



前座班の一番太鼓

【開演】

「〇〇亭」いよいよ開演です！

開演一曲

1. 落語 (若手落語家) 春風亭 柏枝 など (10分)

ようこそ寄席へ。まずはこくこく短い唄を

聞いたことの有る、わかりやすい落語をひとつ。



2. 色物 林家 二楽《紙切り》 など (15分)

リクエストを受けてその場で切り上げる、
紙の芸術品

生徒さんの感想文で「感心した」「すごい」との声が一番多いのが
この紙切り。



神トリ

3. 上方落語 桂 文三 など (15分)

起源が辻唄 (大道芸)、江戸落語と
ひと味違う賑やかな上方落語でお楽しみ

演目「刺うどん」「動物園」など。



お仲入り (休憩) (10分)

【休憩中】

休憩中も体験・参加！

休憩中も展示や下座楽器をお楽しみください。

舞台班の児童・生徒さんには、
その後の大喜利コーナーの
ステージ準備をお手伝いいただきます。



【後半スタート】 児童・生徒参加
体験

4. **大喜利** ～こぼなしグランプリ (or しぐさ体験コーナー) ～ 〈15分〉

**お友達が落語家に!?大喜利スタイルで
ずらりと並び発表会**

それぞれの感性で創作してもらった作品の中から優秀作を5つ厳選。
優秀作に選ばれた生徒さんが発表します。果たして結果はいかに？

※時間などの関係で事前の小幅作成が難しい場合、しぐさ体験コーナーに変更することが可能です。

おはやし班の児童・生徒さんには、大喜利コーナー開始時の出囃子の演奏に参加してもらいます。



色とりどりの羽織をつけてステージに出演！

5. **色物** 三増 紋之助《曲ごま》など〈15分〉

**刀の刃や、長い棒の上で廻るごま。
ハラハラ、楽しい**

こまを縦横無尽に操る江戸曲ごま。見ていると幸せになる、
鹿抜けに明るい芸風が魅力。

トリ

6. **落語** 春風亭 柳橋 など〈15分〉

**いよいよトリです。看板真打ちによる
江戸古典落語でお楽しみ**

演目「転失気」「牛ほめ」など。



※1 出演者は色物の種類やご当地落語などのご希望や日程の関係で変更可能です。

※2 出演者はすべて、弊社の学校公演において十分経験を重ねた芸人で構成されています。



<p>演目選択理由</p>	<p>「芸人に上手も、下手も無かりけり。ただ行く先々の水に合わねば」</p> <p>落語の演目はその当日、マクラ 1を演じながらお客様の様子を見て、その場で決めます。そこで学校公演レギュラーメンバーたちが、豊富な経験と持ちネタを生かして、初めて落語に触れる生徒さんに最適な演目を選択します。</p> <p>1 マクラとは、本題への導入部で、自己紹介をしたり、本題に入るための流れを作ったり、また本題でわかりにくい言葉の説明をさりげなく入れたりします。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p><ワークショップ> 「ワークショップ項目」をご参照ください。</p> <p><公演までの間> 作り方教室で学んだ「小噺」の作成。落語の元となる「小噺」を作ってみよう。 作成していただいた小噺は公演前に送付していただき、優秀作品を選考します。 こばなしグランプリで、代表生徒さん5名に小噺の発表をしていただきます。</p> <p>「寄席文字」でピラ(ポスター)を作ってみよう。 ワークショップ時に寄席文字書家が書き方のコツを伝授。実演を交えて書き方を教えます。その後本公演までに寄席文字チラシを生徒さんに作成していただきます。作成枚数は限定しません。学年・クラス毎などでまとめていただき、本公演当日に会場に貼りだします。</p> <p><本公演> 「演目」「演目概要」をご参照ください。</p>		
<p>出演者</p>	<p>出演者：8名(真打ち落語家2名、色物2名、若手落語家1名、前座2名、三味線1名) 【東京】落語協会 / 落語芸術協会 所属 【大阪】上方落語協会 所属</p> <p>* 学校公演で過去に成功実績を多く持つレギュラーメンバーで構成。 * 出演者は、色物の種類やご当地落語などのご希望や日程の関係で変更可能です。</p> <p>春風亭柳橋 柳亭楽輔、桂小文治、桂小南、桂文治、柳家喬之助 など 桂文三 笑福亭生喬、林家染雀、林家染左、笑福亭喬若、笑福亭たま など 三増紋之助 鏡味正二郎<太神楽曲芸>、柳貴家雪之介<大神楽曲芸>、 宮田陽・昇<漫才>、鏡味千代<太神楽曲芸> など 林家二楽 上口龍生<マジック>、江戸家まねき猫<動物物まね>、 北見翼<和妻> など 春風亭柏枝 柳家小太郎、桂宮治、春風亭柳若、柳家さん光、雷門音助 など</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者： 8名 スタッフ： 4名 合計： 12名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 1 t 車長 5.31 m 台数 1 台</p>

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書 をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(下記のような通常の予定であれば、基本的には無し)					
	会場設営の所要時間(4 時間程度)					
	到着	仕込み	公演	内休憩	撤去	退出
8時30分	8時30分～ 12時30分	13時30分～ 15時05分	10分	15時05分～ 17時	17時	
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	制限無し				
	本公演	制限無し				

ワークショップ
実施形態
及び内容

めばえ寄席： ワークショップ



プログラム

出演者4名〔落語家2名（ニツ目・前座）、三味線1名、寄席文字書家（橋流）1名〕
時間：45～60分 ※授業時間、児童・生徒さんの状況により調整いたします。

知って、感じて、やってみる

ワークショップの構成要素

知って 感じて やってみる
「解説」、「体験」、「創作」をキーワードに構成。
全ては寄席をより楽しんでもらうために。

- 解説：寄席や落語から始まり、江戸の暮らしまで
- 体験：落語のしぐさや、寄席文字の書き方
- 創作：小ばなしや寄席文字を用いたポスター作成のコツを伝授

※プロジェクター（映像）を使用いたしますので、視覚的にも分かりやすい

“みんなで作る「めばえ寄席」”

1. 公演タイトル（〇〇亭）を決めよう

公演タイトルは、3～5個の候補の中からみなさんの拍手の大きさに決定。
御校だけの特別な落語会タイトルを決定いたします。



【ワークショップ】ワークショップの様子。
タイトルは地名や名産品、学校の特徴などを基に、予め候補を出していただきます。



決定したタイトルの下で準備を進めていき、本公演当日に反映されていきます。



Point
(工夫)

プロの寄席文字書家が書いたタイトルののびりを影響者が作成し、公演当日に持参いたします。

【本公演】本公演当日、決定したタイトルが実際に形になった様子。
ポスターは見本の寄席文字を基にして、本公演までの間に生徒さんが作成。



まずは落語の世界を覗いてみよう

2. 落語を一席『寿限無 じゅげむ』など

分かり易い落語でお笑い一つ。



落語を聞いた後は、落語の楽しみ方を知る

3. 落語鑑賞ポイント～落語のあれこれ～

一人で何役も演じ、扇子と手ぬぐいを様々なものに見立てて、演じる側とお客さん（児童・生徒）それぞれが、想像しながら作り出す芸能“落語”。ここでは落語の特徴的なポイントについて解説します。ここを押さえれば落語がぐっと近づく。

左向いて「こんちわノ」



一人で何役も演じ分ける



右向いて「こっちへおあがり」

落語ポイント

1 落語の原点『小噺（落とし噺）』実演と作り方教室

小噺（落とし噺）
・一人で何人もの登場人物を演じ分ける。 → 長くなったのが落語
・必ず噺の最後にオチが有る。

Point (創作)



本公演に向けての宿題、小ばなしを作ってみよう。その為の小ばなし作成のコツを伝授する。小ばなし作り方教室を開催。→本公演当日の「大喜利コーナー」で優秀作品5作の作者には舞台上で発表してもらいます。

小ばなしの作り方のコツ
小ばなし創り方教室
本公演大喜利コーナーに向けて

結果の部分であるオチを先に考えると作りやすいでしょう。

【オチの作り方】1つの言葉に複数の意味をもたせる。

例「このおかしやさん、繁盛しているんだって」
「けいき（景気/ケーキ）が良いもんね」

過去の子供たちの作品の一部をご紹介します ※実際に応募いただいた作品から抜粋

- 「ミミズとヘビどっちが好き？」「ミミズ！ミミズにはめがないんだ。」
- 「大人だけでボートにのると、どうなるの？」「きっと子がない（滑がない）から、進まないね。」
- 親「明日、台風だって。」子「台風はいいなあ、進路が決まっています。」
- 「まだ5月だというのに各地で夏日並みの暑さだね。梅雨をこえて一気に夏って感じだよ。」
「まるで置きっぱなしで忘れたカップラーメンのようだね。」「どういこと？」
「ツユがみあたらない。」

落語
ポイント

2 落語のしぐさ『扇子・手ぬぐいの使い方』実演・体験

扇子と手ぬぐいという限られた小道具を「お箸」「筆」、「紙面（ノート）」や「おいも」など様々なものに見立てて表現します。



手ぬぐい × 1,000
扇子 セット
を利用して

Point
(体験)



扇子、手ぬぐいを各1,000セット用意。
持ち込みます。

⇒全員一緒に落語の仕草（そばを食べる仕草など）体験。
体育館中に響き渡る「そばをすすする音」は圧巻。

全員
体験



全員一緒に体験できる！



落語のホーム、寄席。老舗の寄席を覗いてみよう

4. 動画『ようこそ寄席へ 老舗寄席・末広亭をご案内』



影向會が新宿末広亭ご協力のもと、オリジナルで作成した特別動画

工夫point

古き良き寄席の雰囲気を残す末広亭で
オリジナル動画を作成いたしました。

寄席って何？どんなところで何をしている？
普段見ることのできない裏側をナビゲート。

- ・客席、舞台（高座）、楽屋の様子
- ・前座さんのお仕事
- ・下座音楽（太鼓、三味線） など



寄席を構成する上で大事な要素。プログラムの着休め的存在

5. 色物のおはなし

色物（いろいろ）＝寄席でおこなわれる落語以外の演芸のこと。

動きや見た目で見やすい芸。色物の解説。本公演出演者のご紹介。



寄席を盛り上げるBGM、下座音楽をご紹介

6. 下座音楽のあれこれ【解説・実演】

寄席ではかかずことのできない下座音楽の解説。

下座（げざ）＝

寄席で演奏されるBGMの総称。大太鼓、メ太鼓、三味線で構成される。お囃子とも言ふ。



- ・太鼓が物を言う？ 入場時一番太鼓は“ドン、ドン、ドントコイ” 終演の追い出し太鼓は“デテケ、デテケ、デテケ”
- ・出囃子＝出演者のテーマソング。
- ・落語の効果音も太鼓で表現。「風」「川」「海」ってどんな音？

前座班、おはやし班になった代表の児童・生徒さんには公演終了後、本公演に向けて、太鼓や三味線のレクチャーをいたします。



クイズを楽しみながら、江戸時代を知ってもらおう

7. お江戸クイズコーナー ～江戸時代へタイムスリップ～

👉 プロジェクターを使用（影向舎オリジナルイラスト）

工夫point



1両は今のお金でいくら？



江戸時代の時間の感覚について



当時の職業（商い）について

落語の賑やかな舞台である江戸時代。その時代の人にはどんな暮らしをしていたのか？ また、江戸時代では、どんな職業があったのか？ お金や時間の賑をクイズを交え、お話いたします。



よせもじ
読みづらい？寄席の世界の独特な“寄席文字”の秘密

8. 寄席文字を書いてみよう！【解説&実演】

解説・実演
橋紅葉（寄席文字書家）

寄席の世界で使われている寄席文字の書き方、お教えします。
文字の特徴や込められた意味を、書いているところをライブカメラで投影しながら説明します。



Point
(工夫)

寄席文字を書いているところがよく見えるよう、手を映したライブカメラでプロジェクター投影いたします。

寄席文字（よせもじ）＝

寄席の看板やポスター（ビラ）などで使用される文字。寄席文字の独特な形は、紙を客席に見立て、お客様が一杯入場し、会場が頭で黒々となるようにとの願いを込めて、余白が無いように書く。
デザインの要素が強い為、一般的な書道では禁止されている“二度書き”も自由。

Point
(体験)

ワークショップの時間の関係により、**全員参加（パターン①）**、**代表者が参加（パターン②）**を選択できます。

【パターン①】全員参加 ※ワークショップ公演時間＋20分
全児童・生徒さんにご参加いただく、寄席文字教室。
普通の書道と異なる、特徴の有る書き方に挑戦してみよう。
○準備するもの：半紙、書道セット

【パターン②】代表児童・生徒 ※ワークショップ公演時間内
5名程度の代表の児童・生徒さんに寄席文字の書き方にチャレンジしていただきます。
○書道セットなどはこちらでご用意いたします。

Point
(創作)

本公演に向けての宿題、寄席文字でポスターを作ってみよう。
寄席文字の書き方のコツを伝授。

⇒本公演当日、皆さんに書いてもらったポスターは会場を飾り、体育館中を華やかに彩ります。

お楽しみ会

【ワークショップから本公演までの間】

ワークショップで覚えたことをふまえて

本公演までの間の宿題

※ご参加は自由です。授業などの関係でご参加が困難な場合はご相談ください。全てに参加されなくても、一つだけの参加も可能です。

Point
(創作)

○小ばなしの作成

作成いただいた作品の中から、優秀作を選定いたします。優秀作に選ばれた5名の方には、本公演プログラム「大賞利コーナー」で発表してもらいます。

○ポスターの作成

作成いただいたポスターは、公演当日、会場内の児童・生徒さんに、飾り付けてもらいます。

Point
(体験)

○一番太鼓・お囃子の練習【前座班・おはやし班】

前座班・おはやし班に参加の児童・生徒さんにはワークショップ終了後に、一番太鼓の叩き方やお囃子の演奏のレクチャーをいたします。
本公演までの間に練習をして、公演当日は元気よく演奏をしましょう。

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>工夫 <u>ワークショップと本公演の意図（性質）を変えました</u></p> <p>「ワークショップ（体験）」 「公演日まで（創作）」 「本公演（鑑賞）」 と徐々に、多角度から『知る』工夫をしています。</p> <p>ワークショップ（体験）</p> <p>目的 = 『とことん学ぶ』 『知る（学び触れる）』</p> <p>効果 = 寄席芸能を知る 寄席芸能の楽しさを知る 寄席芸能のなるほどを知る 寄席芸能の楽しみ方を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>動画やイラストを多用し、実演を交えながら。ショーとして楽しみながらも学ぶ工夫がなされています。もちろん落語体験・寄席文字体験・クイズに参加など参加体験も豊富に盛り込まれています。</p> </div> <p><u>ワークショップを経て“寄席”への興味が芽生えます</u></p> <p>ワークショップから本公演まで（創作）</p> <p>目的 = 『考える・作成する』 『知る（向き合う）』</p> <p>効果 = より理解を深める</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ワークショップで学んだことを、じっくりと向き合い体験することで、より理解を深める。また本公演に期待がふくらみます。</p> </div> <p>本公演（鑑賞）</p> <p>目的 = 『とにかく楽しむ（鑑賞、体験）』 『知る（体感する）』</p> <p>効果 = 寄席芸能は楽しい！面白い！を知る 子供たちの心に種を蒔く。こんなに楽しい（笑える） 芸能が日本にあったんだ！ 体験をすることにより、面白さを重ねて実感する みんなで何かを準備（共同作業）をすることを経験する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>第一線の出演者による熱演！本格的な寄席舞台。 「本物」をとことんお楽しみいただきます。 寄席芸能の笑い・迫力・凄み、その魅力を存分に体験していただきます！</p> </div>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>実施校との事前の打合せの際に、実施上の注意点についてヒアリングを行います。その上で、出演者との内容調整、児童・生徒さんの体験参加内容の調整をします。実施校からの希望に臨機応変に対応します。</p>
<p>実施可能時期はB区分申請団体のみ</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

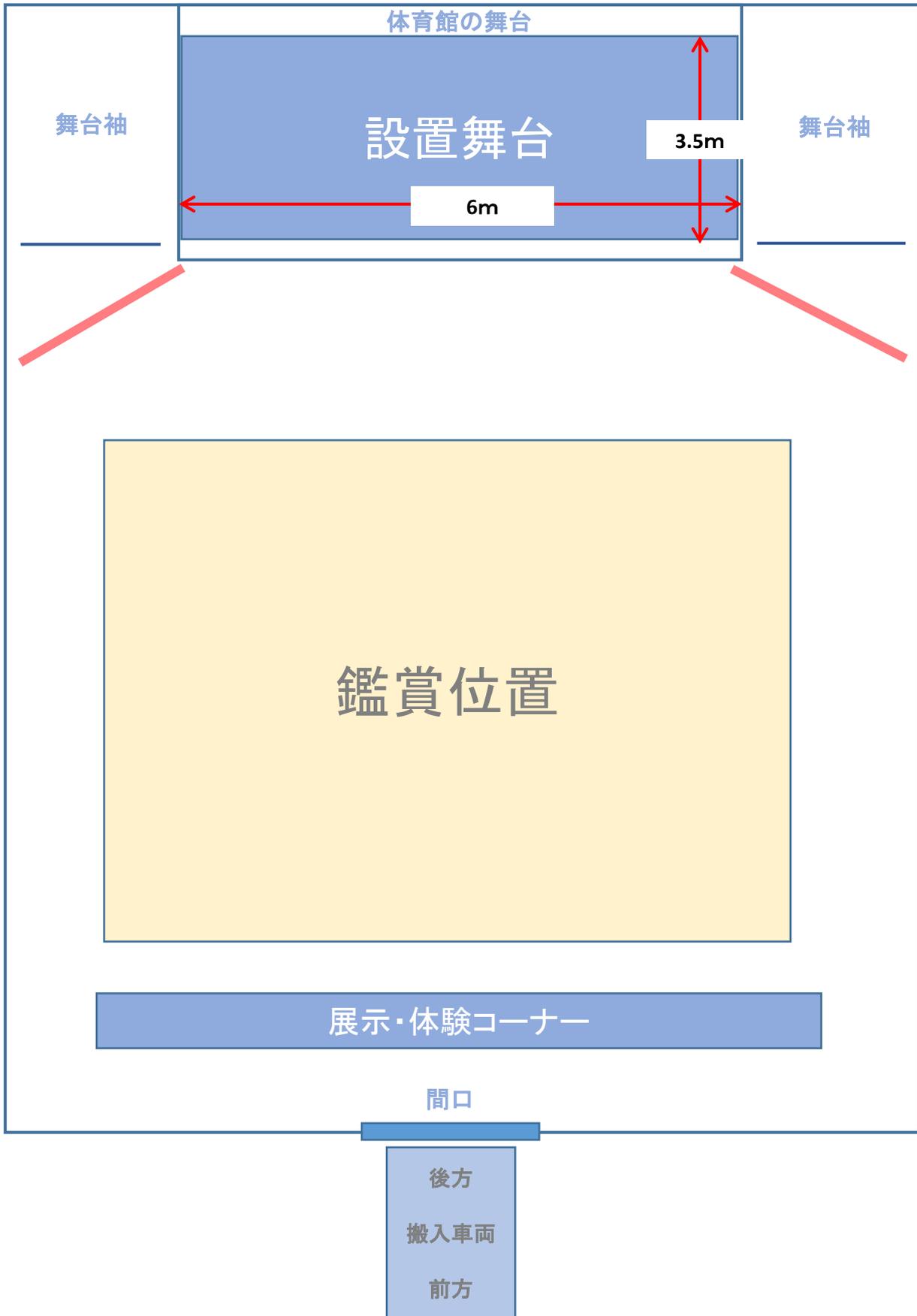
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E62	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	めばえ寄席「〇〇亭」* 〇〇は生徒さんの公募により決定。			制作団体名	株式会社 影響舎				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数*	1室	条件	1室の場合は、女性の着替え用の仕切り(衝立)があると望ましいですが、無くても対応可能です。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数*			バン	2台			
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			-				
	可	搬入車両の横づけの要否*			不要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離*			なるべく短いことが望ましいですが、距離が長くても対応可能です。				
	可	搬入経路の最低条件			雨に濡れないこと、階段がないことが望ましいですが、それらの条件を満たさなくても対応は可能です。				
		理由			寄席舞台等を搬入するため				
	-	設置階の制限*			問わない				
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.3m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			700名程度まで				
	-	学年の指定の有無*			なし	指定学年*	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			60分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			700名程度まで				
	可	舞台設置場所*			体育館のステージ上				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	6m	奥行	3.5m	高さ	指定無し
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保*		要		
	可				舞台袖スペースの条件*		着物を着た状態で通り抜けられる程度に、荷物が無い状態		
	可				緞帳*	不要	バトン*	不要	
	-	遮光(暗幕等)の要否*			不要	理由	-		
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動*	不要	指定位置はありませんが、舞台の端へ寄せてください。			
	-			ピアノの事前調律*		不要			
	-	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況*		問わない			
	可	公演に必要な電源容量			30A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
可	舞台に必要な広さは目安であり、上記より狭くても実施可能です。								
可	WS時にプロジェクターにてスライドを使用するため、遮光のご協力をお願い致します。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.3m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	不要			
横づけができない場合の搬入可能距離	なるべく短いことが望ましいですが、距離が長くても対応可能です。			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

らく こ かん しょう 落語の鑑賞

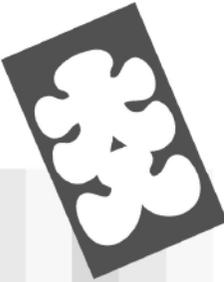
落語は決して難しい芸能ではありません。今までの“落語は分かりにくい、古臭い”という先入観を全て捨て、十分にお楽しみください。
また落語は落語家一人が様々な登場人物を演じ、様々な場面をお客様に想像していただく、いわばお客様とのコミュニケーションで作り上げる「笑いの」芸です。肩を張らずに、世界最高の落語「落語」をたっぷりとお堪能ください。

開催月日	開催地	開催校	開催校以外の地元の主催者
6月11日(月)	京都府	京丹波町立下山小学校	京都府教育委員会/京丹波町教育委員会
6月12日(火)	京都府	長岡京市立長岡第四小学校	京都府教育委員会/長岡京市教育委員会
6月13日(水)	京都市	京都市立大原野小学校	京都市教育委員会
6月14日(木)	福井県	美浜町立美浜東小学校	福井県/美浜町教育委員会
6月15日(金)	福井県	敦賀市立咸新小学校	福井県/敦賀市教育委員会
6月18日(月)	福井県	あわら市細呂木小学校	福井県/あわら市教育委員会
6月19日(火)	福井県	越前市岡本小学校	福井県/越前市教育委員会
6月20日(水)	福井県	坂井市立加戸小学校	福井県/坂井市教育委員会
6月26日(火)	石川県	小松市立第一小学校	石川県/小松市教育委員会
6月27日(水)	石川県	小松市立稚松小学校	石川県/小松市教育委員会
6月28日(木)	石川県	加賀市立東谷口小学校	石川県/加賀市教育委員会
7月2日(月)	新潟県	上越市立大潟町小学校	新潟県教育委員会
7月3日(火)	新潟県	加茂市立加茂中学校	新潟県教育委員会
7月4日(水)	新潟県	燕市立燕北小学校	新潟県教育委員会
7月5日(木)	新潟県	佐渡市立河原田小学校	新潟県教育委員会
11月26日(月)	石川県	羽咋市立余喜小学校	石川県/羽咋市教育委員会
11月27日(火)	富山県	小矢部市立蟹谷小学校	富山県教育委員会/小矢部市教育委員会
11月28日(水)	富山県	上市町立上市中央小学校	富山県教育委員会/上市町教育委員会
11月29日(木)	富山県	富山市立北部中学校	富山県教育委員会/富山市教育委員会

知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

へいせい ねんど 平成30年度 ぶん かげい じゅつ こども いくせい じぎょう 文化芸術による子供の育成事業 — 巡回公演事業 —



めば元寄席

制作：影向舎

ぶん かげい じゅつ こども いくせい じぎょう じゅん かい こう せん じぎょう 文化芸術による子供の育成事業 — 巡回公演事業 —

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

はなし お はなし う

オチのある噺「落とし噺」から生まれた。

落語とは

落語とは、庶民の生活や、お伽話などを滑稽な内容として語るもので、噺の結末にオチがつくのが特徴です。東京(江戸)で発達した江戸落語と、大阪・京都の関西圏(上方)を中心に発達した上方落語があります。

えんげい せんもん おこ げきじょう

演芸が専門に行なわれている劇場。

寄席とは

落語に興味があったら、ぜひ寄席に落語を聴きに行きましょう。でも、寄席で演じられるのは落語だけではなく、講談、漫才、漫談、音曲、手品、曲芸など、バラエティーに富んだ番組(プログラム)になっているのです。前座(若手)の落語から始まり、漫才や手品などの色物と呼ばれる演芸と、二ツ目(中堅)の落語がテンポよく進んでいき、最後に真打ち(ベテラン)が登場します。寄席という小さな演芸場の中では、お客様の笑い声やかけ声が絶えず聞こえ、とことなく非日常的な、江戸時代にタイムスリップしたかのような時間が流れています。

らくご こどうぐ

「落語の小道具」

落語で使われる小道具は扇子と手拭いだけ。扇子とお箸になったり、手拭いがサツマイモになったり、...。落語は見ているお客さんも一緒に想像する芸です。落語家が使っている小道具が、今何になっているかをイメージしながら聞いてみましょう。

東西(江戸・上方)の落語を楽しむもう!

上方落語

江戸落語



東西の落語!!
笑いに違い!!

上方落語はお家の外で行われる大道芸から発達したので、みんなの注意をひきつける為にとっても賑やかに演じられます。対して江戸落語はお家の中のお座敷で演じられてきたので、じっくりと聞かせる、粋な雰囲気。違いを楽しみましょう。

※プログラム内「3. 上方落語」「6. 落語」では上記出演者の中から各1名ずつ出演します。

めばえ寄席 プログラム

めばえ寄席

1. 落語

まずは若手のイキイキとした落語を!

2. 色物

色物とは寄席で行なわれる、落語以外の演芸!

3. 上方落語

にぎやかな関西圏中心に発達した上方落語でお楽しみ!!

-お仲入り(休憩)-

4. 大喜利



～こぼれシラシラ(体験コーナー)～
それぞれの感性で作成した作品の中から優秀作を厳選。作成した生徒さんが発表します。結果はいかに?

5. 色物

寄席の看板は落語は黒、その他は赤文字で出演者を書いていたので色物と呼ばれる。さてどんな芸人が現れるかお楽しみ!!

6. 落語

いよいよトリです。看板真打ちによる古典落語を披露!!

楽

※プログラムは変更の可能性があります。

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱, オークストラ等, 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

 あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふ り が な 制作団体名	いっばんしゃだんほうじんきょうとうがくはやしかたどうめいかい ----- 一般社団法人京都能楽囃子方同明会														
代表者職・氏名	理事長 武田市和														
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町10-10 前川方 (JR 嵯峨嵐山駅)														
電 話 番 号	075-863-5120	F A X 番 号	075-320-1580												
ふ り が な 公演団体名	いっばんしゃだんほうじんきょうとうがくはやしかたどうめいかい ----- 一般社団法人京都能楽囃子方同明会														
代表者職・氏名	理事長 武田市和														
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町10-10 前川方 (JR 嵯峨嵐山駅)														
制 作 団 体 設 立 年 月	1918年12月	団体構成員及び加入条件等													
制 作 団 体 組 織	<table border="1"> <tr><th colspan="2">役 職 員</th></tr> <tr><td>理事長</td><td>武田市和</td></tr> <tr><td>理事</td><td>左鴻泰弘</td></tr> <tr><td>理事</td><td>吉阪一郎</td></tr> <tr><td>理事</td><td>成田有辞</td></tr> <tr><td>理事</td><td>前川光範</td></tr> <tr><td>監事</td><td>西村保美</td></tr> </table>			役 職 員		理事長	武田市和	理事	左鴻泰弘	理事	吉阪一郎	理事	成田有辞	理事	前川光範
役 職 員															
理事長	武田市和														
理事	左鴻泰弘														
理事	吉阪一郎														
理事	成田有辞														
理事	前川光範														
監事	西村保美														
事務体制の担当	専任 ・ <input checked="" type="radio"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	谷口正壽												
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	経理責任者名	成田有辞												

制作団体沿革	<p>大正7年、在京都の能楽囃子方が集まり「同盟会」を立ち上げました。戦中戦後の混乱期に一時自然解散しましたが、昭和30年「同和会」として再出発しました。以後、毎年1回囃子方ならではの公演に取り組み、昭和61年に、名称を「同明会」に改めました。平成15年より8年間、能楽囃子の音楽性にスポットを当てた、「囃子堂」公演にも取り組み、「同明会能」とあわせて毎年2回の公演を行ってきました。平成24年10月に一般社団法人京都能楽囃子方同明会として法人を設立。25年度よりワークショップを中心とした学校公演や、子ども達だけで実演する、こども能楽囃子教室など次世代に能楽の魅力を伝える活動を展開しています。</p>		
学校等における公演実績	<p>28年度 「こども能楽囃子教室」2公演 「能楽囃子講座」1公演 29年度 「こども能楽囃子教室」2公演 「能楽囃子講座」1公演 「囃子堂」2公演 30年度 「こども能楽囃子教室」2公演 「能楽囃子講座」1公演</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>27年度 青森県立若葉養護学校 28年度 長崎県立虹の原特別支援学校 30年度 福島県立相馬支援学校</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
※公開資料有の場合 URL			
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人京都能楽囃子方同明会】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	音楽として聴く能「囃子堂」		
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 2. 各楽器解説 3. 早笛 4. カケ声で表現してみよう 5. 能楽囃子の表現法(大ベシ・流シ) 休憩 6. 三番三共演 7. 融舞返 8. 獅子 9. 終わりの挨拶と質問コーナー 公演時間(95分)		
著作権	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許 諾の有無
演 目 概 要	<p>能楽の音楽性にスポットを当てた、ライブ感覚の公演です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 …居住まいを正し、きちんと挨拶をしたあと、能楽の概要や歴史をわかりやすく説明します。 2. 各楽器解説…各楽器の説明をして、能囃子の音楽としての魅力を解説します。 3. 早笛…龍神や鬼が登場する際に演奏される軽快で、ハイテンポな登場の音楽です。  <ol style="list-style-type: none"> 4. カケ声で表現してみよう…能楽囃子の特徴であるカケ声を体験して頂きます。カケ声のかけ方でどんな感じに聞こえるのか、間の取り方がどんな風になるのかを体験します。 5. 能楽囃子の表現法(大ベシ・流シ)…大ベシは早笛と同じ旋律・リズムパターンですが、テンポが極端にゆっくりで、力強く超高速での移動を表現します。早笛と比較することで能楽囃子の表現法を学びます。流シでは、互いの気を感じて打つ能楽囃子の最高技法を体験します。 <p>休憩 希望者は小鼓と大鼓を体験できます。(ふれあいタイム)</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 三番三共演…翁に付随する狂言の舞曲です。大変めでたい曲で、同じリズムを繰り返して演奏します。児童・生徒と共演することで会場全体が一体となる楽しい演奏としたいと思います。 		

	<p>7. 融舞返…高貴かつ優雅な舞曲です。リズム、ノリの変化に富み、高い演奏技術が要求される楽曲で、大変緩急の激しいテクニカルな曲です。</p> <p>8. 獅子…文殊菩薩の霊獣獅子の舞曲です。静と動・間合のやりとり・気迫が充実した曲で、これぞ能楽囃子の真髄と言えます。</p> <p>9. 終わりの挨拶と質問コーナー…様々な疑問にお答えします。最後に始まりと同じく、居住まいを正して、きちんと挨拶をします。</p>			
<p>演目選択理由</p>	<p>能楽は、演劇・舞踊・音楽・文学・美術など様々な要素が入った、総合芸術です。この公演は能楽の音楽である、囃子にスポットを当て、独自の音楽性を紹介します。</p> <p>内容は、大人が聞いても十分に満足のいく芸術性の高い曲ばかりで、退屈しないようテンポの速く軽快な「早笛」、ゆったりと重厚な「大ベシ」、気迫が充実した「獅子」などを織り交ぜ、能楽囃子の魅力をわかりやすく伝えられるように選曲しました。</p> <p>児童生徒との共演曲「三番三」は同じリズムの繰り返しなので児童生徒でも演奏しやすいことから選びました。</p> <p>「融舞返」は、演奏者同士がカケ声や間合・呼吸によってコミュニケーションをとりながら演奏をすることを、わかりやすく伝えられるように選びました。</p> <p>この公演は、特に能楽囃子の魅力が感じられる演目ばかりです。ともしれば難解と言われる能楽でも、音楽である囃子ならば理解と言うものを必要とせず、純粹に見て聞いて面白いと感じて頂けます。</p> <p>能楽囃子は、わずか4人で30人のオーケストラに匹敵するといわれます。その力の源は「気迫」にあります。「気迫」とは、見える物ではなく、聞こえる物でもなく、感じるものです。この、目には見えない、耳には聞こえない「何か」を感じとることで、現代日本人が忘れてしまった五感以外の感覚を呼び覚まし、子ども達の感性を育みたいと思います。</p> <p>能楽の「魅力」「迫力」を存分に伝え、西洋の「ド・レ・ミ」(絶対の音楽)とは全く違う、日本独自の能楽(相対の音楽)の素晴らしさが伝わる公演にしたいと思います。</p>			
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>児童生徒共演のコーナーでは、児童生徒達は、ワークショップで体験した「三番三」の小鼓を打ちます。事前に選抜した1組5名の児童生徒が、実際に楽器を持ち、小鼓を打ちます。この時、出演能楽師の笛、大鼓が加わります。選ばれなかった児童生徒達も、エア小鼓(手拍子)で参加し、全員でカケ声をかけて、会場全体での共演となります。</p> <p>カケ声で表現してみようでは、能楽囃子の基本である、カケ声を全員で体験します。</p> <p>休憩中に、希望者は小鼓と大鼓の体験ができます。直にふれあうことで、児童生徒達と能楽師の距離を縮めたいと思います。</p>			
<p>出演者</p>	<p>笛 杉市和、森田保美、左鴻泰弘、杉信太郎の内1名 小鼓 吉阪一郎、曾和鼓堂、林大和、林大輝、唐錦崇玄の内1名 大鼓 河村 大、石井保彦、谷口正壽、井林久登、渡部諭の内1名 太鼓 前川光長、井上敬介、前川光範の内1名 案内人 谷口正壽、渡部諭、唐錦崇玄の内1名 (太字は重要無形文化財総合指定保持者) 計5名</p>			
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;"> <p>出演者:5名 <u>スタッフ:1名</u> 合計:6名</p> </td> <td style="text-align: center; width: 20%;"> <p>機材等 運搬方法</p> </td> <td style="text-align: center; width: 30%;"> <p>積載量 700kg 車長 4.8 m 台数 1台</p> </td> </tr> </table>	<p>出演者:5名 <u>スタッフ:1名</u> 合計:6名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 700kg 車長 4.8 m 台数 1台</p>
<p>出演者:5名 <u>スタッフ:1名</u> 合計:6名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 700kg 車長 4.8 m 台数 1台</p>		

【公演団体名 一般社団法人京都能楽囃子方同明会】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(0.5 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	時	11:30-12:00	13:30-15:05	10分	15:30-15:50	16:00
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	150名				
	本公演	800名				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>公演当日に共演する「三番三」の小鼓を指導します。</p> <p>能楽という日頃見ることのない芸術を親しみやすく伝えるため、それぞれの専門家である、小鼓方・笛方・大鼓方(全員能楽師)の計3名でワークショップをします。なぜカケ声を掛けるのか、正座をして演奏するのか、そして何が必要なのかを解説します。カケ声をかけるのを恥ずかしがる子が多いと思われまので、まずは声を出す練習に力を置きます。</p> <p>能楽は日常の稽古が大切です。ワークショップ終了後に、小鼓の構え方、打ち方の練習用に“MY小鼓”(小鼓のレプリカ)をお貸しします。それを使って繰り返し練習してもらいます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 始まりの挨拶…居住まいを正し、きちんと挨拶します。 2. 能楽ってなあに?…能楽の構成や特徴をわかりやすく説明します。 3. 小鼓ってどんな楽器?…小鼓の打楽器でありながら、一つの楽器で音色を変えられる、世界的に見ても類い希な構造や演奏法を紹介します。 4. 大鼓ってどんな楽器?…大鼓は小鼓とよく似ていますが、性質は全く正反対です。特徴と演奏法を紹介します。 5. 能楽囃子を聞いてみよう。…「安宅瀧流」を実演します 6. カケ声を掛けよう。…みんなでカケ声を掛けてみよう。どうしてカケ声を掛けるのか、掛けないとどうなるのかを解説します。 7. 小鼓と大鼓を体験しよう。…児童生徒達に実際に、楽器に触れていただきます。 <p>休憩 10分</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 能楽囃子を聞いてみよう。…公演当日に共演する「三番三」を実演します。 10. 小鼓を打ってみよう。…公演当日に、共演する「三番三」の小鼓を指導します。 11. 質問感想コーナー…不思議に思ったこと、興味を持ったことなど、何でもお答えします。 12. 終わりの挨拶…始まりと同じく居住まいを正してきちんと挨拶をします。 <p style="text-align: right;">(95分)</p>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>西洋式の生活スタイルになった現代において、能楽は、日常から縁遠い芸術かも知れませんが、このワークショップは、和気あいあいと、子ども達とふれあいながら、能楽の基本を紹介します。子ども達には、能楽とは特別・特殊なものではなく、身近なものだと感じてほしいと思います。そして、日本の伝統的な姿勢やカケ声・間を知り、世界に誇る能楽の特徴を理解して、「肚を据えて、気を込める。」ことを体験することにより、日本人が元来持っている、芯の強さを身に付けて欲しいと思います。</p> <p>能楽は礼に始まり、礼に終わります。挨拶は、コミュニケーションの第一歩です。姿勢を正し、心を添えて挨拶することで、相手への尊敬を表します。互いに尊敬し合うことで、自他の存在を認め、心を開き近づくことができると知って欲しいと思います。</p>					

<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>学校側と緊密に連絡を取り、事情に応じて、できるだけ可能な範囲でのワークショップを行い、公演につなげます。</p> <p>具体的には、解説を省き、カケ声体験。手拍子での囃子体験に重点を置く。実際に楽器に触れる、肌で感じる公演にする。楽器の共演が難しいときは、カケ声での共演にするなど、臨機応変に様々な形で、児童生徒達の心に残る、肌で感じる、公演・ワークショップにします。</p>
<p>実施可能時期 ◇はB区分申請団体のみ</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

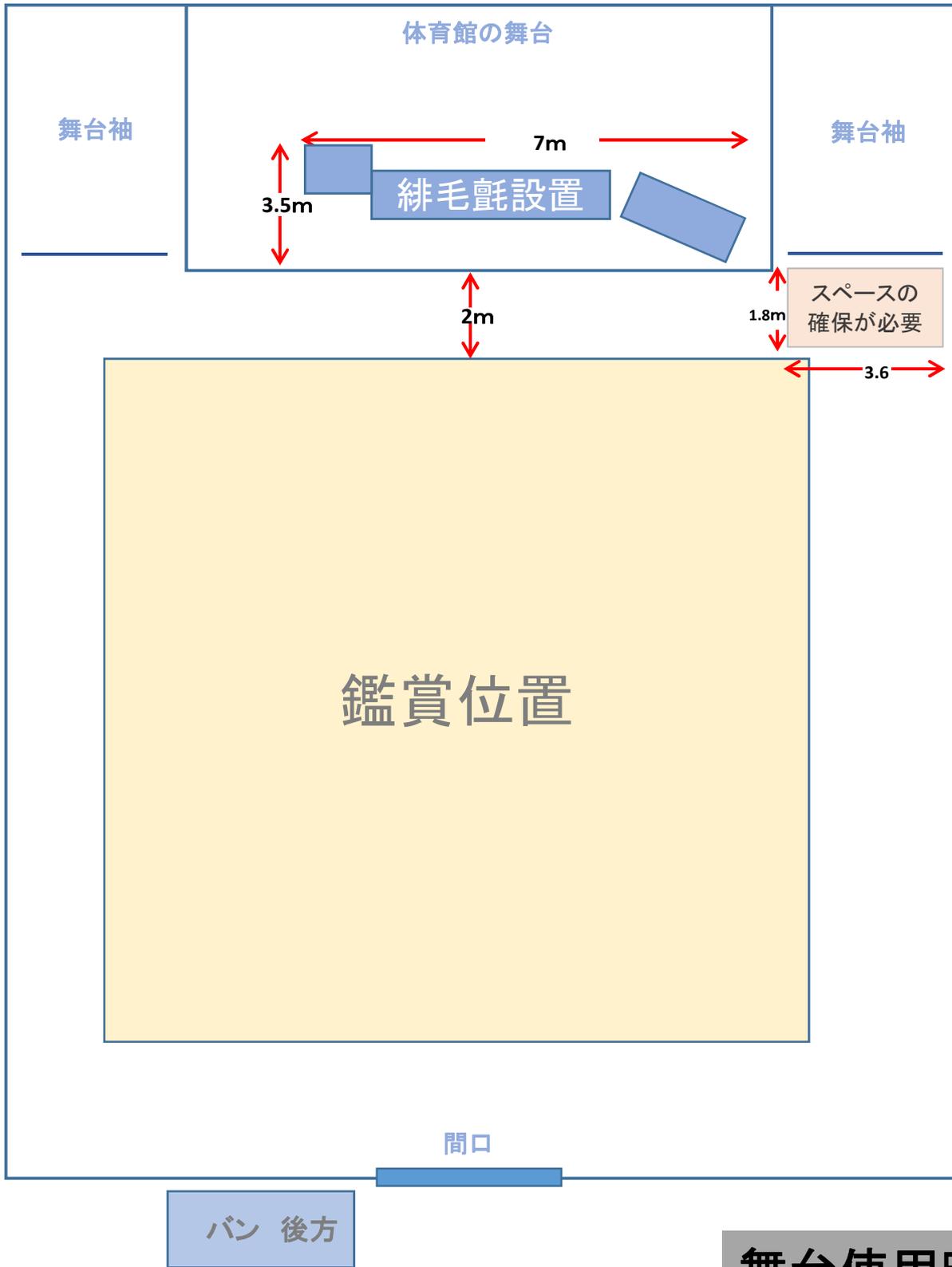
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K123	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	D・E	区分	C区分
公演団体名	一般社団法人京都能楽囃子方同明会				制作団体名	一般社団法人京都能楽囃子方同明会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	1室	条件	特になし							
搬入について	可	来校する車両の大きさ*と台数 *			バン	1台						
	—	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ										
	可	搬入車両の横づけの要否 *			不要							
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *										
	可	搬入経路の最低条件			特になし							
		理由										
		設置階の制限 *										
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.5m	高さ	2m						
WSIについて	可	参加可能人数			150名まで							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *						
	可	所要時間の目安 単位:分			95分							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			600名							
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	7m	奥行	3.5m	高さ	2m				
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			不要				
	—				舞台袖スペースの条件 *							
	可				緞帳 *	不要		バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由						
	—	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動 *			不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。					
	—		ピアノの事前調律 *			不要						
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *			格納されていれば可						
	可	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量						
	その他特記事項											

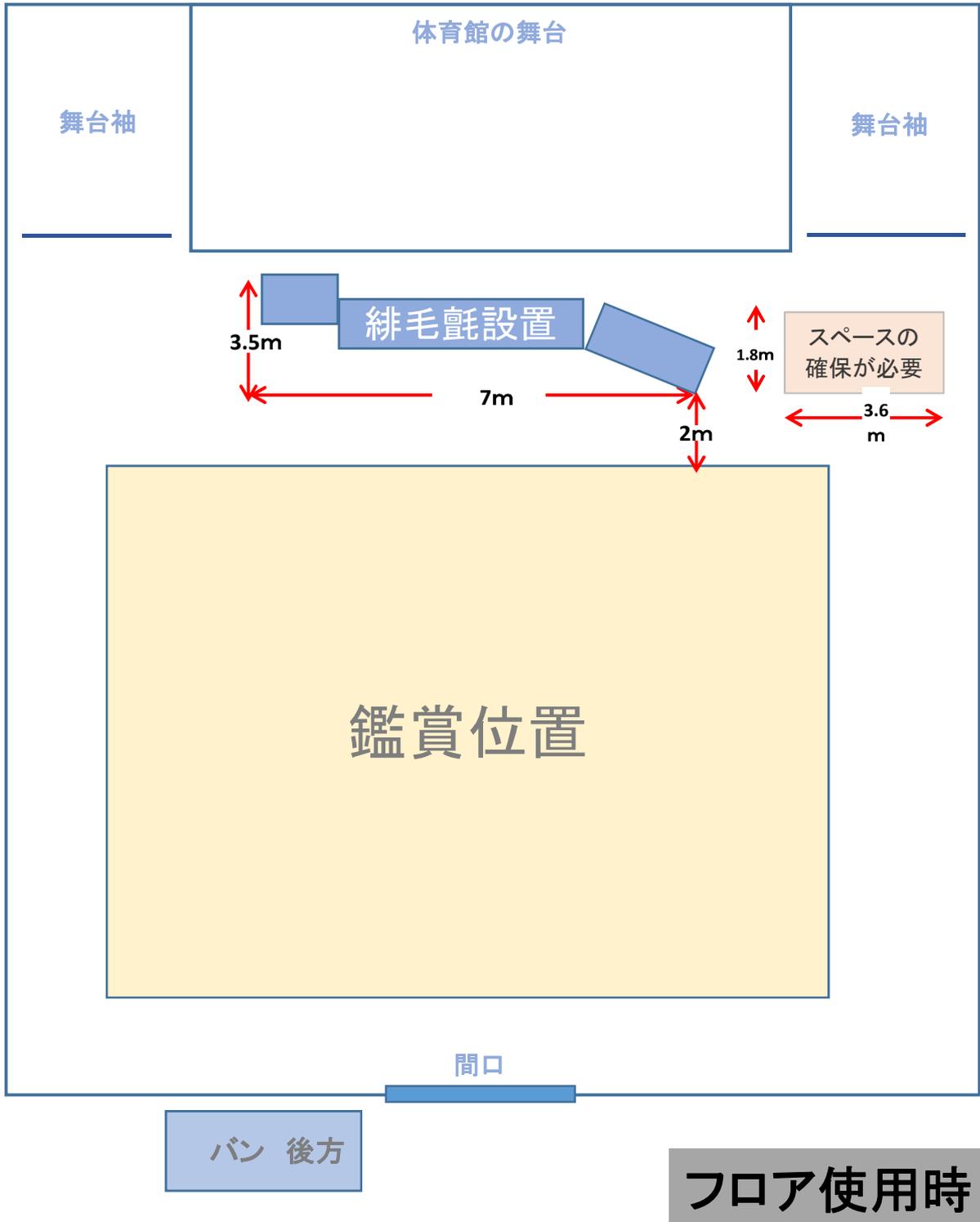
会場図面(表記単位:メートル)



舞台使用時

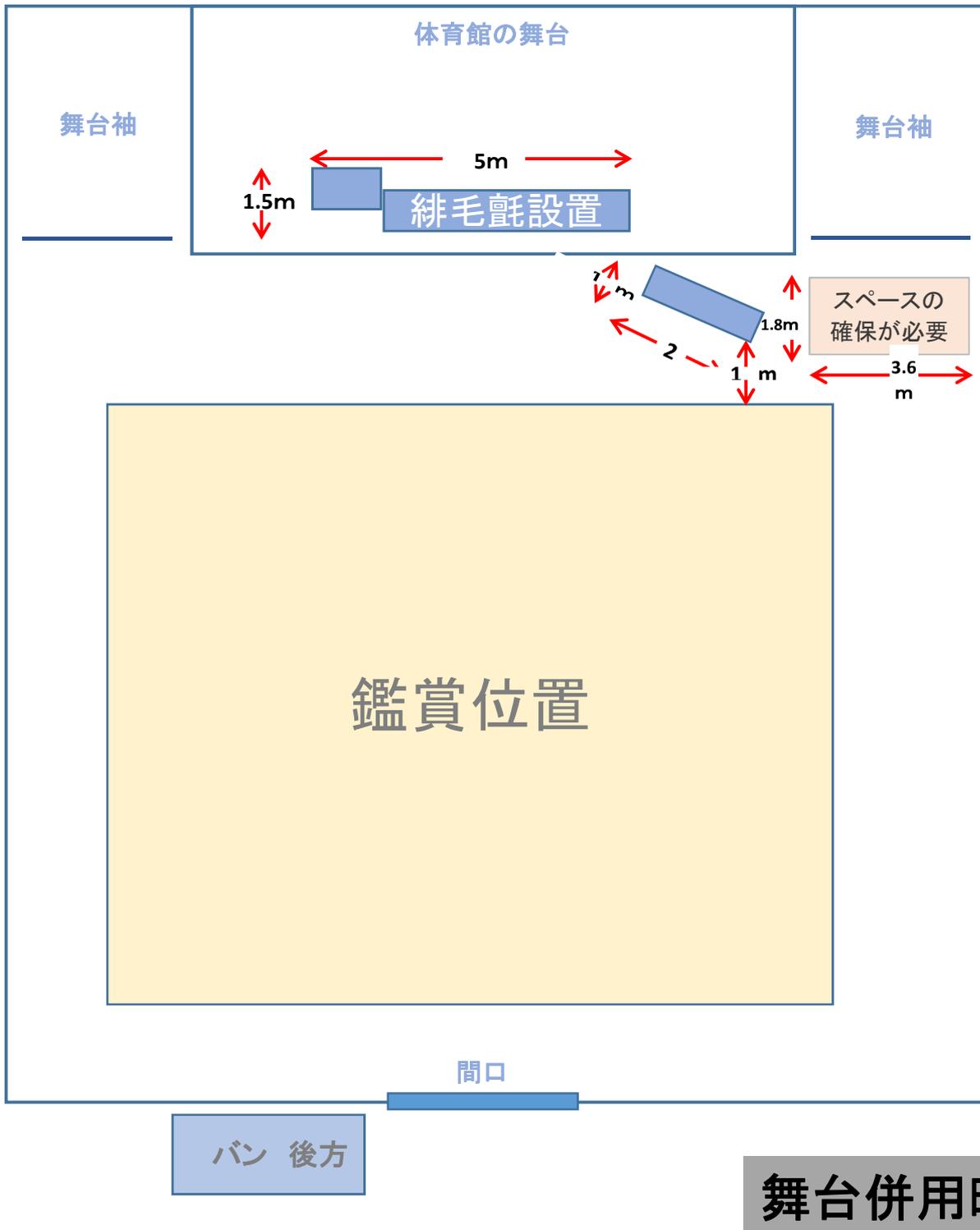
搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否			不要	
横づけができない場合の搬入可能距離			特に条件なし	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



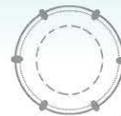
搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		特に条件なし		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		特に条件なし		

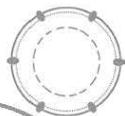
※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



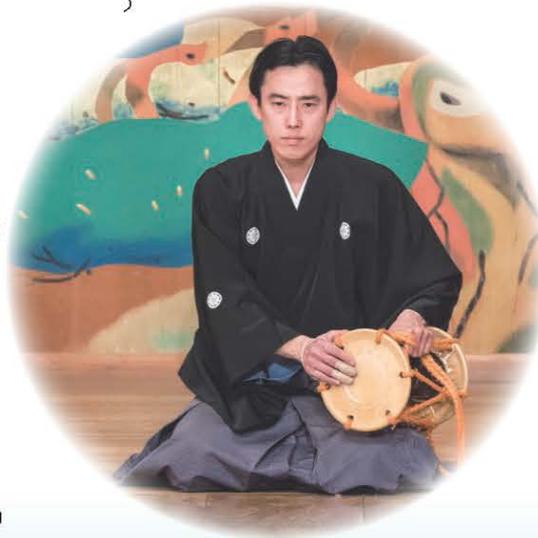
こえ
大きな声で
こえ
かけ声をかけよう!

は や し ど う
囃子堂

この国のクラシックを聴く



のうがくし いっしょ
能楽師と一緒に
ワークショップで練習した
さんばそう こつみ ほっぴょう
「三番三」の小鼓を発表しよう!



いっばんしやだんほうじんきょうとのうがくはやしかた
一般社団法人 京都能楽囃子方
どうめいかい
同明会

ぶんかげいじゆつ こども いくせいじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供の育成事業 - 巡回公演事業 -

わ くに いちりゅう ぶんかげいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ ふたいげいじゆつ かんしょう
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する
機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の
芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供た
ちにも参加してもらいます。

始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介

各楽器解説

「早笛」

カケ声で表現してみよう

能楽囃子の表現法

・・・休憩・・・

「三番三」共演

「融舞」

「獅子」

質問感想コーナーと終わりの挨拶

- ・ 笛、小鼓、大鼓、太鼓。楽器の秘密に迫ろう。
- ・ 軽快でハイテンポな登場の音楽を聴こう
- ・ カケ声を体験しよう。カケ声で何が表現できるかな？
- ・ 囃子って、何をどんな風に表現するのかな？
- ・ 能楽囃子の最高技法を体験しよう。

- ・ 五穀豊稔を祈って、一緒に演奏しよう！
- ・ 優雅な貴族の舞を聴こう。いろんな演奏テクニックが詰まっているよ。
- ・ 動と静。気迫。能楽囃子の真髄を感じよう。

スケジュール

	実施日程	実施校	地元主催者名
①	6月25日(月)	川口市立芝穂/瓜小学校	埼玉県教育委員会
	6月26日(火)	さいたま市立与野南小学校	さいたま市教育委員会
	6月27日(水)	春日部市立武里南小学校	埼玉県教育委員会/春日部市教育委員会
	6月28日(木)	白岡市立大山小学校	埼玉県教育委員会
②	7月2日(月)	加須市立水深小学校	埼玉県教育委員会
	7月3日(火)	美里町立東見玉小学校	埼玉県教育委員会
	7月4日(水)	佐野市立飛駒小学校	栃木県教育委員会/佐野市教育委員会
③	7月5日(木)	高崎市立新町第二小学校	群馬県/群馬県教育委員会
	7月9日(月)	東根市立高崎小学校	山形県教育委員会/東根市教育委員会
	7月10日(火)	東根市立大富中学校	山形県教育委員会/東根市教育委員会
	7月11日(水)	山形市立藤山小学校	山形県教育委員会/山形市教育委員会
④	7月12日(木)	那須塩原市立黒磯北中学校	栃木県教育委員会/那須塩原市教育委員会
	9月10日(月)	石川町立石川小学校	福島県/石川町教育委員会
	9月11日(火)	須賀川市立大森小学校	福島県/須賀川市
	9月12日(水)	郡山市立宮城中学校	福島県/郡山市
	9月13日(木)	郡山市立三和小学校	福島県/郡山市
	9月14日(金)	福島県立相馬支援学校	福島県/相馬市教育委員会

出演

	①	②	③	④
笛	左鴻泰弘	左鴻泰弘	森田保美	左鴻泰弘
小鼓	林吉兵衛	吉阪一郎	曾和鼓堂	吉田知英
大鼓	井林久登	河村大	石井保彦	井林久登
太鼓	前川光範	井上教介	井上教介	前川光範
案内人	谷口正壽			

プロフィール

一般社団法人 京都能楽囃子方 同明会

京都能楽囃子の中心とする能楽囃子方の団体です。囃子方ならではの能楽公演「同明会能」や能楽囃子の音楽性にスポットを当てた「囃子堂」公演、ワークショップを中心とした「学校公演」、子供達だけで美演する「こども能楽囃子教室」など、次世代に能楽の魅力伝える活動を展開しています。大正7年の創立です。

ウェブサイト <http://noh-doumeikai.com>

はやしどう？

絵：まゆか



♪ 知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~ ♪

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。